



ND ナンバー・ディスプレイ 対応
 ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ



デジタルコードレスホン

DCP-5500Iw/5500I 取扱説明書

このたびは、デジタルコードレスホン DCP-5500Iw/5500I をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなど、いつも手もとに置いてお使いください。



技術基準適合認証品

NTT 東日本用

準備
 携帯通話設定
 かける／受ける
 電話帳
 留守番機能
 ナンバー・ディスプレイ
 デイタルイン モテム
 便利な機能
 必要なときは

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマークの説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や、知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電話交換局から遠距離の場合にはお使いになれないことがありますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が接触しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- 操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。
- 本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社のサービス取扱所にご連絡いただければ、ご連絡をいただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。
- 本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を取扱説明書の消去方法（146ページ）にしたがって消去願います。

商標・登録商標について

- Bluetooth® は Bluetooth SIG, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

本書中の記載について

- 本書では、「主電話機」を「親機」、「コードレス電話機」を「子機」、「ハンドセット」を「受話器」と表記しています。

電池パックのお取り扱いについて

 危険

- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池パックの充電は、子機に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。子機に装着するときは、端子の向きを確かめて入れてください。まちがった入れかたをすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、DCP-5500Iw/5500IIに付属の子機専用です。付属の子機以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ プラス（赤）・マイナス（黒）を針金などの金属類で接触しない。
 - ・ 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない。
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

 警告

- 電池パックは、2年程度で交換してください。長期間電池パックを装着したままで使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- ぬれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。

 注意

- 電池パックは、直射日光の強いところや高温多湿の場所での使用、保管は避けてください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックの充電温度範囲は5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。電池パックの液がもれたり、発熱・破裂させる原因となることがあります。

本商品の設置場所について

警告

- 本商品や電源アダプタ、電話機コード、電話用コンセントのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセントに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品や電源アダプタ、電話機コードを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

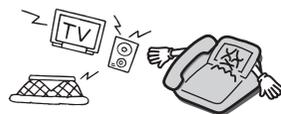
注意

- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。
- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



お願い

- 本商品を電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。妨害電波が強すぎるときは、子機が使用できないことがあります。
- 本商品の隙間から虫（ゴキブリなど）が入ると、故障の原因となることがあります。
 - ・ 厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意願います。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 金属製家具などの近くへの設置は避けてください。親機と子機間の電波が飛びにくくなります。
- 周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。
 - ・ 親機と子機間で内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

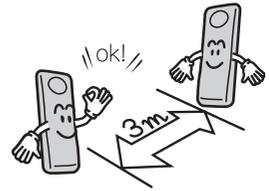


本商品の設置場所について

お願い

● 本商品を設置するときは、以下の点に留意してください。

- 親機と子機間、子機と別の子機間は約3m以上離してご使用ください。
- 同じ電話回線に他のコードレスホン、またはコードレス電話機付ファクスなどを接続すると、電波が相互に干渉しあって正常に動作しないことがあります。
- 隣接する電話回線2本以上に、それぞれコードレスホンを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。



● 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててお使いください。

- アンテナの状態が悪いと、電波が飛びにくくなり、子機使用中に、雑音が入る場合があります。
- 親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから親機を設置してください。

● 子機を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

本商品のお取り扱いについて

警告

- 電源は、AC 100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源アダプタは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- 充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品の通気孔をふさがしないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本商品のお取り扱いについて

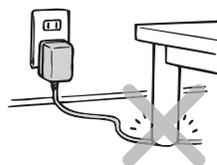
警告

● 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品内部や電源アダプタ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセントに異物や水などが入った場合は、電源アダプタ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話用コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

● 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。

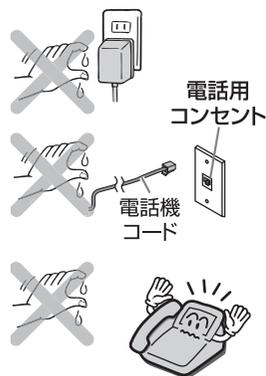


● 電源アダプタコードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源アダプタコードおよび電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ、電話機コードを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 本商品や電源アダプタ、電話機コードのモジュラープラグ、電話用コンセントに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や、電源アダプタおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 本商品をお手入れするときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 子機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりにして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



● 子機は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切る（電池パックを外す）が持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

本商品のお取り扱いについて

警告

- 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。

また、医療用電子機器の近くや病院内など使用を制限された場所では使用しないでください。

- 本商品を移動するときは、電源アダプタや電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源アダプタや電話機コードが電源コンセント、電話用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



- 本商品や電源アダプタコード、電話機コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタ、電話機コードを電源コンセント、電話用コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

注意

- 本商品を長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。また、電池パックを使用しているときは、電池パックを取り出してください。

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。

- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

本商品のお取り扱いについて

お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。



- ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

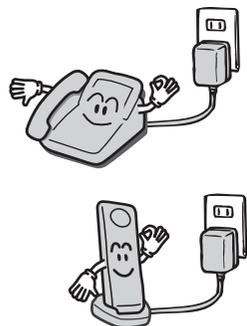
- 親機および充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。

親機

- 留守番機能や子機、ドアホンが使いません。
- ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイを利用した機能が使いません。

充電器

- 子機が充電できません。
- 子機のクイック通話が設定されている場合、充電中に充電器の電源アダプタが外れると子機はお話中の状態となります。



- 停電のときは、親機を使用してください。子機は使用できません。(157ページ)

- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使いなくなることがあります。

- 子機は、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。

- ぬらさないでください。
- 浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
- レシーバーやマイクの穴などに水滴がついたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
- ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。



本商品のお取り扱いについて

お願い

- 本商品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。重要な通話の際には、親機のご利用をおすすめします。
- ハンズフリー（スピーカーホン）でお話しのとき、以下の点に注意してください。
 - ・ マイクの前には、ものなどを置かないでください。また、マイクとの距離は50cm以内を目安としてお話しください。
 - ・ マイクを手で覆わないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
 - ・ 以下のような場合、スピーカーからの音が途切れることがあります。
 - ・ 外の相手の方のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
 - ・ 外の相手の方と同時に話し始めたとき
 - ・ 周囲の騒音が大きい場所に置いたとき
- 子機をお使いのとき、以下の点に注意してください。
 - ・ 子機どうしの内線通話のあとは、他の子機が使用できるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
 - ・ 外線通話、内線通話のあと、すぐに次の操作を行っても、受け付けないことがあります。

お知らせ

- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入ったりする場合があります。
- 操作を誤ったり、何らかの外的要因（ノイズなど）や、設定内容の書込み・読出し中におこる停電などにより、設定内容を保持できない場合があります。重要な内容は、必ずメモをとるなどしてください。
- ナンバー・ディスプレイを利用して特定番号ガードが設定されている場合、緊急の用件でも特定番号からの着信は、着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- ナンバー・ディスプレイを利用して限定着信が設定されている場合、緊急の用件でも親機の電話帳に登録されていない相手からの着信は、着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- 当社指定の2.4 G デジタルコードレス電話機（子機）以外の電話機やPHSは接続できません。

電波の干渉について

お願い

- 本商品は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉により、本商品や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。本商品は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

- 電子レンジなどを使用中に、近くで本商品の子機を使用すると、電話の音が途切れたり、使えなくなることがあります。
- 親機は電子レンジなどから離して設置し（めやす：約3 m 以上）、子機も電子レンジなどの近くで使わないでください。
- 無線LAN機器（ルータ、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で本商品の子機を使うと、電話の音が途切れたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。
- 親機や子機を、無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。

- その他、下記のような機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、電話の音が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。（ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）、ゲーム機のワイヤレスコントローラー、万引き防止システム（書店やCDショップなど）、アマチュア無線局、工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム、マイクロ波治療器、その他Bluetooth®対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など）

- 設置場所や使用場所を離してください。

- 本商品は、2.4 ~ 2.4835 GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本商品には、それを示す右のようなマークが貼付されています。

2.4FH8

- 本商品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本商品の電源アダプタを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
- その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

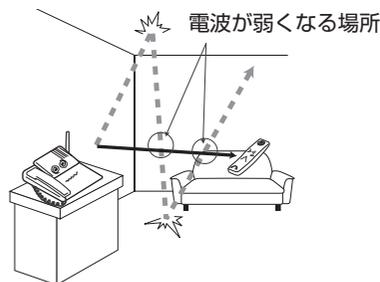
子機の使用範囲について



- 子機を使用中に親機から離れすぎると音声かとぎれたり、雑音が入りますので、音声かとぎれない場所まで戻ってください。さらに離れると、音声がまったく聞こえなくなったり、警告音（34 ページ）が鳴ります。（液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」とY圏外が表示されます。）そのまま使用していると、約 20 秒で電話が切れますので、音声がかえる場所まですぐに戻ってください。なお、液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」とY圏外が表示された場合、以後、その通話が終わるまでは、保留転送（55～56 ページ）や保留（52 ページ）の機能を利用できなくなる場合があります。通話をいったん終わると、すべての機能をご利用いただけます。

雑音について

- 電波が弱くなる場所には気をつけてください。通話到達範囲（屋外や違う部屋など）でも電波が弱くなり、雑音が入る場所があります。故障ではありません。
- 親機のアンテナは床面に対して垂直に立ててお使いください。電波が飛びにくくなり、子機を使用中に、プツプツと音がして電話の声かとぎれることがあります。準備の後、親機と子機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。（この場合は通話料金がかかりません。）
- 補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては子機で通話中に雑音が入ることがあります。聞きとりにくいときは、親機をお使いください。



充電端子はいつもきれいに

乾いた布や綿棒などでこまめに拭いてください。汚れていると充電できません。



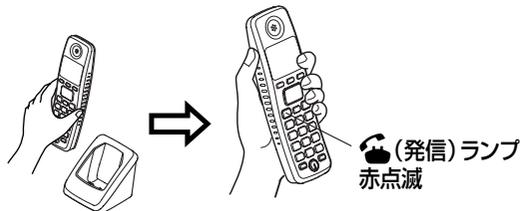
子機の呼出音は遅れて鳴ります

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴り、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。（約 1～2 秒後）



子機を充電器からとって電話をかけるときは

子機を充電器からとると、（発信）ランプが赤点滅します。（クイック通話）

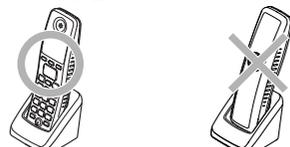


20 秒以内に電話をかけるか、 を押してください。

- 何も操作しないと「ピーツ、ピーツ」と警告音が約 20 秒間鳴り、電話が切れます。

子機をお使いの後は

子機をお使いの後は、必ず、ダイヤル面を手前にして充電器に戻してください。逆向きに置くと充電されません。



- 電池パックが完全に消耗しているときは、子機を充電器に置いて、（発信）ランプがすぐに緑点灯しない場合があります。そのときは、充電器に置いたままお待ちください。約 10 分で点灯します。約 10 分たっても点灯しない場合は、子機を充電器からとって、もう一度、充電器に戻してください。

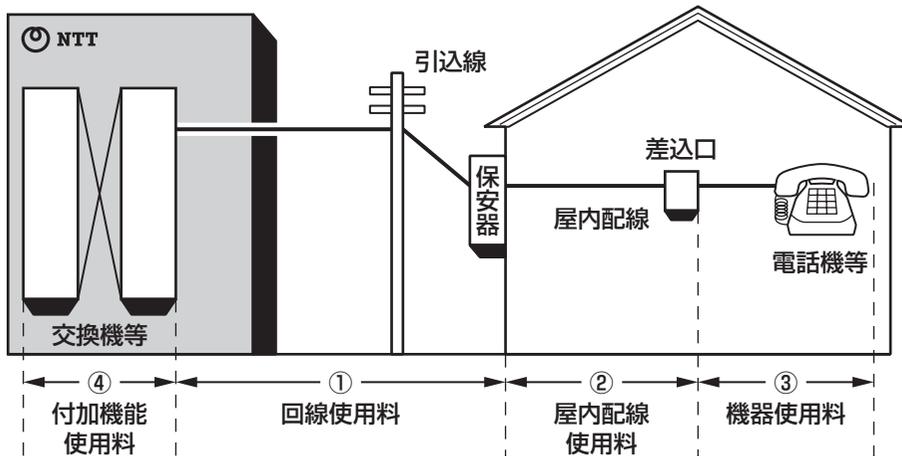
- 登録や設定の操作の途中で、1 分以上時間をあけると通常状態に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。
- 電波状態が悪く、「通話圏外」または「親機サーチ中」とY圏外が表示されるような所で登録・設定の操作を行なうと、1 分以上時間をあけてもすぐに通常状態に戻らなかったり、警告音が鳴らない場合があります。

知っておいていただきたいこと（つづき）

準備

本商品をお使いになるにあたって、当社のレンタル電話機が不要となる場合は、当社へご連絡ください。ご連絡をいただいた日をもって「機器使用料金」は不要となります。くわしくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●当社の基本料金などの仕組み



●電話料金の内訳

①回線使用料	ご契約者名簿等により住宅用と事務用に区別され、回線使用料が異なります。
②屋内配線使用料	保安器から屋内の電話機の差込口までの屋内配線を当社からレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
③機器使用料	当社の電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
④付加機能使用料	キャッチホン、クレジット通話、ナンバー・ディスプレイなどをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。

準備

安全にお使いいただくために 必ずお読みください	2
知っておいていただきたいこと	11
目次	13
商品の確認	15
液晶画面について	16
各部のなまえ	18
親機の準備	20
子機の準備	24
メニュー概要	27
基本操作について	27
時計を合わせる	29
音量を調節する	31
呼出音の種類をかえる	33
呼出音・警告音の種類	34

携帯通話設定

固定電話から携帯電話への通話サービスを 利用する	35
携帯通話設定機能を利用する	36
携帯番号帯設定を行なう	41

かける／受ける

電話をかける／受ける	43
受話器や子機を持たずにかける／受ける (ハンズフリー通話)	45
電話をかけ直す(リダイヤル)	47
発信履歴を確認する／かけ直す	48
発信履歴を消去する	50
通話中、相手に待ってもらう(保留)	52
子機と親機(または他の子機)で話す (内線通話)	53
子機や親機(または他の子機)に電話をとりつぐ (保留転送)	55
親機からすべての子機に呼びかけて話す (呼びかけ内線)	57
子機や親機(または他の子機)を一斉に呼出して 話す(一斉呼出)	58
子機と親機(または他の子機)と外の相手の 3人で話す(三者通話)	60

電話帳

電話帳に登録する	62
文字を入力する	64
発信履歴から電話帳に登録する	68
電話帳でかける	70
電話帳を修正・消去する	72
電話帳をコピーする	76
短縮ダイヤルを使う	80

留守番機能

親機で留守番機能进行操作する	84
消音留守セットする	87
応答メッセージをつくる (自作応答メッセージ)	88
応答メッセージを切りかえる	90
自作応答メッセージを消去する	91
子機で留守番機能进行操作する	92
応答するまでの呼出回数をかえる	93
暗証番号に登録する	94
外出先から用件を聞く(リモコン操作)	96
リモコン操作の応用	97
外出先から留守セットする	98

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する	99
ネーム・ディスプレイを利用する	103
キャッチホン・ディスプレイを利用する	105
着信履歴を確認する／かけ直す	108
着信履歴から電話帳に登録する	112
着信履歴を消去する	114
鳴り分けを使う	116
親機の電話帳登録者だけ呼出音を鳴らす (限定着信)	118
特定番号からの電話をガードする (特定番号ガード)	120
公衆電話からの電話をガードする (公衆電話ガード)	124
電話番号を通知してこない電話をガードする (非通知ガード)	126
表示圏外からの電話をガードする (表示圏外ガード)	128
ガードボタンを使う	130
リターンダイヤルで電話をかける (リターンダイヤル)	131

「モデムダイヤルイン」サービス

1つの電話回線で複数の電話番号を使う (「モデムダイヤルイン」サービス)	132
「モデムダイヤルイン」サービスを利用する	133

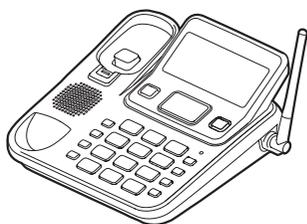
便利な機能

プッシュホンサービスを利用する	136
キャッチホンサービスを利用する (キャッチ)	136
夜間呼出音量を設定する	137
通話を録音する(通話録音)	140
親機や子機に名前を登録する(名称登録)	141
電話番号を音声で確認する (読上げダイヤル)	142

必要なときは

クイック通話を解除する(見てから通話)	143
キータッチ音を設定／解除する	144
液晶画面のコントラストを調整する	145
お買い上げ時の状態に戻すには(初期化)	146
リセットについて	147
故障かな?と思ったら	148
こんなときは	154
電波帯切りかえ	155
受話音質を補正する	156
停電のときは	157
壁掛けにするときは	158
ドアホンを接続して使うには	160
オプションをご利用になるには	164
電池パックの取り扱い	165
子機の電池パックを交換する	166
付録(区点コード一覧表)	167
操作早見表	177
索引	181
仕様・保守サービスのご案内	183

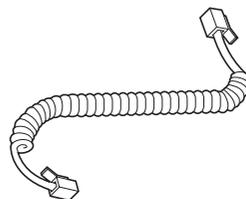
■ 本体（一式）



主電話機（親機）
（1台）



受話器（1個）



受話器コード（1本）



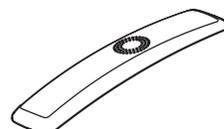
コードレス電話機（子機）
（DCP-5500Iwの場合：2台）
（DCP-5500Iの場合：1台）



電池パック
（DCP-5500Iwの場合：2個）
（DCP-5500Iの場合：1個）

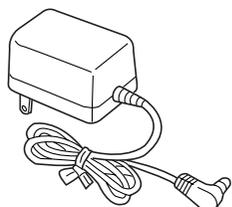


充電器
（DCP-5500Iwの場合：2台）
（DCP-5500Iの場合：1台）

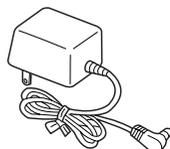


電池カバー
（DCP-5500Iwの場合：2個）
（DCP-5500Iの場合：1個）

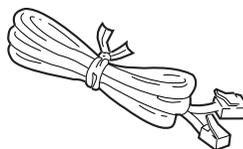
■ 付属品



親機用電源アダプタ（1個）
（コード：約1.8m）
電源アダプタ（K）-082



子機充電器用電源アダプタ
（DCP-5500Iwの場合：2個）
（DCP-5500Iの場合：1個）
（コード：約1.8m）
電源アダプタ（K）-083



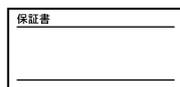
電話機コード（1本）
（約1.8m）



壁掛けアダプター
（1個）



壁掛けネジ
（DCP-5500Iwの場合：
6個入り）
（DCP-5500Iの場合：
4個入り）



保証書（1枚）



「NTT 通信機器
お取扱相談センタ」
シール（1枚）



取扱説明書（1部）

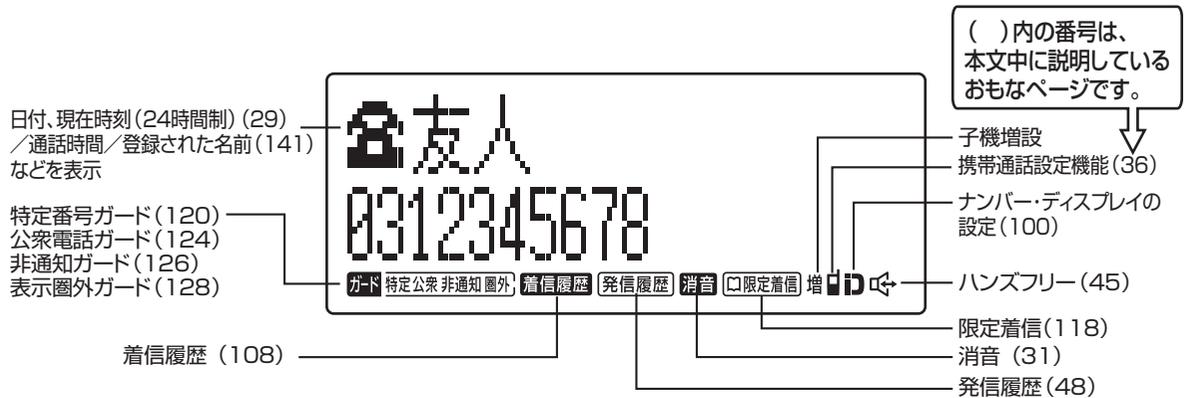
●足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

液晶画面について

準備

親機 (18桁表示) (液晶バックライトあり)

●説明のために液晶表示のマークを全表示しています。



■液晶画面のバックライトは、省電力のため通話中であっても、最後にボタンを押してから約 15 秒で消灯します。

●操作時の表示例

通常状態 1 と 2 は、お知らせの有無により自動的にかわります。選択することはできません。

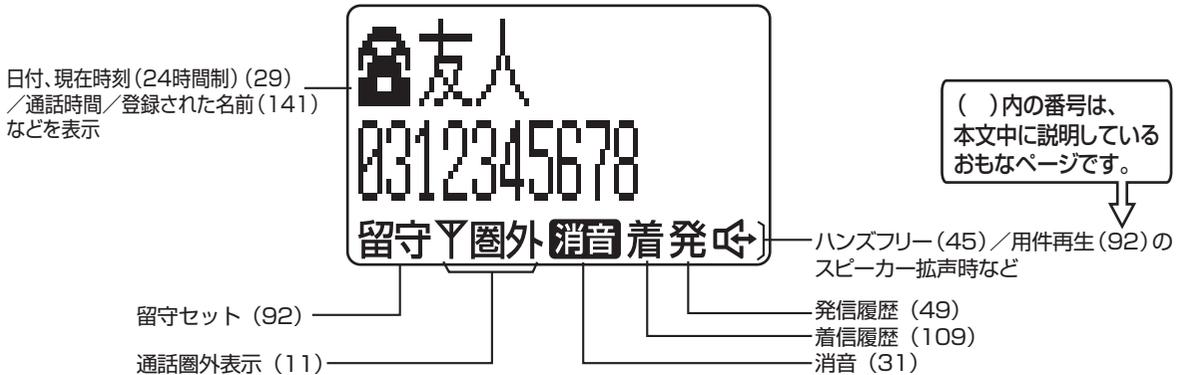
(通常状態のときは液晶バックライトが消えています。)

通常状態 1 (新規用件が録音されていない場合)	通常状態 2 (新規用件が録音されている場合)	ダイヤル中
<p>日付／現在時刻(24時間制) (29)</p> <p>12月24日 12:34</p> <p>親機</p> <p>登録された名前 (141)</p>	<p>12月24日 12:34</p> <p>新規用件 8件</p> <p>新たに録音された 用件の数 (84)</p>	<p>受話音量(32) または スピーカー音量(32)</p> <p>通話時間*</p> <p>0'05 音量 1</p> <p>0312345678</p> <p>電話番号</p> <p>※通話時間はあくまでも目安として ご使用ください。</p>

- この取扱説明書の説明画面は、実際の画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。
- 実際の画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。
- 電話番号の確認画面(電話帳、発信履歴、着信履歴、特定番号など)で、液晶画面に一度に表示できる桁数(18桁)を超えた場合は、画面を自動的に切りかえて表示します。
- 「知っておいていただきたいこと」(11ページ)も合わせてお読みください。

子機 (14 桁表示) (液晶バックライトあり)

●説明のために液晶表示のマークを全表示しています。



■液晶画面のバックライトは、省電力のため通話中であっても、最後にボタンを押してから約 15 秒で消灯します。

●操作時の表示例

通常状態 1 と 2 は、新規用件の有無により自動的にかわります。選択することはできません。

(通常状態のときは液晶バックライトが消えています。)

通常状態 1 (新規用件が録音されていない場合)	通常状態 2 (新規用件が録音されている場合)	ダイヤル中
<p>日付 / 現在時刻 (24時間制) (29)</p> <p>12月24日 12:34</p> <p>子機(1)</p> <p>登録された名前 (141)</p>	<p>12月24日 12:34</p> <p>新規用件 8件</p> <p>留守</p> <p>新たに録音された用件の数 (84)</p>	<p>受話音量 (32) または スピーカー音量 (32)</p> <p>通話時間*</p> <p>0'05 音量 1</p> <p>0312345678</p> <p>電話番号</p> <p>※通話時間はあくまでも目安としてご使用ください。</p>

■この取扱説明書の説明画面は、実際の画面と字体や形状が省略表記などにより異なる場合があります。

■実際の画面では、複雑な文字や記号は一部変形もしくは省略して表示されます。

■電話番号の確認画面 (電話帳、発信履歴、着信履歴など) で、液晶画面に一度に表示できる桁数 (14 桁) を超えた場合は、画面を自動的に切りかえて表示します。

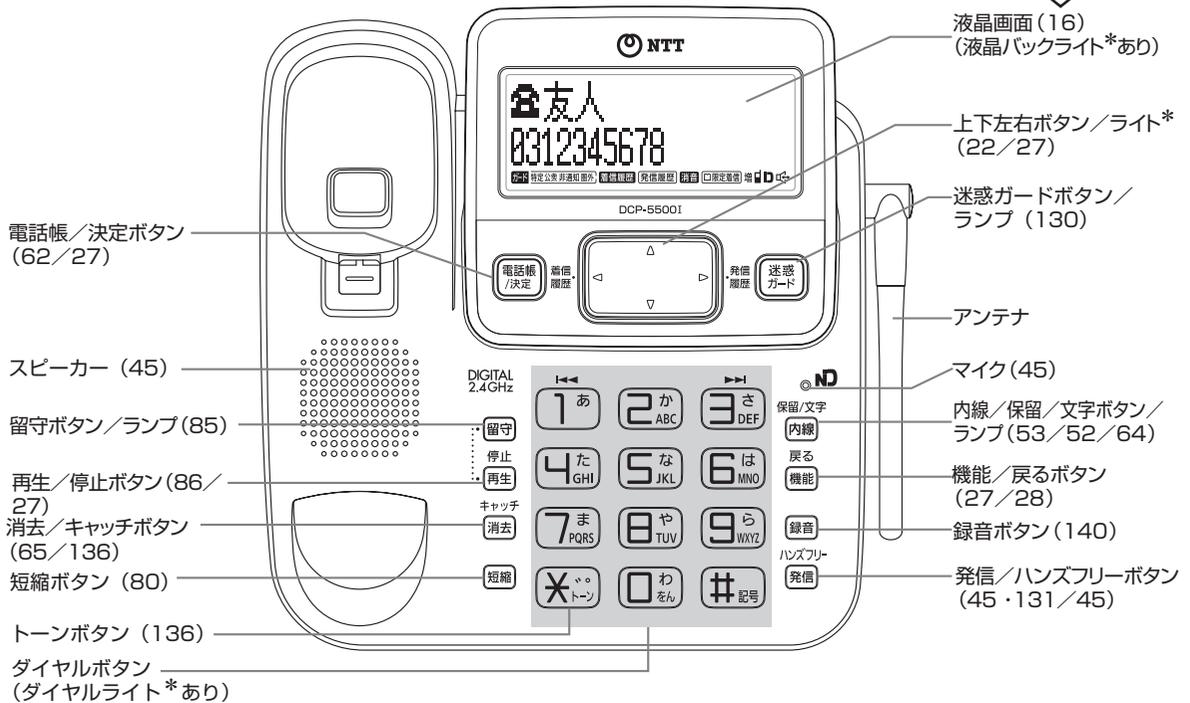
■「知っておいていただきたいこと」(11 ページ) も合わせてお読みください。



(親機)

主電話機 (親機)

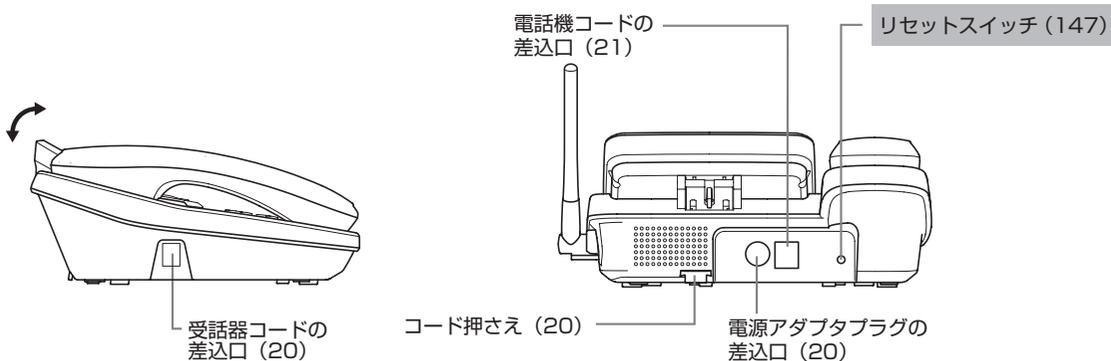
() 内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。



*…最後にボタンを押してから約 15 秒で消灯します。

■点灯するボタンの種類とランプのつき方 (例)

ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態 (ランプの状態)
迷惑ガードボタン	オレンジ	ナンバー・ディスプレイご利用時、ガード機能設定中 (点灯)、ガード機能動作中 (点滅)
留守ボタン	オレンジ	留守セット中<未再生の用件なし> (点灯) 留守セット中<未再生の用件あり> (点滅)
内線/保留/文字ボタン	オレンジ	内線通話中 (点灯)、内線の呼出中および呼出されているとき (早点滅)



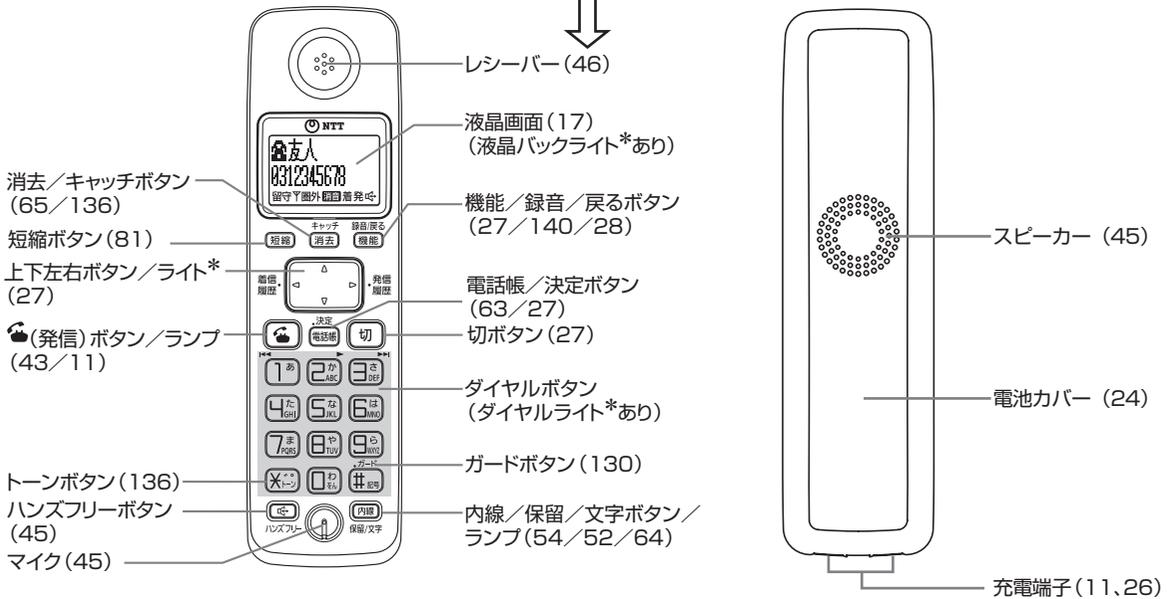
- 電話回線種別 (ダイヤル回線⇄プッシュ回線) の切りかえスイッチはありません。電話機コードを接続すると、回線種別が自動的に選ばれ設定されます。電話機を移動したり、回線種別を変更 (ダイヤル回線⇄プッシュ回線) したときは、再度電話回線の設定をしてください。(22 ページ)
- 液晶画面部分は見やすい角度 (15 度起きた状態) に、手で調節することができます。(20 ページ)

コードレス電話機 (子機)



(子機)

() 内の番号は、本文中に説明しているおもなページです。



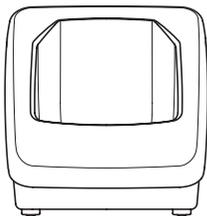
*…最後にボタンを押してから約15秒で消灯します。

■点灯するボタンやランプの種類とランプのつき方 (例)

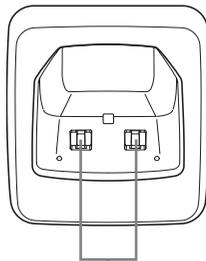
ボタンの種類	ランプの色	電話機の状態 (ランプの状態)
(発信) ボタン	赤	通話中 (点灯)、保留中・子機を充電器からとったとき<クイック通話設定時> (点滅)
	緑	充電中 (点灯)、外線着信中・内線の呼出中および呼出されているとき (早点滅)
内線/保留/文字ボタン	オレンジ	内線通話中 (点灯)、内線の呼出中および呼出されているとき (早点滅)

充電器

正面



平面

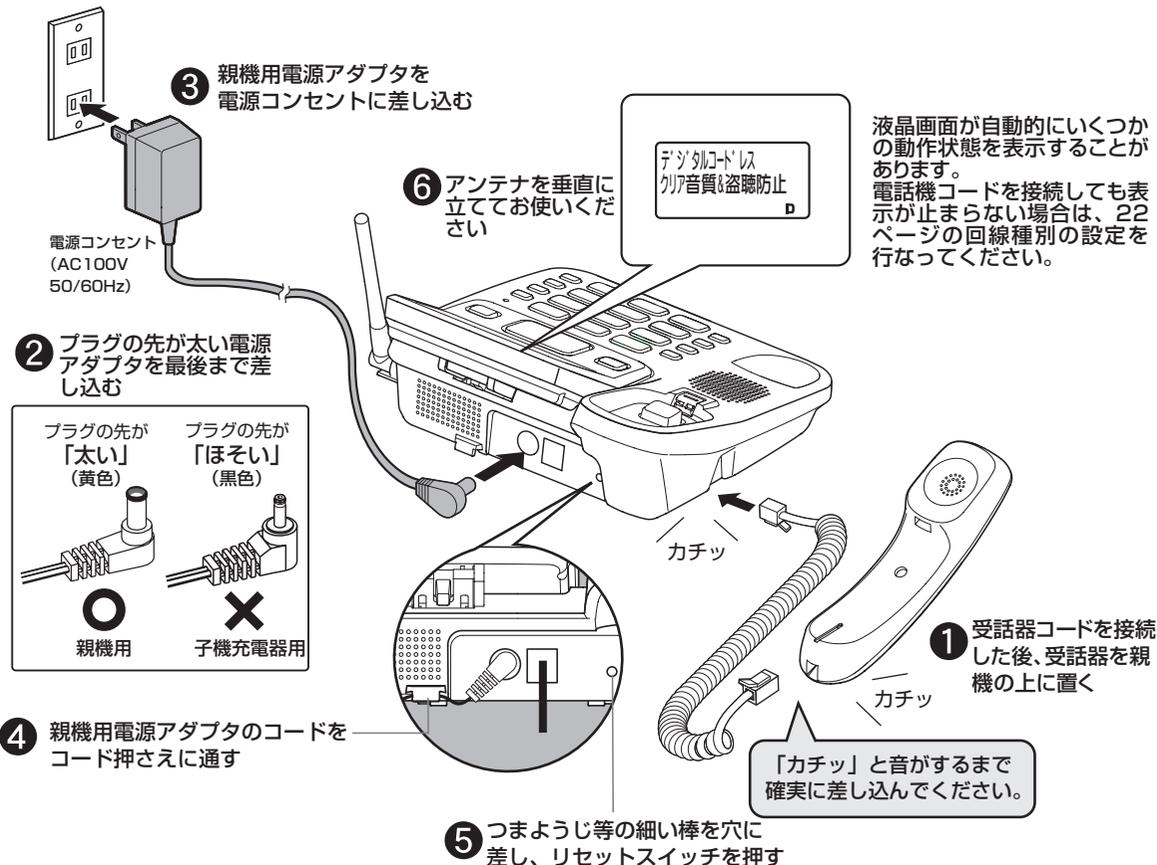


充電端子 (11、26)

底面

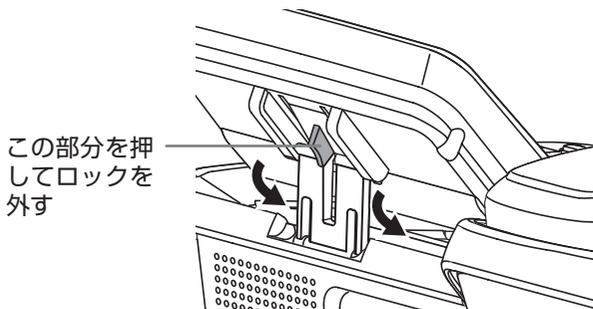


1 受話器コードと電源アダプタを接続する



親機の液晶画面についてのご注意

親機の液晶画面は可動式ですが、画面を倒し角度を戻すときは、必ず、突起部を押してロックを外してください。(起こすときは、そのまま起こせます。)



* 無理に倒そうとすると破損のおそれがあります。

警告

充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お知らせ

- ファクスやOA機器などの電源コンセントと同じコンセントには差し込まないでください。雑音や誤動作の原因となります。
- 電源アダプタは常に接続しておいてください。電源アダプタを接続しておかないと子機の液晶画面に「圏外」が表示され、通常より充電に時間がかかります。また、親機の登録操作や留守番機能なども使用できません。
- 電源アダプタや親機の底は多少あたたかくなりますが、異常ではありません。



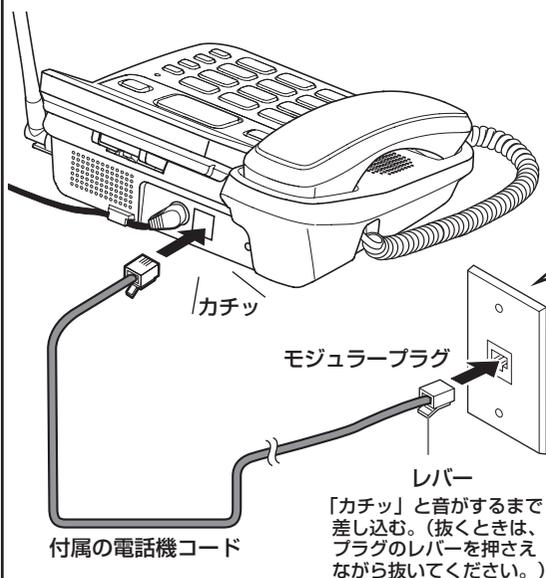
(親機)

準備

2 電話機コードを接続する

電源アダプタを接続し、電話機コードを接続すると、自動的に回線種別が設定されます。回線種別とは、契約されている電話回線の種別です。プッシュ回線（トーン）、ダイヤル回線（10PPS / 20PPS）の3種類があります。

電源アダプタを接続したら、電話機コードを接続します。



- オプションのドアホンボックス（164ページ）を接続しないときは、必ず付属の電話機コード（2芯）をお使いください。4芯コードや6芯コードを接続すると故障の原因となります。

電話機コードを接続すると・・・（約6秒後）

回線種別を自動的に選び始めます。
（電話回線の自動設定）

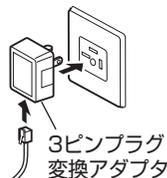
約6～40秒後、回線種別の設定が終わると設定された回線を液晶画面でお知らせします。

約2秒後に、自動的にオープニングツアーが始まります。

- * 回線種別の判定ができないときは、手動設定の画面にかわりますので、手動で回線種別を設定してください。（22ページ）

3ピンプラグ式のお宅

市販の3ピンプラグ変換アダプタをお求めください。



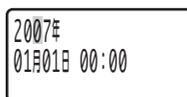
直結配線方式のお宅

局番なしの116番または当社のサービス取扱所へご相談ください。



本商品では、親機用電源アダプタと電話機コードを接続すると、自動的に回線種別が設定され、そのあと親機の時計を合わせたり（29ページ）、携帯通話設定（36～37ページ）などを行なう「オープニングツアー」が始まります。画面表示にしたがって操作し、電話帳／決定ボタンで進めてください。

- ※ひかり電話サービスをご利用の方は、携帯通話設定の前に表示される「ひかり電話利用中？」の画面で「YES」を選び電話帳／決定ボタンを押してください。
- ※オープニングツアー中は、他の設定操作を行なわないでください。



点滅

- オープニングツアー終了後は、電話がかけられることを確認してください。
- ※ひかり電話サービスとは、光ファイバーのBフレックスなどを利用したIP電話サービスです。

お知らせ

- この電話機の接続は、モジュラー方式（6極2芯式）です。ホームテレホンや構内交換機（PBX）には、そのまま接続できません。別途、工事が必要になります。
- ファクスに接続する場合は、ファクスのメーカーにお問い合わせください。
- ISDN回線またはADSLサービスをご利用になり、本商品をTA（ターミナルアダプタ）またはスプリッタなどに接続してお使いになる場合は、通話の音が反響することがあります。この場合は154ページの設定を行なうと改善される場合があります。

親機の準備 (つづき)

親機を移動したり、電話回線の種別をダイヤル回線⇄プッシュ回線にかえたときは、以前の電話回線と違うため、電話がかかけられないことがあります。そのときは、回線種別の設定を行なってください。

電話回線の自動設定をするには

子機ではできません。
電源アダプタと電話機コードを接続後

受話器を置いた状態で



●現在の設定が表示されます。



▶電話回線の自動設定を始めます。回線種別の設定が終わると設定された回線を液晶画面でお知らせします。

●判定できないときは、手動設定の手順4の液晶画面にかかりますので、手動で回線種別を設定してください。

▶設定後177(天気予報)に電話をかけて、電話がかかけられるか確認してください。(177番に電話をかけると通話料金がかかります。)

※かけられないときは、手動で回線の種類をかえてみてください。

電話回線の手動設定をするには

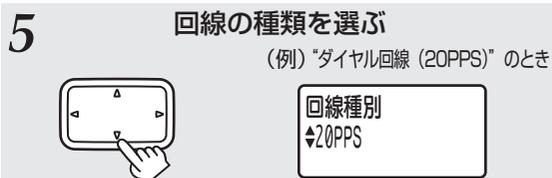
電話回線の自動設定で回線を選択できなかったときや、ファクスやホームテレホンや構内交換機(PBX)を接続しているとき、ISDN回線に変更されたときは、手動設定の操作をしてください。

子機ではできません。
電源アダプタと電話機コードを接続後

受話器を置いた状態で



●現在の設定が表示されます。



●プッシュ回線のとき “プッシュ”
ダイヤル回線 (20PPS) のとき “20PPS”
ダイヤル回線 (10PPS) のとき “10PPS”



▶設定後177(天気予報)に電話をかけて、電話がかかけられるか確認してください。(177番に電話をかけると通話料金がかかります。)

※かけられないときは、はじめからやり直して手順5で回線の種類をかえてみてください。



(親機)

お使いになる前に、ナンバー・ディスプレイの設定を一度ご確認ください

- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、ナンバー・ディスプレイが「ON」(設定)になっているかご確認ください。(100ページ)
ナンバー・ディスプレイをご利用にならない場合、「OFF」(解除)に変更してください。

ナンバー・ディスプレイをお使いになるには当社への申し込みと親機での設定が必要です

- ナンバー・ディスプレイをご利用になる方は、当社とご契約後、(すでにご利用中の方も)親機でナンバー・ディスプレイの設定を行なってください。(100ページ)
- キャッチホン・ディスプレイをご利用になる方は、当社とご契約後、(すでにご利用中の方も)親機でキャッチホン・ディスプレイの設定を行なってください。(106ページ)
- ネーム・ディスプレイをご利用になる方は、当社とご契約後、親機でナンバー・ディスプレイの設定(またはキャッチホン・ディスプレイの設定)を行なってください。ネーム・ディスプレイ専用の設定はありません。

ナンバー・ディスプレイをお使いの場合の接続について

● ファクスとの接続

ファクスの機種によっては、本商品のナンバー・ディスプレイが表示されない、ファクスの受信ができないなど、本商品と接続してご利用になれない場合があります。くわしくは、ファクスのメーカーにお問い合わせください。

● ホームテレホン、構内交換機(PBX)との接続

別途、工事が必要となります。当社のサービス取扱所、またはお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● ISDN回線のTA(ターミナルアダプタ)との接続

ナンバー・ディスプレイ対応のTAをお使いください。くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。

(なお、INSナンバー・ディスプレイを当社とご契約後、ナンバー・ディスプレイの設定を親機とTAの両方で行なってください。)

親機で行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定(100ページ)

TAで行なう設定・・・ナンバー・ディスプレイの設定

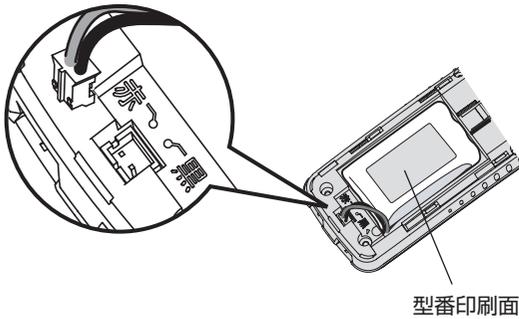
*くわしくは、TAのメーカーにお問い合わせください。

- 本商品以外にナンバー・ディスプレイ対応のアダプタ(表示器)は、お使いにならないでください。本商品だけでナンバー・ディスプレイがご利用になれます。
- 本商品と並列に、他の電話機を接続しないでください。誤動作の原因となることがあります。

1 子機に電池パックをセットする

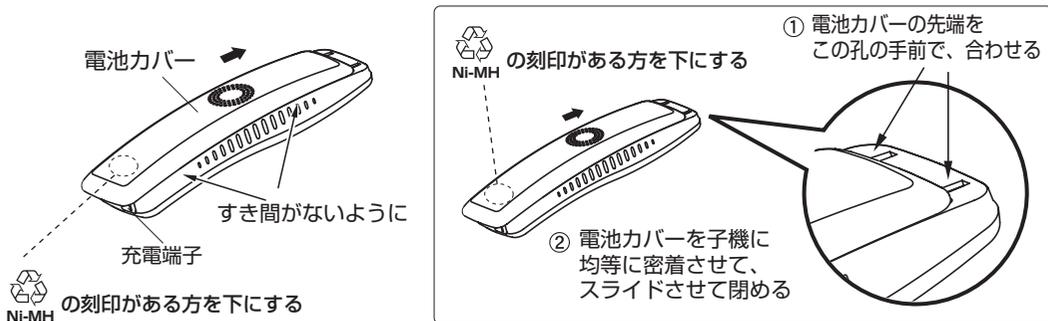
① 電池パックのコネクタを差し込み、電池パックを入れる

- 差し込むときは、コネクタの向きを確認して奥まで確実に差し込んでください。
(コネクタが完全に差し込まれていなくても、充電器に置くと (発信) ランプは点灯しますので、ご注意ください。)
- 必要のない限り、プラグの抜き差しは行なわないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。



② 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ、以下の手順で閉める

電池カバーは、しっかり閉めてください。不十分だと電池カバーがはずれ、電池パックが落下するおそれがあり、故障の原因となることがあります。また、手順通りに行なわないと、電池カバーのつめが破損する場合があります。



- コードを電池カバーで、はさまないようにしてください。
- 電池カバーの開けかたについては、166 ページをご覧ください。

危険

電池パックは、DCP-5500Iw/5500Iに付属の子機専用です。付属の子機以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。

注意

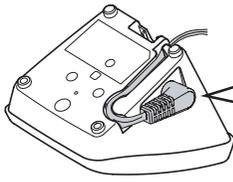
電池パックの充電温度範囲は5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。



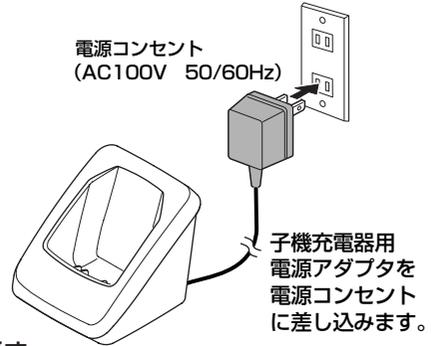
(子機)

2 充電器を接続し、子機を充電する

1 充電器に子機充電器用電源アダプタを接続する



電源アダプタプラグ
差込口へ



電源コンセント
(AC100V 50/60Hz)

子機充電器用
電源アダプタを
電源コンセントに
差し込みます。

- 子機充電器用電源アダプタのコードをコード押さえに通す。

2 子機を充電器に置く → 充電開始

- はじめてお使いのときは、必ず、連続 16 時間以上充電してください。充電が完了しても、☎ (発信) ランプは緑点灯し続けます。

必ず、ダイヤル面を
手前にして置いてください。

逆向きで置くと
充電できません。



☎ (発信) ランプ
緑点灯





使用時間について

待ち受け時間	約 180 時間
連続通話時間	約 6 時間

⚠ 危険

充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

電池パックの残量が少なくなると

- 子機は使用できなくなります。
- 通常状態のとき、液晶画面に「電池残量が ありません」と表示されます。
電話がかかってきても呼出音は鳴りません。また、電話にでることもできません。
- 通話中のときは、警告音が「ビビビ・・・ビビビ・・・」と鳴り、電話が切れます。
- プツプツと音がして電話の声がとぎれることが多くなり、親機とつながりにくくなります。

充電端子が汚れていると

- 子機の  (発信) ランプが点灯していても、充電できないことがあります。
- 子機を充電器に戻しても、通話が切れない原因になります。
乾いた布や綿棒などでこまめに汚れを拭き取ってください。
- * メニュー概要 (27 ページ) に「子機増設」がありますが、子機の増設には工事担当者による登録工事が必要です。
お客様ご自身による登録工事は行なわないでください。

ご注意

- 子機を充電器に置いても、子機の  (発信) ランプがすぐに緑点灯しない場合があります。そのときは、充電器に置いたままお待ちください。約 10 分で点灯します。(電池の状態によっては、多少時間が長くなる場合もあります。)
- 充電しても、子機の液晶画面に何も表示されないときや子機の  (発信) ランプが点灯しないときは、次の (a) または (b) の操作をしてください。
(a) 子機を充電器からとって、もう一度、充電器に戻す。
(b) 電池カバーをあげ、電池パックのコネクタを抜き差しして、電池カバーを閉める。
- 子機充電時は、必ず親機の電源を入れてください。親機の電源を入れないと、子機の液晶画面に  が表示され、通常より充電に時間がかかります。
- 子機をお使いの後は、いつも充電器に戻してください。戻さないと、まったく使わなくても電池パックは徐々に消耗します。
- 充電し続けても故障することはありません。
- 電池パックの寿命は、使い方によって異なりますが、約 2 年です。
16 時間以上充電しても、すぐに警告音が出るときは、新しい電池パックに交換してください。(165 ~ 166 ページ)
- 待ち受け時間とは、子機を充電器に置かず、一度も通話や登録操作をしない状態での使用時間のことです。通話したり、呼出音が鳴ると、使用時間は短くなります。
- 子機の充電中は子機の一部が多少あたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機に電池パックを入れたまま、数週間充電しないで放置すると、急速に電池パックが消耗し、充電できなくなる場合があります。(長時間ご使用にならないときは、電池パックを子機から取り外してください。)

いろいろな機能の登録や検索、設定は、液晶画面を見ながら「上下左右ボタン」と「電話帳/決定ボタン」を使って操作します。

親機の機能メニュー概要

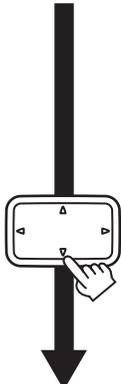
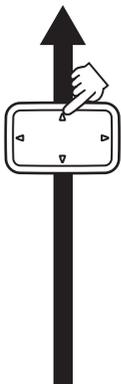


戻る

機能



留守電操作
音質・音量
電話帳受信
日時設定
電話回線
ナンバーD設定
モデムダイヤルイン
子機増設*
名称登録
液晶コントラスト
初期化



子機の機能メニュー概要

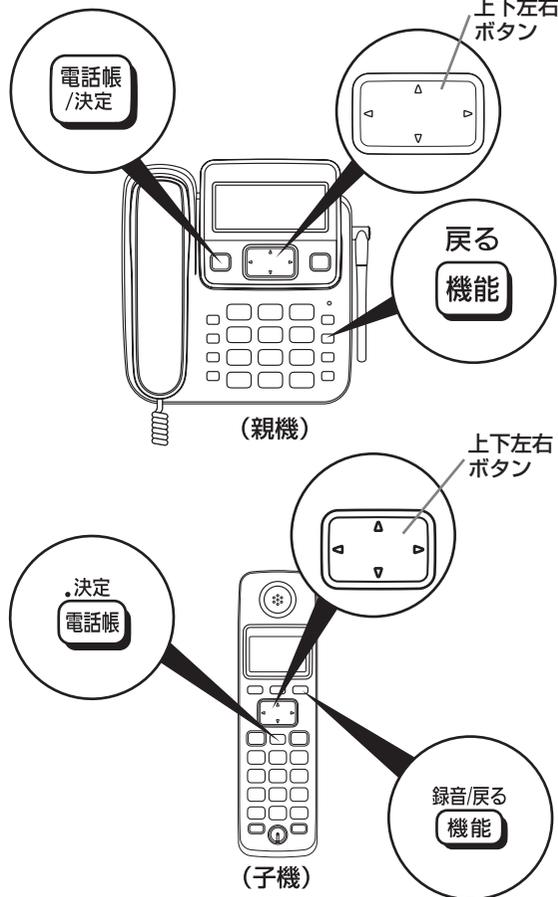
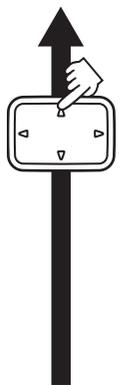


録音/戻る

機能



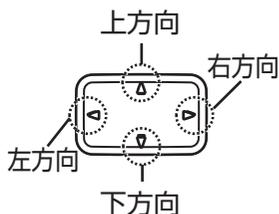
用件再生
留守電操作
音質・音量
電話帳受信
日時設定
子機増設*
名称登録
液晶コントラスト
クイック通話
初期化



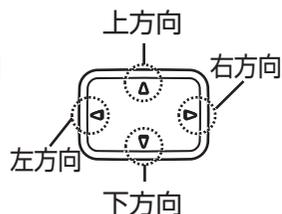
■上下左右ボタンの動かし方

メニュー内から機能を選択するとき、「ON/OFF」を選ぶとき、文字・数字入力の際にカーソルを移動させるときなどには、上下左右ボタンで操作します。選択したら、電話帳/決定ボタンを押して次へ進みます。操作するときは、ボタンの○の部分を押してください。(操作中は、ボタンが点灯します。)

(親機)



(子機)



■登録や設定などの操作を途中でやめるには、親機で操作中は 、子機で操作中は を押してください。

■設定の途中で設定動作を中断した場合は、設定変更内容は反映されません。

*…「子機増設」がありますが、子機の増設には工事担当者による登録工事が必要です。お客様ご自身による登録工事は行なわないでください。

基本操作について (つづき)

準備

実際の操作について、親機で呼出音量を「音量4」に設定する場合を例にあげて説明します。子機も同様の操作です。

親機で操作するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量” を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

4 登録・設定項目を選ぶ
(例) “呼出音量”
(31 ページ) のとき

呼出音質
呼出音量 選ぶ

●上下左右ボタンの上または下を押します。

5 電話帳
/決定 押す

呼出音量
◀ [|||||] ▶

●電話帳/決定ボタンを押すと、現在の設定が表示されます。

6 音量を選ぶ
(例) “音量4” のとき

呼出音量
◀ [|||||] ▶

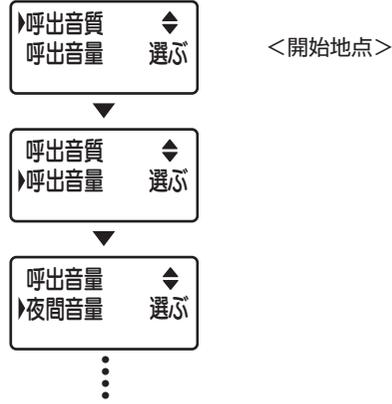
●上下左右ボタンの上または下を押します。

7 電話帳
/決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

登録・設定・確認操作中に、「ビピ」という音が鳴ります。これは、そのメニューや選択肢の開始地点（お買い上げ時の設定値）に戻ったとき、または、メニューや選択肢が一巡したことをお知らせしています。（ただし、音量やコントラスト選択時は、最大値のとき「ビピ」と鳴ります。）

(例) ここでは、手順4の操作中に、再び開始地点に戻ったときに鳴ります。



手順5の後に戻る機能（子機は戻る機能）を押すと、登録・設定項目を決定する前の操作（ここでは手順4）に戻ることができます。

ここで“音量4”を選ぶと「ビピ」と鳴ります。これは、“音量4”が最大値であることをお知らせしています。またコントラスト選択時（145ページ手順4）も最大値になると「ビピ」と鳴ります。

1つの設定登録を完了すると「ピーツ」という完了音が聞こえ、登録・設定項目の選択画面（ここでは手順4）に戻りますので、続けて他の機能操作をすることができます。

■約1分間何も操作をしないと自動的に終了します。すぐに操作を終了するときは親機は 、子機は を押してください。

■キータッチ音（144ページ）を「OFF」（解除）にしていると、完了音や警告音も鳴らなくなります。

時計を合わせる

親機と子機の時計を合わせると日付と現在時刻を表示できます。ナンバー・ディスプレイご利用時、着信履歴に着信日時が表示されます。(108～109ページ)

留守中に録音された件や通話録音(140ページ)した内容に、日付と時刻を記録(タイムスタンプ)するには、親機の時計を合わせてください。

お買い上げ時は、日付と現在時刻が登録されていません。電源が入ると(子機は電池パックをセットすると)、自動的に2007年1月1日午前0時から動き始めます。タイムスタンプや着信履歴を正しく作動させるために、必ず親機と子機の時計をそれぞれ登録してください。

親機の西暦・日付・時刻を登録するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “日時設定” を選ぶ

電話帳受信
日時設定 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

2007年
01月01日 00:00

●すでに登録されているときは、登録されている日時が表示されます。

4 ダイヤルボタンで
年月日と時刻を入力する(30ページ)

(例) “2007年9月13日 午後7時5分” のとき

2007年
09月13日 19:05

●入力し直すには、上下左右ボタンを押して、カーソルを修正したい数字に移動させます。

5 電話帳/決定 押す

2007年
09月13日 19:05

▶完了音が鳴ったら を押します。

子機の西暦・日付・時刻を登録するには



(子機)

登録したい子機で行なってください。

切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “日時設定” を選ぶ

電話帳受信
日時設定

3 決定
電話帳 押す

2007年
01月01日 00:00

●すでに登録されているときは、登録されている日時が表示されます。

4 ダイヤルボタンで
年月日と時刻を入力する(30ページ)

(例) “2007年9月13日 午後7時5分” のとき

2007年
09月13日 19:05

●入力し直すには、上下左右ボタンを押して、カーソルを修正したい数字に移動させます。

5 決定
電話帳 押す

2007年
09月13日 19:05

▶完了音が鳴ったら を押します。

■操作を間違えたときは親機は 、子機は を押して、はじめからやり直します。

■登録した年月日と時刻を修正したいときは、はじめからやり直します。

時計を合わせる (つづき)

西暦・日付・時刻を合わせるときは (例：親機)

年は西暦の下2桁、時刻は24時間制で入力してください。

(例) 2007年 → 年

●1桁のときは、最初に“0”をつけてください。

(例) 3月 → 月 午前8時 → 時

(例) 2007年9月13日の午後7時5分にするとき

年 月 日 時 分

西暦 (2桁) 日付 (4桁) 時刻 (4桁)

(例) 2008年3月12日の午前9時35分にするとき

年 月 日 時 分

■西暦は2000年から2099年まで登録できます。

■時計表示は、あくまで目安としてご使用ください。なお、誤差が生じた場合は、もう一度登録し直してください。(時計精度：平均月差±60秒以内)

音量を調節する

準備

親機の呼出音量を調節するには (親機)

親機の呼出音量を「音量1」から「音量4」、「消音」の5段階に調節できます。
お買い上げ時は、「音量3」に設定されています。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

4 “呼出音量”を選ぶ

呼出音質
呼出音量 選ぶ

5 電話帳/決定 押す

呼出音量
▲[■■■]

●現在の設定が表示されます。

6 音量を選ぶ
(例) “音量2” のとき

呼出音量
▲[■■]

●消音 ⇄ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4
と切りかわります。

- ▶  を押し、完了音が鳴ったら  を押します。
- 消音を設定すると  が表示されます。

子機の呼出音量を調節するには (子機)

子機の呼出音量を「音量1」から「音量4」、「消音」の5段階に調節できます。それぞれの子機で行なってください。
お買い上げ時は、「音量3」に設定されています。

切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量

3 決定
電話帳 押す

呼出音質
呼出音量

4 “呼出音量”を選ぶ

呼出音質
呼出音量

5 決定
電話帳 押す

呼出音量
▲[■■■]

●現在の設定が表示されます。

6 音量を選ぶ
(例) “音量2” のとき

呼出音量
▲[■■]

●消音 ⇄ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4
と切りかわります。

- ▶  を押し、完了音が鳴ったら  を押します。
- 消音を設定すると  が表示されます。

お知らせ

- 親機の呼出音を「消音」にした状態で留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーから音を出さずに留守番録音することができます。(消音留守セット 87ページ)
- 内線の呼出音量やドアホンの呼出音量も、ここで設定する呼出音量と同じです。ただし、呼出音量が「消音」に設定されていると、「音量1」で鳴ります。
- 夜間呼出音量(137～139ページ)が消音以外に設定されていると、呼出音量が「消音」に設定されていても、夜間時間帯は、呼出音が鳴ります。

音量を調節する (つづき)

準備

親機のスピーカー音量を調節するには

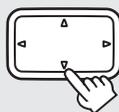


(親機)

ハンズフリー通話や用件再生などに使うスピーカーの音量を4段階に調節できます。お買い上げ時は、「音量3」に設定されています。

ハンズフリー通話中に

小さくするとき



下を押す

大きくするとき



上を押す

音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4 と切りかわります。

子機のスピーカー音量を調節するには

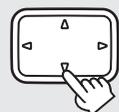


(子機)

ハンズフリー通話や用件再生などに使うスピーカーの音量を4段階に調節できます。お買い上げ時は、「音量3」に設定されています。

ハンズフリー通話中に

小さくするとき



下を押す

大きくするとき



上を押す

音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4 と切りかわります。

親機の受話音量を調節するには

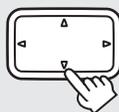


(親機)

受話器の音量を4段階に調節できます。お買い上げ時は、「音量1」に設定されています。

受話器で通話中に

小さくするとき



下を押す

大きくするとき



上を押す

音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4 と切りかわります。

子機の受話音量を調節するには

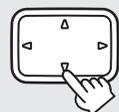


(子機)

子機のレシーバーからの音量を4段階に調節できます。お買い上げ時は、「音量1」に設定されています。

通話中に

小さくするとき



下を押す

大きくするとき



上を押す

音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4 と切りかわります。

■ 内線通話中やドアホン通話中は、スピーカー音量と受話音量の設定状態は、液晶画面には表示されません。音を聞きながら調整してください。(ドアホン通話中は、スピーカー音量を調節することはできません。)

お知らせ ● 調節したスピーカー音量と受話音量は、電話を切っても変わりません。

呼出音の種類をかえる

外からの呼出音を10種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は、「ベル1」に設定されています。

準備

親機の呼出音の種類をかえるには  (親機)

子機の呼出音の種類をかえるには  (子機)

受話器を置いた状態で

切ボタンを押してから

1 戻る機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

1 録音/戻る機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量

3 電話帳/決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

3 決定/電話帳 押す

呼出音質
呼出音量

4 電話帳/決定 押す

呼出音質
選ぶ

4 決定/電話帳 押す

呼出音質
選ぶ

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

5 呼出音を選ぶ

●選ぶたびに、呼出音が鳴ります。(最大約1分)
●お知らせするときの音量は呼出音量(31ページ)と連動します。

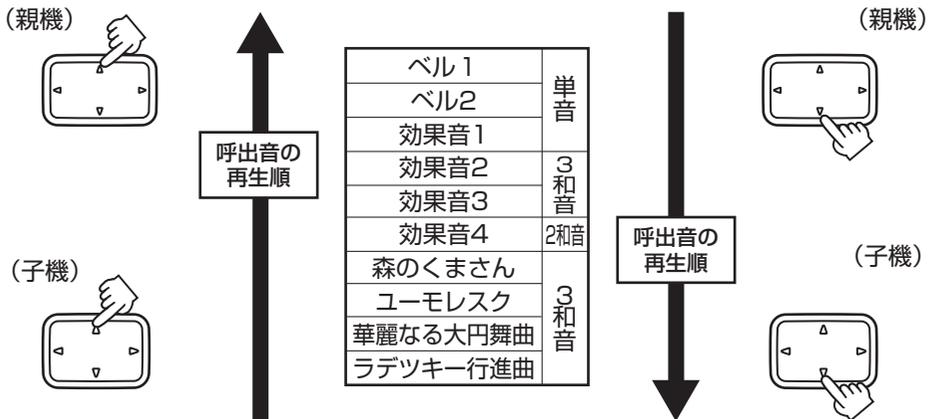
5 呼出音を選ぶ

●選ぶたびに、呼出音が鳴ります。(最大約1分)
●お知らせするときの音量は呼出音量(31ページ)と連動します。

▶  を押し、完了音が鳴ったら  を押します。

▶  を押し、完了音が鳴ったら  を押します。

●呼出音の種類(10種類/親機・子機共通)



お知らせ

- 内線やドアホンの呼出音の種類をかえることはできません。
- 夜間時間帯に上記操作を行なうと、手順4、5でお知らせする音量は、夜間呼出音量と連動します。(138ページ)

呼出音・警告音の種類

準備

(任意に選ぶことができる呼出音)

呼出音が鳴るとき	親機の音	子機の音
外からの電話 (お買い上げ時)	ベル1	ルルル 約2秒

■ ホームテレホンや構内交換機 (PBX) などに接続してご使用の場合は、呼出音が上記のように鳴らないことがあります。

(選ぶことができない呼出音)

呼出音が鳴るとき	親機の音	子機の音
内線通話	ビービービー 約2秒	ビービービー 約2秒
子機間通話 (子機を2台以上 お使いのとき)	———	ビービービー 約2秒 ビービービー 約2秒
1台目のドアホン	「ピポピポピポピポ ピポピポピポピポ」	
2台目のドアホン	「ピポピポ ピポピポ ピポピポ」	

(設定音・警告音)

設定音・警告音が鳴るとき	親機の音	子機の音
子機が親機から離れず ぎたとき (通話中)	———	「ピピピ」
登録・設定が完了した とき (完了音)	「ピーツ」	
登録・設定ができなかつ たとき	「ピピピ」	
通話中に電池残量が少な くなったとき	———	「ピピピ・・・ピピピ・・・」
登録・設定・確認中にその メニューや選択肢の開始 地点 (お買い上げ時の設 定値)に戻ったとき、または、 メニューや選択肢が一巡 したとき (呼出音質・鳴り 分け・キータッチ音の設定 を除く) ※ 音量やコントラスト選 択時は、最大値のとき	「ピピ」	

固定電話から携帯電話への通話サービスを利用する

固定電話から携帯電話への通話サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号をつけてダイヤルすると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです。（お申し込み手続きは不要です。）

<ご利用方法>

携帯電話番号の前に、事業者識別番号をつけてダイヤルしてください。

（例）NTT 東日本のサービスを利用する場合

0036 ▶ 090 - XXXX - XXXX
事業者識別番号 携帯電話番号

- （注意）● 発信事業者の料金などについては各事業者にお問い合わせください。
● PHS への通話をご利用いただけません。携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など一部ご利用いただけません番号があります。
● ひかり電話サービスをご利用の場合、本サービスはご利用できません。

さらに、本商品の「携帯通話設定機能」（36～39 ページ）を設定すると、本商品から携帯電話に電話をかける際、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。

※本機能を正しくはたらかせるために、設定を正しく行ってください。

【かける人】（固定電話）

- ①相手の携帯電話番号をダイヤルします。

「090XXXXXXXXX」



- このとき親機の が約 5 秒間点滅します。子機で電話をかけたときも、親機の が点滅します。
- 次の場合でもご利用になれます。
 - ・リダイヤル（47 ページ）、発信履歴からかけ直す（48、49 ページ）とき
 - ・電話帳（70、71 ページ）、短縮ダイヤル（82、83 ページ）からかけるとき
 - ・着信履歴（108、109 ページ）やリターンダイヤル（131 ページ）からかけ直すとき※

※・・・ナンバー・ディスプレイご利用時

- ②事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。
「0036090XXXXXXXXX」
（例）携帯通話設定機能を「NTT 東日本(0036)」に設定されているとき

④通話

【受ける人】（携帯電話）

- ③かけてきた相手の電話番号が表示されます。

「0312345678」



- 「184」をつけるなど、固定電話から非通知設定で電話をかけてきたときは、電話番号は表示されません。

- ひかり電話サービスをご利用の方は、携帯通話設定機能を設定しないでください。
- ひかり電話以外の IP 電話サービスをご利用の場合でも、本機能の加入電話選択番号の設定により、固定電話網経由で携帯電話へ電話をかけることができます。

携帯通話設定機能を利用する

携帯通話設定機能を「NTT 東日本 (0036)」または「その他事業者」などに設定しておく、本商品から携帯電話に電話をかける際、自動的に事業者識別番号をつけてダイヤルすることができます。お買い上げ時は「OFF」(解除)に設定されています。**お申し込みは不要です。親機で設定すると、親機や子機で携帯通話設定機能を利用することができます。**

本機能は、携帯電話以外への通話には、ご利用いただけません。

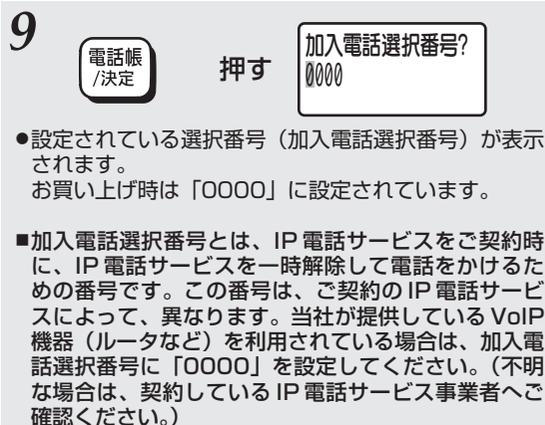
携帯通話設定(NTT 東日本)を設定/解除するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



■手順 8 の操作を間違えると、電話をかけられない場合があります。



お知らせ

- ホームテレホンや構内交換機 (PBX) に接続した場合は、携帯通話設定を「OFF」(解除)に設定してください。
- 事業者識別番号や加入電話選択番号は、リダイヤルや発信履歴に記録されません。(ダイヤルした携帯番号のみ記録されます。)



10 加入電話選択番号を入力する (最大4桁)

(例) “0000” のとき

加入電話選択番号?
0000

- ポーズは入力できません。
- 入力し直すには キャッチ **消去** を押します。

11

電話帳
決定

押す

ON 0036(NTT東)
選択番号 0000

▶完了音が鳴ったら 停止 **再生** を押します。

■解除するときは、手順6で“OFF”を選び、最後に 電話帳 **決定** を押します。

♪ ワンポイント

オープニングツアー (21 ページ) から、携帯通話設定機能を「NTT 東日本 (0036)」に設定することができます。

- オープニングツアーで表示される画面

携帯通話設定
ON 0036(NTT東)

点滅

上記画面表示中に、電話帳/決定ボタンを押すと、手順7の画面表示になります。設定する場合は、手順8から続けて操作を行なってください。設定が終わると、通常状態の画面にかかります。

当社サービス提供エリアは下記の通りです。

- 当社サービス提供エリア

	該当する地域
NTT 東日本 (0036)	北海道、東北、関東、 甲信越地区

当社サービス提供エリア以外にお住まいのとき、および当社以外の事業者を利用するときは、手順6で「その他事業者」を選んでください。(38～39 ページ)

携帯通話設定機能を利用する（つづき）

携帯通話設定(その他事業者)を設定／解除するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “電話回線”を選ぶ

日時設定
電話回線 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す

回線種別
スプリット・TA 選ぶ

4 “携帯通話設定”を選ぶ

スプリット・TA
携帯通話設定 選ぶ

5 電話帳
/決定 押す

携帯通話設定
ON/OFF

●現在の設定が表示されます。

6 “その他事業者”を選ぶ

携帯通話設定
その他事業者

7 電話帳
/決定 押す

事業者番号?
|_____

●すでに設定されているときは、事業者識別番号が表示されます。

8 事業者識別番号を設定する（4～6桁）

事業者番号?
00xx|_

●事業者識別番号は、各固定電話事業者へお問い合わせください。
●*、#、ポーズは入力できません。
●「00」から始まる数字を設定してください。
●「0000」「00000」「000000」は設定できません。
●入力し直すには キャッチ 消去 を押します。

9 電話帳
/決定 押す

IP電話利用中?
ON/OFF

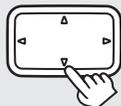
●現在の設定が表示されます。

お知らせ

- 事業者識別番号設定に、市外局番や、存在しない事業者識別番号などを設定すると、相手につながりません。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）に接続した場合は、携帯通話設定を「OFF」（解除）に設定してください。
- 事業者識別番号や加入電話選択番号は、リダイヤルや発信履歴に記録されません。
- その他事業者のサービス内容、および通話料金については、各固定電話事業者へお問い合わせください。
- その他事業者の事業者識別番号は、各固定電話事業者へお問い合わせください。



10 IP電話サービスをご利用の場合は “YES”を選ぶ



IP電話利用中?
◆YES

- IP電話サービスを利用していない場合は、“NO”を選んで、手順13に移ってください。

■手順10の操作を間違えると、電話をかけられない場合があります。

11

電話帳
/決定

押す

加入電話選択番号?
0000

- 設定されている選択番号（加入電話選択番号）が表示されます。
お買い上げ時は「0000」に設定されています。

12 加入電話選択番号を入力する （最大4桁）

（例）“0000”のとき

加入電話選択番号?
0000

- ポーズは入力できません。
キヤッツ
- 入力し直すには **消去** を押します。

13

電話帳
/決定

押す

ON 00xx
選択番号 0000

▶完了音が鳴ったら **停止再生** を押します。

■解除するときは、手順6で“OFF”を選び、最後に **電話帳/決定** を押します。

NTT 東日本サービス提供エリアは下記の通りです。

- NTT 東日本サービス提供エリア

	該当する地域
NTT 東日本 (0036)	北海道、東北、関東、 甲信越地区

NTT 東日本サービス提供エリア以外にお住まいのとき、およびNTT 東日本以外の事業者を利用するときは、手順6で「その他事業者」を選んでください。



■ 携帯電話へのダイヤル方法

● IP電話サービスをご利用でないお客様

(36 ページの手順 8、または 39 ページの手順 10 の「IP 電話利用中?」で「NO」を選択されたお客様)

携帯通話設定を利用して電話をかける場合	携帯電話番号をダイヤルします。 090-XXXX-XXXX もしくは 080-XXXX-XXXX
一時的に携帯通話設定を解除して電話をかける場合 (携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などに電話をかけるとき)	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号(「0000」)をつけてダイヤルします。 0000-090-XXXX-XXXX もしくは 0000-080-XXXX-XXXX 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号

● IP電話サービスをご利用されているお客様

(36 ページの手順 8、または 39 ページの手順 10 の「IP 電話利用中?」で「YES」を選択されたお客様)

携帯通話設定を利用して電話をかける場合	携帯電話番号をダイヤルします。 090-XXXX-XXXX もしくは 080-XXXX-XXXX
一時的に携帯通話設定を解除して電話をかける場合	携帯電話番号の前に、携帯通話設定解除番号(「0000」)をつけてダイヤルします。* (IP 電話網経由でダイヤルします) 0000-090-XXXX-XXXX もしくは 0000-080-XXXX-XXXX 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号 携帯通話設定解除番号 携帯電話番号

*…携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話などに固定電話網経由で電話をかけるときには、加入電話選択番号も必要になります。携帯通話設定解除番号(「0000」)に続けて、加入電話選択番号と相手の携帯電話番号をダイヤルしてください。

ご注意

- 携帯通話設定機能を「NTT 東日本(0036)」に設定して通話できる回線の種類は、NTT 東日本サービス提供エリア内(北海道、東北、関東、甲信越地区)の加入電話、加入電話・ライトプラン、INS ネット64、INS ネット64・ライト、INS ネット1500となります。
- 本機能をご利用になるときは、携帯電話番号の前に、事業者識別番号や加入電話選択番号(36 ページ)をダイヤルしないでください。電話がかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。
- 電話番号の前に「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルすると、その通話に限り、携帯通話設定機能を利用せずに電話をかけることができます。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、船舶電話など、一部ご利用いただけない番号があります。この場合は、電話番号の前に「0000」(携帯通話設定解除番号)をつけてダイヤルしてください。
- IP 電話サービスをご利用時、接続する VoIP 機器(ルータなど)によっては、本機能が正しくはたらかない場合があります。
- ダイヤルボタンを押しても、しばらくダイヤル音が聞こえない場合があります。これは本商品が事業者識別番号の付与判定を行なっているためであり、故障ではありません。
- 本機能は、電話をかけるときに有効な機能ですが、お話中に^{キャッチ}消去^{キャッチ}や^{キャッチ}消去^{キャッチ}を利用して電話をかけるとき(トリオホンご利用時など)には、本機能ははたらきません。
- 「184」「186」などの番号を押してから、ポーズボタンを押してダイヤルしたり、ポーズを入れて電話帳登録(62、63 ページ)した相手に、電話帳を利用して電話をかけると、本機能ははたらきません。
- 電話をかけるとき「ツー」音が聞こえてから、約 18 秒以内に携帯電話番号の上位 4 桁をダイヤルしないと、本機能ははたらきません。

(2007 年 8 月現在)

携帯番号帯設定を行なう



(親機)

[41～42ページの操作は、携帯番号帯が追加・変更されたとき以外は行なわないでください。]

2007年8月現在、この操作を行なう必要はありません。

携帯通話
設定

携帯番号帯を設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “電話回線” を選ぶ

日時設定
電話回線 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

回線種別
スプリッタ・TA 選ぶ

4 “携帯通話設定” を選ぶ

スプリッタ・TA
携帯通話設定 選ぶ

5 電話帳/決定 押す

携帯通話設定
ON 0036(NTT東)

●現在の設定が表示されます。

6 キャッチ
消去 押す

携帯番号帯
登録

7 電話帳/決定 押す

番号(上位4桁)?
0911

8 携帯電話番号の上位4桁を設定する (例) 携帯番号帯“0911”が追加されたとき

番号(上位4桁)?
0911

- *、#、ポーズは入力できません。
- 「0」から始まる数字4桁を設定してください。
- 「0000」は設定できません。
- 入力し直すには ^{キャッチ}消去 を押します。

▶ ^{電話帳/決定} を押し、完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。

「携帯番号帯」とは

「080」「090」で始まる携帯電話番号の上位4桁のことです。
お買い上げ時は、あらかじめ携帯番号帯が18件設定されています。最大30件まで設定することができます。

●設定されている携帯番号帯 (18件)

0801	0901
0802	0902
0803	0903
0804	0904
0805	0905
0806	0906
0807	0907
0808	0908
0809	0909

あらかじめ設定されている携帯番号帯を、誤って消去すると、その携帯番号帯に電話をかけるときに携帯通話設定機能を利用できなくなります。

お知らせ

- PHS(「070」で始まる電話番号)や、市外局番、事業者識別番号など携帯電話番号以外の番号は設定しないでください。電話がかけられなかったり、通話料金などが異なる場合があります。

携帯番号帯設定を行なう (つづき)



(親機)

[41～42ページの操作は、携帯番号帯が追加・変更されたとき以外には行なわないでください。]
2007年8月現在、この操作を行なう必要はありません。

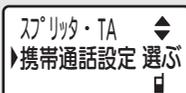
携帯通話
設定

携帯番号帯を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

- 1 「携帯番号帯を設定するには」(41ページ)の手順1～4を行なう

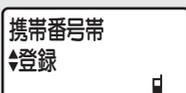


- 2  押す

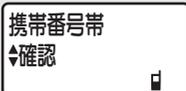
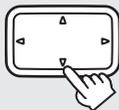


● 現在の設定が表示されます。

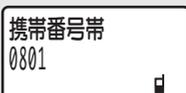
- 3 **キャッチ**
 押す



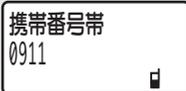
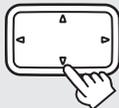
- 4 “確認” を選ぶ



- 5  押す



- 6 設定されている携帯番号帯を確認する



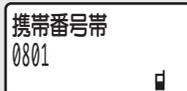
▶ 終わるときは  を押します。

携帯番号帯を消去するには

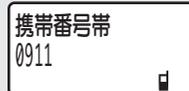
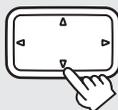
子機ではできません。

受話器を置いた状態で

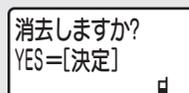
- 1 このページの左側にある「携帯番号帯を確認するには」の手順1～5を行なう



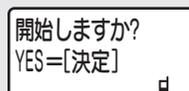
- 2 消去したい携帯番号帯を選ぶ



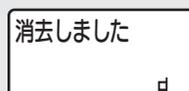
- 3 **キャッチ**
 押す



- 4  押す



- 5  押す



▶ 完了音が鳴ったら  を押します。
■ 消去しないときは、手順3の後で  を押します。

電話をかける／受ける

親機で電話をかけるには



(親機)

1



とる

「ツーン」音が聞こえたら

2

ダイヤルする

0'05 音量 1
0312345678

通話が終わったら

3



戻す

■ダイヤルしてから受話器をとっても電話をかけることができます。(最大20桁まで)
この場合、読上げダイヤル(142ページ)がはたらきます。

親機で電話を受けるには



(親機)

呼出音が鳴ったら



とる

▶通話が終わったら、受話器を戻します。

子機で電話をかけるには



(子機)

1



とる
充電器上にないときは

 押す (点灯)

「ツーン」音が聞こえたら

2

ダイヤルする

0'05 音量 1
0312345678

通話が終わったら

3



戻す
または  押す

■ダイヤルしてから  を押しても電話をかけることができます。(最大20桁まで)

子機で電話を受けるには



(子機)

呼出音が鳴ったら



とる
充電器上にないときは

 押す (点灯)

▶通話が終わったら、充電器に戻します。または  を押します。

お知らせ

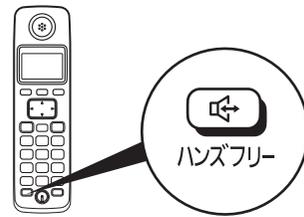
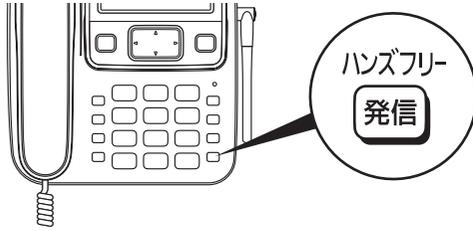
- 液晶画面に「回線使用中」や「ドアホン使用中」と表示されているときは、電話をかけることができません。
- ISDN回線のTA（ターミナルアダプタ）に接続してお使いになる場合は、通話の声が反響することがあります。また、本商品を事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、通話時にマイクが周囲の騒音を拾うため、相手の声が聞きとりにくくなる場合があります。このようなときは、154ページの「スプリッタ・TAの設定」を行なってみてください。改善されることがあります。
- ADSLサービスをお使いになる場合は、通話の声が反響することがあります。この場合は、154ページの「スプリッタ・TAの設定」を行なってみてください。改善されることがあります。
- 通話中に液晶画面のバックライト、ダイヤルライトおよび上下左右ボタンのライトが途中で消えます。
- 電話をかけようとしたときに、受話器（または子機）から「プブッ、プブッ」という音がする場合があります。これは、「キャッチホンⅡやマジックボックスのメッセージ預かり」の通知音です。なお、電話は通常通りご利用になれます。
- 携帯通話設定機能（36～39ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の  が約5秒間点滅します。
- クイック通話設定時（143ページ）、子機を充電器からとると、 は点滅します。
- 子機は充電器上にあるときに  を押しても、機能ははたらきません。
- 子機の液晶画面に「通話圏外」（または「親機サーチ中」）と「▽圏外」が表示されているときは 、、または  のいずれかを押してください。（親機の電源が入っていても、子機が親機から離れすぎたり、使用環境によっては、「通話圏外」と「▽圏外」が表示されることがあります。）
- 外からの電話と通話中にドアホンの呼出音が鳴っている間は、通話が中断されます。
- 「184」や「186」をつけて電話をかけたい場合は、次の順でダイヤルしてください。

・「184」または「186」+相手の電話番号

- ※ 184をつけてダイヤルする・・・電話をかけるときに自分の電話番号を通知する「通常通知」の契約の方が、その通話に限り、番号非通知で電話をかけるとき
- ※ 186をつけてダイヤルする・・・電話をかけるときに自分の電話番号を通知しない「通常非通知」の契約の方が、その通話に限り、番号通知で電話をかけるとき

受話器や子機を持たずにかける／受ける（ハンズフリー通話）

受話器や子機を持たずに通話することができます。両手がふさがっているときに便利です。
 (ただし、停電中は使用できません。受話器でお話してください。)



親機で電話をかけるには (親機)

子機で電話をかけるには (子機)

1 ハンズフリー 押す
 発信
 (液晶画面に  表示)

1  ハンズフリー 押す ( (発信) ランプ点灯)
 (液晶画面に  表示)

「ツーン」音が聞こえたら

「ツーン」音が聞こえたら

2 ダイヤルする



2 ダイヤルする



3 マイクに向かって話す (約50cmをめやすに)



- 受話器を持たずに話せます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。

3 マイクに向かって話す (約50cmをめやすに)



- 子機を持たずに話せます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。

通話が終わったら

通話が終わったら

4 ハンズフリー 押す
 発信
 ( 消灯)

4  切 押す
 または充電器に戻す
 ( 消灯)

お知らせ

- ハンズフリー通話中に、親機の受話器をとると、受話器を持って通話できます。子機は  を押し、子機を手を持ち、耳に当てて通話することができます。
- 子機は、充電器上にあっても、そのままハンズフリー通話をすることができます。この状態で、子機を持って通話したいときは、子機を充電器からとってください。(この後充電器に戻すと、電話は切れます。)
- 通話中に、液晶画面のバックライト、ダイヤルライトおよび上下左右ボタンのライトが途中で消えます。
- 天気予報(177)など、連続してスピーカーで聞く場合は、音声が入切れる場合があります。
- 携帯通話設定機能(36～39ページ)を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の  が約5秒間点滅します。
- ダイヤルしてから親機は  、子機は  を押し、電話をかけることができます。(最大20桁まで)

受話器や子機を持たずにかける／受ける（ハンズフリー通話）（つづき）

かける／受ける

親機で電話を受けるには



(親機)

呼出音が鳴ったら

- 1 ハンズフリー 押す
 (液晶画面に  表示)

2  **マイクに向かって話す (約50cmをめやすに)**

- 受話器を持たずに話せます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。

通話が終わったら

- 3 ハンズフリー 押す
 ( 消灯)

子機で電話を受けるには



(子機)

呼出音が鳴ったら

- 1  押す ( (発信) ランプ点灯)
 (液晶画面に  表示)

2  **マイクに向かって話す (約50cmをめやすに)**

- 子機を持たずに話せます。
- 相手の声はスピーカーから聞こえます。

通話が終わったら

- 3  押す
 または充電器に戻す
 ( 消灯)

ハンズフリー通話を使用するときのお願い

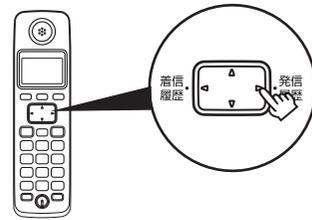
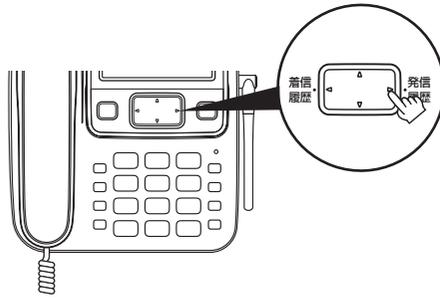
- マイクからの距離は、約50cmが目安です。離れすぎると相手に声が届きにくくなります。また、近すぎると声が大きすぎて反響し、相手の声が聞きとりにくくなります。
- 周りの音が大きいときや騒がしいときは、自分の声や相手の声かとぎれて会話しにくくなる場合があります。
- 相手の話がいったん終わったところで話すと、スムーズな会話をすることができます。
- 相手の声が小さいときは、親機または子機の上下左右ボタンの上を押してスピーカー音量を大きくしてください。
- 子機を手に持ってレシーバーを耳に当てた状態では、ハンズフリー通話をご使用にならないでください。

お知らせ

- ハンズフリー通話中に、親機の受話器をとると、受話器を持って通話できます。子機は  を押すと、子機を手に持ち、耳に当てて通話することができます。
 - 通話中に液晶画面のバックライト、ダイヤルライトおよび上下左右ボタンのライトが途中で消えます。
 - ハンズフリーで内線通話や子機間通話をすることができます。(ただし、ドアホンとハンズフリー通話することはできません。)
- 親機は  を押して内線にでてください。子機は、呼出した相手が電話にでた後（または呼出されて内線にでた後）、 を押してください。

電話をかけ直す(リダイヤル)

最後にかけた相手に簡単な操作でかけ直すことができます。相手が話し中や留守のときのかけ直しに便利です。



親機でかけ直すには



1



「ツーン」音が聞こえたら

2



●表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

3



子機でかけ直すには



1



とる
充電器上にはないときは



「ツーン」音が聞こえたら

2



●表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

3



戻す
または **切** 押す

お知らせ

- かけ直しできる電話番号は最大20桁です。
- ＊、＃、ポーズなども1桁として記録されます。
- リダイヤルの電話番号は、親機と子機で別々に記録されます。
- 携帯通話設定機能(36～39ページ)を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の  が約5秒間点滅します。ただし、リダイヤルや発信履歴には、事業者識別番号は記録されません。
- 子機が充電器上にあるときに  を押しても、機能ははたらきません。

発信履歴を確認する／かけ直す

かけた相手の電話番号を自動的に、親機・子機別々に最大10件（1件につき最大20桁まで）記録し（発信履歴）、確認することができます。（電話をかけた日時は記録されません。）さらに、その番号へ簡単にかけ直すことができます。

親機の発信履歴を確認して かけ直すには



(親機)

受話器を置いた状態で

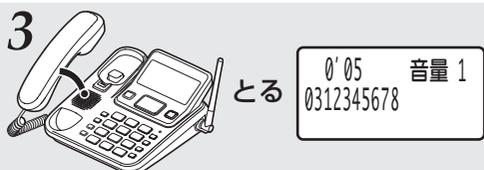


- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。
- 読上げダイヤル（142ページ）がはたらきます。



- 確認が終わるときは「**停止**再生」を押します。

かけ直したい番号が表示されたら



- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら



- 電話帳や短縮ダイヤルを利用して電話をかけると、発信履歴に、名前も記録されます。名前を登録していないときは、電話番号のみ記録されます。

♪ ワンポイント

電話帳を利用して電話をかけたときは、手順1や2のときに「名前」が表示されます。そのときに「**登録**」を押すと、表示が「電話番号」に切りかわります。もう一度押すと前の表示に戻ります。（ただし、記録されていないデータは表示しません。）

(例)



手順2の後、**戻る**機能 ▶ **電話帳**決定の順に押してから「184」「186」などの番号（特番ダイヤル）を押して受話器をとると、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。携帯電話設定機能（36～39ページ）をご利用時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

お知らせ

- 発信履歴が10件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 同じ電話番号に電話をかけたときは、先にかけたものが消去され、後からかけたものが記録されます。
- 手順2で上下左右ボタンの下を押すと、押すたびに、最後にかけた番号の1つ前から順にさかのぼって表示されます。
- かけたい電話番号を表示させた後、**ハンズフリー**（発信）を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 携帯通話設定機能（36～39ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の**電池**が約5秒間点滅します。ただし、リダイヤルや発信履歴には、事業者識別番号は記録されません。

子機の発信履歴を確認して かけ直すには



切ボタンを押してから



- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。



- 確認を終わるときは「切」を押します。

かけ直したい番号が表示されたら



- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

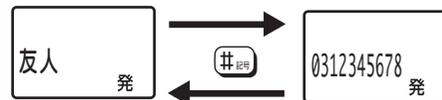


- 電話帳や短縮ダイヤルを利用して電話をかけると、発信履歴に、名前も記録されます。名前を登録していないときは、電話番号のみ記録されます。

♪ ワンポイント

電話帳を利用して電話をかけたときは、手順1や2のときに「名前」が表示されます。そのときに「#」を押すと、表示が「電話番号」に切りかわります。もう一度押すと前の表示に戻ります。(ただし、記録されていないデータは表示しません。)

(例)



手順2の後、**発信履歴**の順に押してから「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)を押して**通話**を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。携帯通話設定機能(36～39ページ)をご利用時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

お知らせ

- 発信履歴が10件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 同じ電話番号に電話をかけたときは、先にかけたものが消去され、後からかけたものが記録されます。
- 手順2で上下左右ボタンの下を押すと、押すたびに、最後にかけた番号の1つ前から順にさかのぼって表示されます。
- かけたい電話番号を表示させた後、**通話**を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 携帯通話設定機能(36～39ページ)を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の**LED**が約5秒間点滅します。ただし、リダイヤルや発信履歴には、事業者識別番号は記録されません。
- 子機が充電器上にあるときに**通話**を押しても、機能ははたらきません。

発信履歴を消去する

かける/受ける

親機の発信履歴を1件ずつ
消去するには（一件消去）

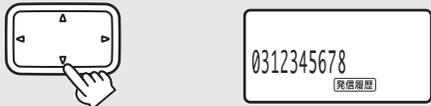


受話器を置いた状態で



- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 消去したい電話番号を表示させる



4 “消去（一件）”を選ぶ



- ▶完了音が鳴ったら **停止再生** を押します。
- 消去しないときは、手順5のあとで **停止再生** を押します。

親機の発信履歴をすべて
消去するには（全件消去）



受話器を置いた状態で



- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。



- 消去しないときは、手順4のあとで **停止再生** を押します。

子機の発信履歴を1件ずつ 消去するには（一件消去）



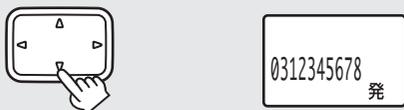
(子機)

切ボタンを押してから

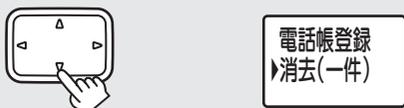


- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 消去したい電話番号を表示させる



4 “消去（一件）”を選ぶ



▶完了音が鳴ったら **切** を押します。

■消去しないときは、手順5の後で **切** を押します。

子機の発信履歴をすべて 消去するには（全件消去）



(子機)

切ボタンを押してから



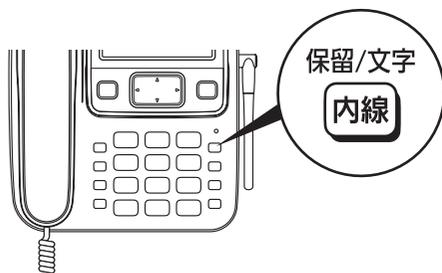
- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。



■消去しないときは、手順4の後で **切** を押します。

通話中、相手に待ってもらおう（保留）

通話中、相手に待ってもらおう間、保留メロディを流すことができます。こちらの声や音は、相手に聞こえません。



かきこく/留守電

親機で保留メロディを流すには  (親機)

通話中に

1 保留/文字
 押す

●受話器から保留メロディが聞こえます。
(ハンズフリー通話をしたときは、スピーカーから聞こえます。)

通話に戻るときは

2 保留/文字
 押す

子機で保留メロディを流すには  (子機)

通話中に

1  押す
保留/文字

●レシーバーから保留メロディが聞こえます。
(ハンズフリー通話をしたときは、スピーカーから聞こえます。)

通話に戻るときは

2  押す
保留/文字

●保留メロディの種類（1種類）

曲名
カノン

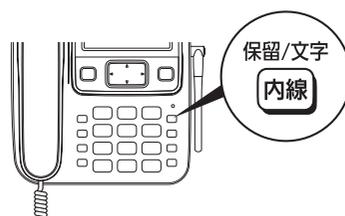
お知らせ

- 内線通話やドアホン通話は保留できません。
- 通話中のドアホン呼出しに対し、通話を保留にしてドアホンに応答したり呼びかけたりすることはできません。ドアホンの呼出音が鳴ってから約30秒以内に外からの通話を終わらせてから、ドアホンに応答してください。
- 親機や子機の液晶画面に<保留中>と表示されている状態が、約15～16分間続くと、自動的に電話は切れます。
- 電話帳、短縮ダイヤル、発信履歴、着信履歴、リターンダイヤルを利用してダイヤルしているときは、液晶画面に電話番号がすべて表示されるまで、保留ボタンは押せません。

子機と親機（または他の子機）で話す（内線通話）

親機と子機で話すことができます。

子機を2台以上お使いのときは、子機どうして話すことができます。（子機間通話）（通話料金はかかりません。）また、三者通話（60～61ページ）もご利用になれます。さらに、親機（または子機）が外線通話中に、使用していない他の子機（または親機）で、内線通話や子機間通話をすることができます。



親機から子機を呼出して話をするには



(親機)

(送り手)

受話器を置いた状態で



(子機)

(受け手)

1

保留/文字



押す

内線呼出
子機(1)

- 名称登録（141ページ）をしているときは、名前が表示されます。

2

電話帳
/決定

押す

内線
子機(1)

- 保留/文字
内線 が早点減します。

子機がでたら



内線の呼出音が鳴る
(最大約2分)

- 約2分たつと、自動的に通常状態に戻ります。
- 名称登録（141ページ）をしているときは、送り手の名前が表示されます。

3



受話器をとり、
子機と話す

- 受話器をとらずに、そのままハンズフリー通話できます。

終わるときは



充電器からとる、
充電器上にないときは
内線ボタンを押して
親機と話す

終わるときは

4



戻す

- ハンズフリー通話したときは、
停止再生 を押します。



戻す
または **切** 押す

■送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にして呼出し話すことができます。

内線通話中にかかってきた電話に出るには

内線通話中に電話がかかってくると、内線通話が自動的に終わり、呼出音が鳴り始めます。

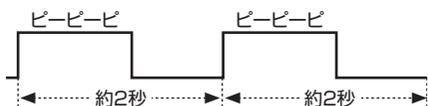
親機は、一度、受話器を戻してから、もう一度とって電話にでてください。子機は を押して、電話にでてください。

お知らせ

- 呼出しを止めたいときは、親機の または を押してください。

子機と親機（または他の子機）で話す（内線通話）（つづき）

内線通話の呼出音



子機から親機（または他の子機）を呼出して話をするには

かける/受ける



(送り手)

切ボタンを押してから

1

(例) 子機を1台使用しているとき

内線
保留/文字

押す

内線呼出
親機

- 名称登録（141 ページ）をしているときは、名前が表示されます。



(親機)



(受け手)

(他の子機)

子機を2台以上お使いのときは、上下左右ボタンの上または下を押して相手を選ぶ

- 親機の内線番号（02）または、子機の内線番号（12～42）を押すと、手順2を行わずに、呼出することができます。

2

決定
電話帳

押す

内線
親機

- 内線保留/文字とが早点減します。

受け手がでたら

3



親機
(または他の子機)
と話す



内線の呼出音が鳴る（最大約2分）

- 約2分たつと、自動的に通常状態に戻ります。
- 名称登録（141 ページ）をしているときは、送り手の名前が表示されます。



受話器をとる、または充電器からとる、充電器上にないときは内線ボタンを押して送り手と話す

- 受話器をとらずに、親機の保留/文字内線を押すと、ハンズフリー通話になります。

終わるときは

4



戻す
または 切 押す

終わるときは



受話器を戻す、または充電器に戻す、または切ボタンを押す

- 親機でハンズフリー通話したときは、停止再生を押します。

■ 送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にして呼出し話すことができます。

お知らせ

- 呼出しを止めたいときは、子機の内線または切を押してください。または、充電器に戻してください。
- 子機が充電器上にあるときに内線を押しても、機能ははたさきません。

子機や親機（または他の子機）に電話をとりつぐ（保留転送）

外からの電話を親機や子機にとりつぐことができます。とりつぐときに親機や子機と話すことができます。

親機から子機に電話をとりつぐには



(送り手)



(受け手)

通話中に

1 保留/文字

内線

押す

〈保留中〉
子機(1)

- 相手に保留メロディが流れます。
- 名称登録(141ページ)をしているときは、名前が表示されます。

子機を2台以上お使いのときは、上下左右ボタンの上または下を押して相手を選ぶ

- 子機の内線番号(1[※]～4[※])を押すと、手順2を行わずに、呼出すことができます。

2

電話帳/決定

押す

内線
子機(1)

- 保留/文字内線が早点減します。

子機がでたら



内線の呼出音が鳴る
(最大約2分)

- 約2分たつと、自動的に送り手の外線保留に戻ります。
- 名称登録(141ページ)をしているときは、送り手の名前が表示されます。

3



子機と話す

- 外からの相手とハンズフリーで通話しているときは、子機とそのままハンズフリー通話できます。



充電器からとる、
充電器上にないときは
内線ボタンを押して
親機と話す

終わるときは

4



戻す

- ハンズフリー通話したときは、**停止再生**を押します。



電話をかけたきた
相手と話す

■親機で手順1～2を行なうと、受け手の内線の呼出音が鳴ります。この後、受話器を戻すと内線の呼出音が止まり、すべての子機と親機の液晶画面に「〈保留中〉保留 転送」と表示されます。このときは、すべての子機と親機で、保留中の外線と通話することができます。(通話する場合：親機は受話器をとる、子機は充電器からとる、または**内線**を押す。)

■送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にしてとりつぐことができます。

お知らせ

- 呼出しを止めたいとき、および手順2で電話をとりつぐ操作を中断したいときは、親機の**保留/文字内線**を押してください。手順1の状態に戻ります。
- とりつぎ中に、受け手の液晶画面に ∇ 圏外が表示されると、受け手が電話にでられなかったり、でも何も聞こえず、しばらくすると電話が切れたりします。 ∇ 圏外が表示された場合は、すぐに親機に近づいたり、操作をやり直してください。

子機や親機（または他の子機）に電話をとりつぐ（保留転送）（つづき）

子機から親機（または他の子機）に電話をとりつぐには



(送り手)



(親機)



(受け手)

通話中に

1

(例) 子機を1台使用しているとき

内線

保留/文字

押す

<保留中>

親機

- 相手に保留メロディが流れます。
- 名称登録（141ページ）をしているときは、名前が表示されます。

子機を2台以上お使いのときは、上下左右ボタンの上または下を押して相手を選ぶ

- 親機の内線番号（）または、子機の内線番号（～）を押すと、手順2を行わずに、呼出すことができます。

2

決定
電話帳

押す

内線
親機

- 内線とが早点滅します。

受け手がでたら

3



親機
(または他の子機)
と話す

終わるときは



受話器をとる、または
充電器からとる、充電器上
にないときは内線ボタンを
押して送り手と話す

- 受話器をとらずに、親機の保留/文字内線を押し、ハンズフリー通話になります。

4



戻す
または 切 押す

電話をかけてきた相手と話す

- 子機で手順1～2を行なうと、受け手の内線の呼出音が鳴ります。この後、子機を充電器に戻るかを押すと内線の呼出音が止まり、すべての子機と親機の液晶画面に「<保留中> 保留 転送」と表示されます。このときは、すべての子機と親機で、保留中の外線と通話することができます。（通話する場合：親機は受話器をとる、子機は充電器からとる、またはを押す。）
- 送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にしてとりつぐことができます。

お知らせ

- 呼出しを止めたいとき、および手順2で電話をとりつぐ操作を中断したいときは、子機の保留/文字内線を押してください。手順1の状態に戻ります。
- 子機が充電器上にあるときにや保留/文字内線を押しても、機能ははたらかしません。
- とりつぎ中に、送り手や受け手の液晶画面に▽圏外が表示されると、受け手が電話にでられなかったり、でも何も聞こえず、しばらくすると電話が切れたりします。▽圏外が表示された場合は、すぐに親機に近づいたり、操作をやり直してください。

親機からすべての子機に呼びかけて話す（呼びかけ内線）

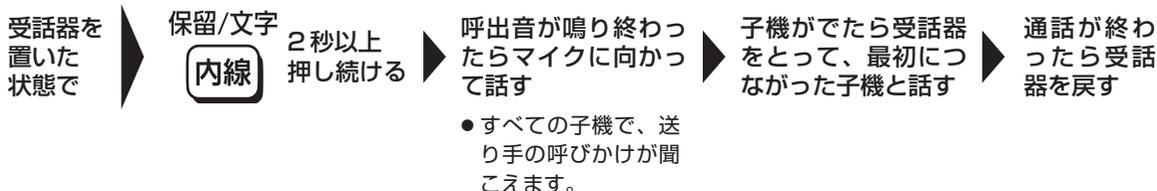


(親機)

親機からすべての子機に呼びかけて話すには（呼びかけ内線）

親機からすべての子機に一齐に呼びかけて、相手がでると、そのまま話すことができます。
(内線通話ができるのは、最初につながった1台のみです。)
(外線通話中は、この機能を利用できません。)

子機ではできません。



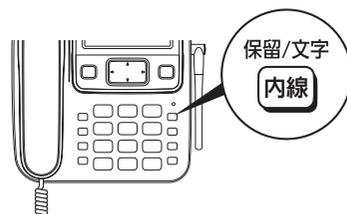
■呼びかけをやめたいときは、親機の 保留/文字 **内線** または 停止 **再生** を押してください。

内線通話／保留転送に関するご注意

- 保留転送時、受け手が通話圏外（受け手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と ∇ 圏外が表示）にあっても、他の子機や親機で電話にでることができます。（このとき液晶画面に「回線使用中」と表示されています。）
また、受け手が通話圏内に戻ってから  を押しても電話にでることができます。
- 内線呼出中や保留転送中、受け手が通話圏外にでた（受け手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と ∇ 圏外が表示された）場合、受け手の内線の呼出音が止まります。その状態から通話圏内に戻っても内線の呼出音は再び鳴らず、「受け手が電話にでられない」「電話に出て何も聞こえず、しばらくすると電話が切れる」という症状が発生する場合があります。（このとき送り手は、受け手を呼び続けています。）
液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と ∇ 圏外が表示された場合は、すぐに親機に近づき、液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と ∇ 圏外が表示されていないことを確認して、操作を最初からやり直してください。
- 内線呼出中や保留転送中、受け手や送り手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と ∇ 圏外が表示されたときは、呼出しが中断されたり、受け手が電話にでられなかったり、電話に出て何も聞こえずしばらくすると電話が切れたりすることがあります。（受け手が通話圏外でも、送り手は受け手を呼び続けます。）

子機や親機（または他の子機）を一斉に呼出して話す（一斉呼出）

子機を2台以上お使いのときは、親機やすべての子機を一斉に呼出して、相手がでると、そのまま話することができます。外からの相手と通話中にもご利用できます。



親機から子機を一斉に呼出して内線通話をするには

かける/受ける



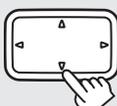
(親機)

(送り手)

受話器を置いた状態で

1 保留/文字
内線 押す 内線呼出
子機(1)

●名称登録（141ページ）をしているときは、名前が表示されます。

2 “一斉呼出”を選ぶ
 内線呼出
一斉呼出

●**[F5]**を押すと、手順3を行わずに、一斉呼出することができます。

3 電話帳
/決定 押す 内線
一斉呼出

●保留/文字 内線 が早点滅します。

子機がでたら

4  受話器をとり
最初につながった
子機と話す

●受話器をとらずに、そのままハンズフリー通話できます。

終わるときは

5  戻す

●ハンズフリー通話したときは、停止
再生を押します。



(子機)

(受け手)

内線呼出中や保留転送中、受け手や送り手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と γ 圏外が表示されたときは、呼出しが中断されたり、受け手が電話にでられなかったり、電話に出ても何も聞こえずしばらくすると電話が切れたりすることがあります。(受け手が通話圏外でも、送り手は受け手を呼び続けます。)

 内線の呼出音が鳴る
(最大約2分)

- 約2分たつと、自動的に通常状態に戻ります。(外からの相手と通話中に一斉呼出をした場合は、送り手の外線保留に戻ります。)
- 名称登録（141ページ）をしているときは、送り手の名前が表示されます。

 充電器からとる、
充電器上にないときは
内線ボタンを押して
親機と話す

終わるときは

 戻す
または 切 押す

■一斉に呼出された後に、内線通話ができるのは、最初につながった1台のみです。

■送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にして呼出し話すことができます。

お知らせ

●呼出しを止めたいときは、親機の保留/文字
内線または停止
再生を押してください。

●親機で外からの相手と通話中にも、上記操作を行ない、電話をとりつぐことができます。手順1で保留/文字
内線を押すと、相手に保留メロディが流れます。手順5の後、外からの相手と子機とで話することができます。



子機から親機や他のすべての子機を一斉に呼出して内線通話するには



(送り手)

切ボタンを押してから

1

(例) 子機を2台使用しているとき



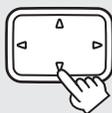
押す

内線呼出
子機(2)

- 名称登録 (141 ページ) をしているときは、名前が表示されます。

2

“一斉呼出”を選ぶ



内線呼出
一斉呼出

- **[#33]** を押すと、手順3を行わずに、一斉呼出することができます。

3



押す

内線
一斉呼出

- **[内線 保留/文字]** と **[切]** が早点滅します。

受け手がでたら

4



最初につながった
親機または他の子機と
話す

終わるときは

5



戻す
または **[切]** 押す



(親機)



(他の子機)

内線呼出中や保留転送中、受け手や送り手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と「圏外」が表示されたときは、呼出しが中断されたり、受け手が電話にでられなかったり、電話に出ても何も聞こえずしばらくすると電話が切れたりすることがあります。(受け手が通話圏外でも、送り手は受け手を呼び続けます。)



内線の呼出音が
鳴る (最大約2分)

- 約2分たつと、自動的に通常状態に戻ります。(外からの相手と通話中に一斉呼出をした場合は、送り手の外線保留に戻ります。)
- 名称登録 (141 ページ) をしているときは、送り手の名前が表示されます。



受話器をとる、または
充電器からとる、充電器上
にないときは内線ボタンを
押して送り手と話す

- 受話器をとらずに、親機の **[内線 保留/文字]** を押すと、ハンズフリー通話になります。

終わるときは



受話器を戻す、
または
充電器に戻す、
または
切ボタンを押す

- 親機でハンズフリー通話したときは **[停止 再生]** を押します。

- 一斉に呼出された後に、内線通話または子機間通話ができるのは、最初につながった1台のみです。
- 送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にして呼出し話すことができます。

お知らせ

- 呼出しを止めたいときは、子機の **[内線 保留/文字]** または **[切]** を押してください。または、充電器に戻してください。
- 子機で外からの相手と通話中にも、上記操作を行ない、電話をとりつぐことができます。手順1で **[内線 保留/文字]** を押すと、相手に保留メロディが流れます。手順5の後、外からの相手と親機 (または他の子機) とで話すことができます。
- 子機が充電器上にあるときに **[内線 保留/文字]** を押しても、機能ははたしません。

子機と親機（または他の子機）と外の相手の3人で話す（三者通話）

子機と親機（または他の子機）と外の相手の3人で同時に話すことができます。

親機から子機を呼出して三者通話をするには



(送り手)



(受け手)

通話中に

1 保留/文字

内線

押す

〈保留中〉

子機(1)

- 相手に保留メロディが流れます。
- 名称登録（141ページ）をしているときは、名前が表示されます。

内線呼出中や保留転送中、受け手や送り手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」とY圏外が表示されたときは、呼出しが中断されたり、受け手が電話にでられなかったり、電話に出て何も聞こえずしばらくすると電話が切れたりすることがあります。（受け手が通話圏外でも、送り手は受け手を呼び続けます。）

子機を2台以上お使いのときは、上下左右ボタンの上または下を押して相手を選ぶ
●子機の内線番号（1[※]～4⁶⁰）を押すと、手順2を行わずに、呼出すことができます。

2

電話帳/決定

押す

内線子機(1)

- 保留/文字内線が早点滅します。



内線の呼出音が鳴る（最大約2分）

- 約2分たつと、自動的に送り手の外線保留に戻ります。
- 名称登録（141ページ）をしているときは、送り手の名前が表示されます。

子機がでたら

3



3人で話すことを伝える



充電器からとる、充電器上にないときは内線ボタンを押して親機と話す

4

戻る機能

押す

三者通話中子機(1)

- 三者通話が始まります。



三者通話する



外の相手

■送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にして三者通話をするすることができます。

お知らせ

- 呼出しを止めたいときは、親機の保留/文字内線を押してください。手順1の状態に戻ります。
- 三者通話中にキャッチホンの信号が聞こえたときは、キャッチボタンを押すと、通話中にかかってきた別の相手との三者通話に切りかわります。
- 三者通話中に別の相手に電話をかけた後、外の相手との通話を保留することはできません。
- 親機と三者通話中の子機の液晶画面にY圏外が表示された後、音声聞こえる場所まで移動すると（Y圏外消灯）、三者通話に戻ることはできますが、先に三者通話を終了した親機にとりつぐことはできなくなります。

子機から親機（または他の子機）を呼出して三者通話をするには



(子機)

(送り手)



(親機)



(他の子機)

(受け手)

通話中に

1

(例) 子機を1台使用しているとき

内線
保留/文字

押す

〈保留中〉
親機

- 相手に保留メロディが流れます。
- 名称登録（141ページ）をしているときは、名前が表示されます。

内線呼出中や保留転送中、受け手や送り手の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」とY圏外が表示されたときは、呼出しが中断されたり、受け手が電話にでられなかったり、電話に出ても何も聞こえずしばらくすると電話が切れたりすることがあります。(受け手が通話圏外でも、送り手は受け手を呼び続けます。)

子機を2台以上お使いのときは、上下左右ボタンの上または下を押して相手を選ぶ

- 親機の内線番号（）または、子機の内線番号（～）を押すと、手順2を行わずに、呼出すことができます。

2

(例) “親機” のとき

決定
電話帳

押す

内線
親機

- とが早点滅します。



内線の呼出音が鳴る（最大約2分）

- 約2分たつと、自動的に送り手の外線保留に戻ります。
- 名称登録（141ページ）をしているときは、送り手の名前が表示されます。

受け手がでたら

3



3人で話すことを伝える



受話器をとる、または充電器からとる、充電器上にはないときは内線ボタンを押して送り手と話す

- 受話器をとらずに、親機の内線保留/文字を押すと、ハンズフリー通話になります。

4

録音/戻る
機能

押す

三者通話中
親機

- 三者通話が始まります。



三者通話する



外の相手

■送り手と受け手が上記以外の場合も、同様にして三者通話をすることができます。

お知らせ

- 呼出しを止めたいときは、子機の内線保留/文字または切を押してください。手順1の状態に戻ります。
- 子機が充電器上にあるときに内線保留/文字を押しても、機能ははたらきません。
- 三者通話中にキャッチホンの信号が聞こえたときは、キャッチボタンを押すと、通話中にかかってきた別の相手との三者通話に切りかわります。
- 三者通話中に別の相手に電話をかけたり、外の相手との通話を保留することはできません。
- 親機と三者通話中の子機の液晶画面にY圏外が表示された後、音声聞こえる場所まで移動すると（Y圏外消灯）、三者通話に戻ることができますが、先に三者通話を終了した親機にとりつぐことはできなくなります。

電話帳に登録する

よく利用される電話番号と名前を、親機、子機にそれぞれ最大100件まで登録しておくことができます。お買い上げ時は、親機、子機共に4件分の電話番号が登録されています。100件分すべて登録したいときは、すでに登録されている内容を親機、子機それぞれで消去してお使いください。(電話帳を消去するには74、75ページ)



親機の電話帳に登録するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1  押す 名前?
残り 96件 [漢]

5  押す 電話番号?

2 ダイヤルボタンで名前を入力する (64～67ページ) (最大 全角10文字/半角20文字)

(例) “友人” のとき

全角漢字(ひらがな)入力モードで確定前に一度に入力できる文字数は6文字です。→

友人 [漢]
> [漢]

- 名前を入力しないときは、手順3に移ってください。
- スペースも1文字として数えます。名前に全角10文字/半角20文字(濁点、半濁点を含む)をすべて使用するとき、スペースを入力せずに名前を入力してください。

6 市外局番から電話番号を入力する (最大20桁)

(例) “0312345678” のとき

電話番号?
0312345678

3  押す 読み?
[か]

4 読みを修正する (64～67ページ) (最大12文字)

(例) “ユウジン” に修正したとき

読み? [か]
ユウ

- 読みを修正しないときは、手順5に移ってください。

7  押す 登録しました

●電話帳に登録済みの電話番号 (4件)

時 報	117
天気予報	177
電 報	115
番号案内	104

電話帳に登録した内容(名前、電話番号など)は、別にメモを取り、保管して下さるようお願いいたします。

電話帳に登録した内容は、本商品の故障、修理、電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳に登録してある内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 電話帳は名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。ただし、電話帳検索時に表示される順番は登録した順や電話番号順ではありません。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく動作させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- 構内交換機(PBX)に接続してお使いのときは、市外局番の前に外線につなぐ番号(例0)と  (ポーズボタン)を押してから、手順6に移ってください。発信音「ツー」が聞こえるまでの間隔(約4秒間)を自動的にあけます。
- 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)と組み合わせて、20桁以上の電話番号をかけるときは、まず、電話帳に20桁以内の電話番号を登録し、そのあと、特番ダイヤル(70～71ページ)と組み合わせて電話をかけてください。

子機の電話帳に登録するには



(子機)

切ボタンを押してから

1

決定
電話帳

押す

名前?
残り 96件

2 ダイヤルボタンで名前を入力する
(64～67ページ)
(最大 全角 10文字／半角 20文字)

(例) “友人” のとき

全角漢字 (ひらがな)
入力モードで確定前に
一度に入力できる文字
数は6文字です。 →

友人
> [漢]

- 名前を入力しないときは、手順3に移ってください。
- スペースも1文字として数えます。名前に全角10文字／半角20文字(濁点、半濁点を含む)をすべて使用するときは、スペースを入力せずに名前を入力してください。

3

決定
電話帳

押す

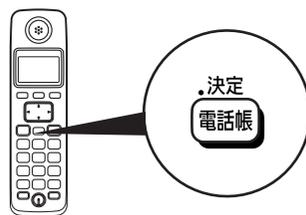
読み? [カ]
カニ

4 読みを修正する (64～67ページ)
(最大 12文字)

(例) “ユウジン” に修正したとき

読み? [カ]
ユウジ

- 読みを修正しないときは、手順5に移ってください。



5

決定
電話帳

押す

電話番号?

6 市外局番から電話番号を入力する
(最大 20桁)
(例) “0312345678” のとき

電話番号?
0312345678

7

決定
電話帳

押す

登録しました

●電話帳に登録済みの電話番号 (4件)

時 報	117
天気予報	177
電 報	115
番号案内	104

電話帳に登録した内容(名前、電話番号など)は、別にメモを取り、保管して下さるようお願いいたします。

電話帳に登録した内容は、本商品の故障、修理、電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳に登録してある内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 電話帳は名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。ただし、電話帳検索時に表示される順番は、登録した順や電話番号順ではありません。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく動作させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- 構内交換機(PBX)に接続してお使いのときは、市外局番の前に外線につながる番号(例0)と  (ポーズボタン)を押してから、手順6に移ってください。発信音「ツー」が聞こえるまでの間隔(約4秒間)を自動的にあけます。
- 2台以上の子機で、同時に文字入力することはできません。
- 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)と組み合わせて、20桁以上の電話番号をかけるときは、まず、電話帳に20桁以内の電話番号を登録し、そのあと、特番ダイヤル(70～71ページ)と組み合わせて電話をかけてください。

文字を入力する

電話帳の登録（親機は62ページの手順1、子機は63ページの手順1）などで、文字を入力できます。

*2台以上の子機で、同時に文字入力することはできません。

1 文字入力モードを切りかえる

保留/文字
親機は **内線**、子機は **内線** 押す



- ボタンを押すたびに入力モードが切りかわります。電話番号入力時は、数字入力モード固定となり、数字入力モードは表示されません。
- 子機は [漢] モードで入力中（入力した文字を確定する前）は、[漢] は表示されません。

2 ダイヤルボタンで入力する（漢字やひらがな以外の入力については、65ページをご覧ください。）

（例）“ゆうじん” のとき

文字	親機	子機	押す回数
ゆ			2回押す
う			3回押す
し			2回押す
ゝ			1回押す
ん			3回押す



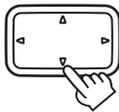
同じボタンで入力する文字が続く場合は、上下左右ボタンの右を押してカーソルを移動させてください。

濁点(°)や半濁点(゜)の入力には、親機は 、子機は を使います。

- 間違えたときは、親機は 、子機は を押します。
- 同じダイヤルボタンを押す回数によって、入力できる文字が変わります。
- 全角漢字（ひらがな）入力モードで、確定前に一度に入力できる文字は、ひらがな6文字までです。
- 名前で使用するくり返し符号「々」を表示させるには「おなじ」と入力して漢字変換します。
- 名前で使用する特殊文字「之」を表示させるには、「これ」または「の」と入力して漢字変換します。

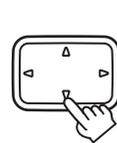
3 漢字に変換する（ひらがなを入力するときは、手順4に移ってください。）

（親機）



反転表示は変換中を示す

（子機）



反転表示は変換中を示す

- 上下左右ボタンの下を押して選びます。変換できる漢字がなくなると、カタカナ（全角）が表示されます。
- 希望の漢字に変換できないときは、手順2で読み方をかえる（音読み／訓読み）などして入力し、変換してください。なお、希望の漢字に変換できないときもあります。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。

4 入力文字を確定する

（親機）



押す



（子機）



押す



お知らせ ● [漢] が液晶画面に表示されているときに、親機は 子機は を押すと、全角記号（67ページ）を表示させることができます。上下左右ボタンで選択し、親機は 子機は を押して記号を入力します。全角記号表示中、電話帳の入力画面に戻るときは、親機は 子機は を3回押します。

■半角カタカナの入力例

(例) “ユウジン” のとき

*子機も同様の操作です。

文字	親機	押す回数
ユ		2回押す
ウ		3回押す
シ		2回押す
ン		1回押す
ソ		3回押す

■半角英字の入力例

(例) “HAPPY” のとき

*子機も同様の操作です。

文字	親機	押す回数
H		2回押す
A		1回押す
P		1回押す
カーソル移動		1回押す
P		1回押す
Y		3回押す

■半角数字の入力例

(例) “12345” のとき

*子機も同様の操作です。

文字	親機	押す回数
1		1回押す
2		1回押す
3		1回押す
4		1回押す
5		1回押す

■文字入力とボタンの関係について

同じボタンを押すたびに、表示される文字が切りかわります。

液晶表示 ボタン	[漢]	[か]	[英]
親機 (例)	▶ さ ▶ し ▶ す ▶ せ ▶ そ ▶	▶ サ ▶ シ ▶ ス ▶ セ ▶ ソ ▶	▶ D ▶ E ▶ F ▶
子機 (例)			

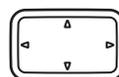
■カーソルの移動について

文字を入力するときに表示される「■ (全角)」 「▣ (半角)」をカーソルと言います。

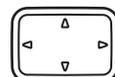
カーソルのある位置に文字が入力されます。文字を修正、消去するときや、同じ行の文字を続けて入力するとき、文字と文字の間に「スペース (空白)」を入れるときにも使います。すでに入力している文字と文字の間に「スペース (空白)」を入れるときは、半角英字・半角記号入力モードにしてから、親機は 子機は を押します。カーソルは、上下左右ボタンの左または右を押した回数分、移動します。

*電話番号の入力中は、カーソルを移動することができません。

上下左右ボタン



(親機)



(子機)

文字を消去するには

1 不要な文字にカーソルを合わせる

2 **キャッチ**
親機は 、子機は 押す

●2秒以上押し続けると、すべての文字が消去されます。

文字を挿入するには

1 挿入したい箇所の後ろの文字にカーソルを合わせる

2 文字を入力する

文字を入力する（つづき）

■文字入力対応表

ボタンと文字入力の間係を表にしました。文字入力時にご活用ください。

親機	子機	全角	半角		
		[漢]表示	[加]表示	[英]表示	[数]表示
		全角漢字・全角ひらがな ・全角カタカナ・全角記号 入力モード	半角カタカナ 入力モード	半角英字・半角記号 入力モード	半角数字 入力モード
		あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	スペース (空白)	1
		かきくけこ	カキケコ	ABC	2
		さしすせそ	サシセソ	DEF	3
		たちつとっ	タチツテトツ	GHI	4
		なにぬねの	ナニヌネノ	JKL	5
		はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO	6
		まみむめも	マミムメモ	PQRS	7
		やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV	8
		らりるれろ	ラリルロ	WXYZ	9
		わをん - (長音) 、(読点)。(句点)	ワヲン - (長音)		0
		ゝ ゝ (濁点) (半濁点)	ゝ ゝ (濁点) (半濁点)		*
		記号・絵文字・区点コード入力※1	!'()-./ ※2		#
キャッチ 	キャッチ 	数字・文字を消去する			
		■ (カーソル) を左右に移動させる			

※1… 表示内容は、67ページの「全角記号一覧」「絵文字一覧」および167～176ページの「区点コード一覧」をご覧ください。[漢]表示中に親機の(註)、子機の(註)を押すと、全角記号→絵文字→区点コードと切りかわります。入力したい記号や絵文字を上下左右ボタンで選ぶ、または区点コード(4桁)を入力して、電話帳/決定ボタンを押してください。

※2… [加]または[英]表示中に親機は(註)、子機は(註)を押すと、入力できる半角記号が一覧表示されます。入力したい半角記号を上下左右ボタンで選び、電話帳/決定ボタンを押してください。

■文字の大きさについて

[全角文字]

漢字などを表現するのに使用しています。
電話帳の名前登録、使用者表示などで使用しています。

(例)

友人
親戚

[半角文字]

全角文字の半分の面積を使って表示されます。
電話帳の読み(フリガナ)や電話番号などの数字の入力で使用しています。

(例)

コカゾン
0312345678

発信履歴から電話帳に登録する

発信履歴に記録されている電話番号を電話帳に登録することができます。

発信履歴から親機の 電話帳に登録するには



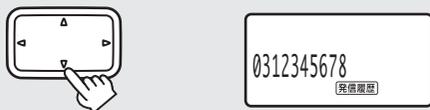
(親機)

受話器を置いた状態で



- 最後にかけた電話番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 登録したい電話番号を表示させる



4 “電話帳登録” を選ぶ



6 ダイヤルボタンで名前を入力する (64～67ページ) (最大 全角 10文字/半角 20文字) (例) “友人” のとき



- 名前を入力しないときは、手順7に移ってください。



8 読みを修正する (64～67ページ) (最大 12文字) (例) “ユウジン” に修正したとき



- 読みを修正しないときは、手順9に移ってください。



お知らせ

- 電話帳は名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。
- スペースも1文字として数えます。名前に全角10文字/半角20文字(濁点、半濁点を含む)をすべて使用するときは、スペースを入力せずに名前を入力してください。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)と組み合わせて、20桁以上の電話番号をかけるときは、まず、電話帳に20桁以内の電話番号を登録し、そのあと、特番ダイヤル(70～71ページ)と組み合わせて電話をかけてください。

発信履歴から子機の 電話帳に登録するには



切ボタンを押してから

1 発信履歴を押す

●最後にかけた電話番号が表示されます。
●15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 登録したい電話番号を表示させる

3 録音/戻る機能を押す

4 “電話帳登録”を選ぶ

5 決定電話帳を押す

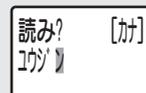
6 ダイヤルボタンで名前を入力する
(64～67ページ)
(最大 全角 10文字/半角 20文字)
(例) “友人” のとき



●名前を入力しないときは、手順7に移ってください。

7 決定電話帳を押す

8 読みを修正する (64～67ページ)
(最大 12文字)
(例) “ユウジン” に修正したとき



●読みを修正しないときは、手順9に移ってください。

9 決定電話帳を押す

10 決定電話帳を押す

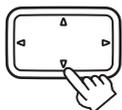
お知らせ

- 電話帳は名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。
- スペースも1文字として数えます。名前に全角10文字/半角20文字(濁点、半濁点を含む)をすべて使用するときは、スペースを入力せずに名前を入力してください。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)と組み合わせて、20桁以上の電話番号をかけるときは、まず、電話帳に20桁以内の電話番号を登録し、そのあと、特番ダイヤル(70～71ページ)と組み合わせて電話をかけてください。

電話帳でかける

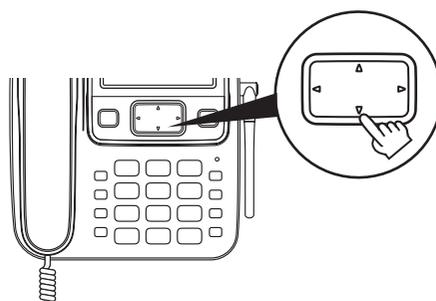
検索のしかた

親機の電話帳は、“読み”をもとに並べかえられています。上下左右ボタンの下を押すと、下記の順番で表示されます。



- 読みが未入力
- ↓
- スペース、記号（#・*を含む）
- ↓
- 数字（0～9）
- ↓
- 英字（アルファベット順）
- ↓
- 小文字カタカナ（ㇿ含む）
- ↓
- 大文字カタカナ（50音順）

*同一の“読み”（“読みが未入力”を含む）が複数登録されている場合、表示される順番は登録した順や電話番号順にはなりません。



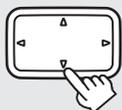
親機の電話帳から名前を探してかけるには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 かけたい相手を選ぶ



親戚
0612345678

- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。
- 読上げダイヤル（142ページ）がはたらきます。

2 とる



- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

3 戻す



♪ ワンポイント

手順1の後で、読みの頭の1文字（50音の行の先頭文字）を入力すると、電話帳を簡単に検索することができます。

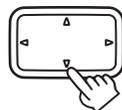
(例) “友人”を検索するとき



押す

- ダイヤルボタンに表示された文字以外の入力はできません。
- 英字・記号・数字を入力することはできません。
- 頭文字が小さい「ツ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」や「ㇿ」の相手を検索することはできません。

かけたい相手を選ぶ



友人
0312345678

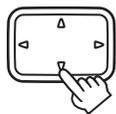
手順1の後、**戻る機能** (戻る) ▶ **電話帳/決定** (電話帳/決定) の順に押してから「184」「186」などの番号（特番ダイヤル）を押して受話器をとると、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。携帯通話設定機能（36～39ページ）をご利用時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

お知らせ

- かけたい相手を選んだ後 **ハンズフリー** (ハンズフリー) を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 名前（読み）の1文字目にスペース（空白）が登録されているものは、名前（読み）が登録されているものの中で最初に表示されます。
- 通話中に電話帳／決定ボタンを押してから手順1を行なって検索することができます。電話帳／決定ボタンを押すと、検索前の画面に戻ります。
- 携帯通話設定機能（36～39ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の **■** が約5秒間点滅します。

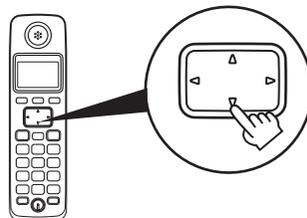
検索のしかた

子機の電話帳は、“読み”をもとに並べかえられています。上下左右ボタンの下を押すと、下記の順番で表示されます。



読みが未入力
↓
スペース、記号（#・*を含む）
↓
数字（0～9）
↓
英字（アルファベット順）
↓
小文字カタカナ（ワ含む）
↓
大文字カタカナ（50音順）

*同一の“読み”（“読みが未入力”を含む）が複数登録されている場合、表示される順番は登録した順や電話番号順にはなりません。



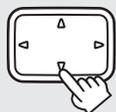
子機の電話帳から名前を探してかけるには



(子機)

切ボタンを押してから

1 かけたい相手を選ぶ



親戚
0612345678

- 15桁以上の電話番号は、液晶画面を切りかえて表示します。

2 押す (点灯)

- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

通話が終わったら

3 戻す または 押す

♪ ワンポイント

手順1の後で、読みの頭の1文字（50音の行の先頭文字）を入力すると、電話帳を簡単に検索することができます。

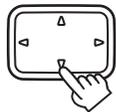
(例) “友人” を検索するとき



押す

- ダイヤルボタンに表示された文字以外の入力はできません。
- 英字・記号・数字を入力することはできません。
- 頭文字が小さい「ツ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」や「ワ」の相手を検索することはできません。

かけたい相手を選ぶ



友人
0312345678

手順1の後、 番号戻る機能 ▶  決定(電話帳) の順に押してから「184」「186」などの番号（特番ダイヤル）を押して  を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。携帯通話設定機能（36～39ページ）をご利用時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

お知らせ

- かけたい相手を選んだ後  を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 名前（読み）の1文字目にスペース（空白）が登録されているものは、名前（読み）が登録されているものの中で最初に表示されます。
- 通話中に電話帳／決定ボタンを押してから手順1を行なって検索することができます。電話帳／決定ボタンを押すと、検索前の画面に戻ります。
- 携帯通話設定機能（36～39ページ）を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の  が約5秒間点滅します。
- 子機が充電器上にあるときに  を押しても、機能ははたらきません。

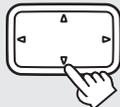
電話帳を修正・消去する

文字を修正するには、上下左右ボタンを使って、カーソルを修正したい文字に移動し、消去／キャッチボタンで消去してから入力し直します。

親機の電話帳を修正するには  (親機)

受話器を置いた状態で

1 修正したい相手を表示させる



友人
0312345678

2 戻る
機能 押す

▶特番ダイヤル
修正 選ぶ

3 “修正” を選ぶ

▶特番ダイヤル
修正 選ぶ

4 電話帳 / 決定 押す

友人
> [漢]

5 名前を修正する (64～67 ページ)
(最大 全角 10 文字 / 半角 20 文字)
(例) “友人” を “親戚” に修正したとき

親戚
> [漢]

●名前を修正しないときは、手順6に移ってください。

6 電話帳 / 決定 押す

読み? [か]
シンジ

7 読みを修正する (64～67 ページ)
(最大 12 文字)

(例) “ユウジン” を “シンセキ” に修正したとき

読み? [か]
シンジ

●読みを修正しないときは、手順8に移ってください。

8 電話帳 / 決定 押す

電話番号?
0312345678

9 市外局番から電話番号を入力する
(最大 20 桁)

(例) “0612345678” のとき

電話番号?
0612345678

●電話番号を入力しないときは、手順10に移ってください。

10 電話帳 / 決定 押す

登録しました

お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録した電話帳を修正すると、短縮ダイヤルも修正されます。(80～83 ページ)
- 手順9で電話番号を入力すると、表示されている番号はすべて消去されます。電話番号の一部修正はできません。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示 (101 ページ)、着信履歴 (108～109 ページ)、鳴り分け (116～117 ページ) などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を (別の名前や名前の有無などで) 複数登録しないでください。

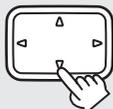
文字を修正するには

 (親機) や  (子機) の左右を押して、カーソルを修正したい文字に移動し、 (親機)  (子機) で消去してから入力し直します。(65 ページ)

子機の電話帳を修正するには (子機)

切ボタンを押してから

1 修正したい相手を表示させる

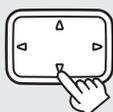


友人
0312345678

2 録音/戻る機能 を押す

▶特番ダイヤル修正

3 “修正” を選ぶ



▶特番ダイヤル修正

4 決定電話帳 を押す

友人
>■ [漢]

5 名前を修正する (64 ~ 67 ページ) (最大 全角 10 文字 / 半角 20 文字) (例) “友人” を “親戚” に修正したとき

親戚
>■ [漢]

●名前を修正しないときは、手順 6 に移ってください。

6 決定電話帳 を押す

読み? [か]
シンジ

7 読みを修正する (64 ~ 67 ページ) (最大 12 文字)

(例) “ユウジン” を “シンセキ” に修正したとき

読み? [か]
シンジ

●読みを修正しないときは、手順 8 に移ってください。

8 決定電話帳 を押す

電話番号?
0312345678

9 市外局番から電話番号を入力する (最大 20 桁)

(例) “0612345678” のとき

電話番号?
0612345678

●電話番号を入力しないときは、手順 10 に移ってください。

10 決定電話帳 を押す

登録しました

お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録した電話帳を修正すると、短縮ダイヤルも修正されます。(80 ~ 83 ページ)
- 手順 9 で電話番号を入力すると、表示されている番号はすべて消去されます。電話番号の一部修正はできません。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示 (101 ページ)、着信履歴 (108 ~ 109 ページ)、鳴り分け (116 ~ 117 ページ) などを正しく動作させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を (別の名前や名前の有無などで) 複数登録しないでください。

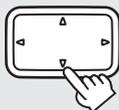
電話帳を修正・消去する (つづき)

親機の電話帳を1件ずつ
消去するには (一件消去)



受話器を置いた状態で

1 消去したい相手を表示させる



友人
0312345678

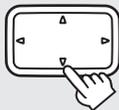
2 戻る

機能

押す

▶特番ダイヤル
修正 選ぶ

3 “消去 (一件)” を選ぶ



修正
▶消去(一件) 選ぶ

4

電話帳
/決定

押す

消去しますか?
YES=[決定]

5

電話帳
/決定

押す

消去しました

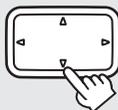
- ▶ 完了音が鳴ったら を押します。
- 消去しないときは、手順4の後で を押します。

親機の電話帳をすべて
消去するには (全件消去)



受話器を置いた状態で

1 電話帳を表示させる



友人
0312345678

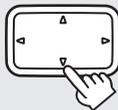
2 戻る

機能

押す

▶特番ダイヤル
修正 選ぶ

3 “消去 (全件)” を選ぶ



消去(一件)
▶消去(全件) 選ぶ

4

電話帳
/決定

押す

消去しますか?
YES=[決定]

5

電話帳
/決定

押す

消去しました

- 消去しないときは、手順4の後で を押します。

電話帳消去中は、電話をかけたり受けたりすることができません。このとき電話がかかってくると、電話帳消去が終わってから呼出音が鳴りはじめます。

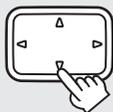
子機の電話帳を1件ずつ 消去するには（一件消去）



(子機)

切ボタンを押してから

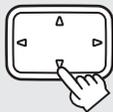
1 消去したい相手を表示させる

友人
0312345678

2 録音/戻る 機能 押す

▶特番ダイヤル
修正

3 “消去（一件）”を選ぶ

修正
▶消去（一件）

4 .決定 電話帳 押す

消去しますか？
YES=[決定]

5 .決定 電話帳 押す

消去しました

▶ 完了音が鳴ったら **切** を押します。■ 消去しないときは、手順4の後で **切** を押します。

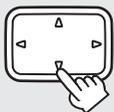
子機の電話帳をすべて 消去するには（全件消去）



(子機)

切ボタンを押してから

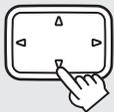
1 電話帳を表示させる

友人
0312345678

2 録音/戻る 機能 押す

▶特番ダイヤル
修正

3 “消去（全件）”を選ぶ

消去（一件）
▶消去（全件）

4 .決定 電話帳 押す

消去しますか？
YES=[決定]

5 .決定 電話帳 押す

消去しました

■ 消去しないときは、手順4の後で **切** を押します。

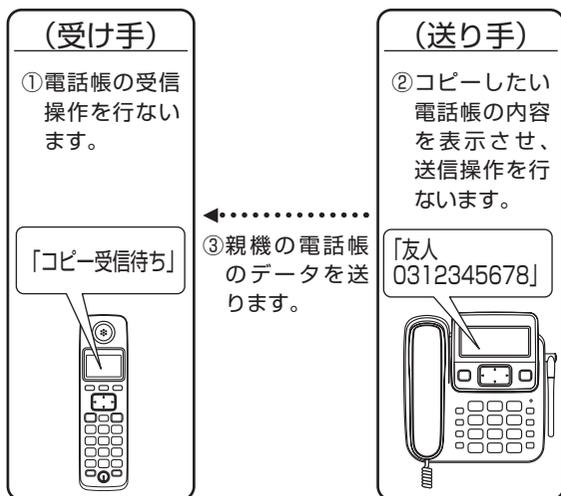
電話帳をコピーする

親機に登録した電話帳の内容を子機にコピーしたり、子機に登録した電話帳の内容を親機または他の子機にコピーすることができます。

本商品で電話帳をコピーするには、親機（または子機）と子機の両方で操作が必要です。

- コピーするときは、必ず、親機（または子機）の近くに、受け手の子機（または親機）を用意してから行なってください。
- 受け手の操作を行ってから、1分以内に送り手の操作を行なってください。

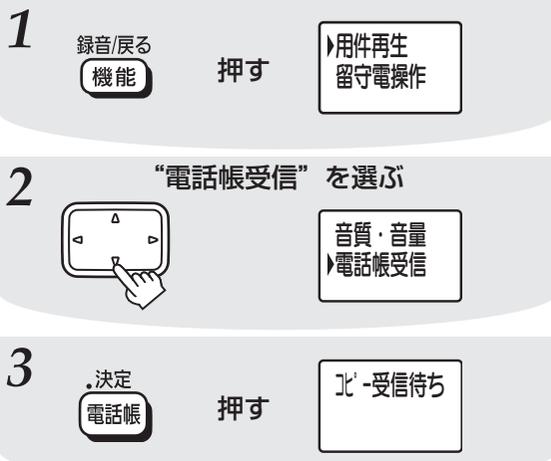
(例) 親機の電話帳を子機にコピーするとき



親機または他の子機の電話帳を

1 受け手（子機）の操作をする  (子機)

切ボタンを押してから



続けて、約1分以内に次ページ（77ページ）の送り手（親機または他の子機）の操作を行なってください。

子機にコピーするには

2 送り手（親機または他の子機）の操作をする



【親機するとき】

受話器を置いた状態で

1 コピーしたい内容を表示させる



3 “送信（一件）”を選ぶ



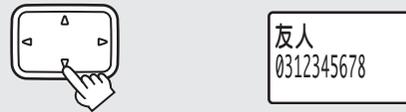
●全件送信するときは上下左右ボタンで“送信（全件）”を選びます。



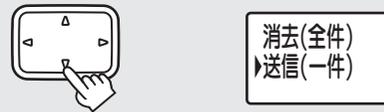
【他の子機するとき】

切ボタンを押してから

1 コピーしたい内容を表示させる



3 “送信（一件）”を選ぶ



●全件送信するときは上下左右ボタンで“送信（全件）”を選びます。



▶コピーが終了すると、受け手と送り手の完了音が鳴り、「コピー終了」と表示されます。
親機は^{停止}再生、子機は^切を押してください。

▶コピーが終了すると、受け手と送り手の完了音が鳴り、「コピー終了」と表示されます。
^切を押してください。

■全件送信するときは、手順3で“送信（全件）”を選びます。手順4の後に送信状態が件数で表示されます。（受け手の液晶画面にも、受信状態が件数で表示されます。）

（例）親機



（例）子機



コピーを途中で止めるには、親機は^{停止}再生、子機は^切を押します。

^{停止}再生 または ^切 を押したときまでの電話帳の内容が子機にコピーされ、通常状態に戻ります。

電話帳をコピーする (つづき)

子機の電話帳を親機にコピーするには

1 受け手 (親機) の操作をする (親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “電話帳受信” を選ぶ

音質・音量
電話帳受信 選ぶ

3 電話帳 / 決定 押す

⌂-受信待ち

続けて、約1分以内に送り手 (子機) の操作を行なってください。

2 送り手 (子機) の操作をする (子機)

切ボタンを押してから

1 コピーしたい内容を表示させる

友人
0312345678

2 録音/戻る
機能 押す

特番ダイヤル
修正

3 “送信 (一件)” を選ぶ

消去(全件)
送信(一件)

●全件送信するときは、上下左右ボタンで“送信 (全件)”を選びます。

4 決定
電話帳 押す

⌂-送信中

▶コピーが終了すると、受け手と送り手の完了音が鳴り、「コピー終了」と表示されます。

親機は 、子機は を押してください。

■子機で全件送信するときは、手順3で“送信 (全件)”を選びます。手順4の後に送信状態が件数で表示されます。(受け手の液晶画面にも、受信状態が件数で表示されます。)

(例)

⌂-送信中
XX/100件

コピーを途中で止めるには、 を押します。

を押したときまでの電話帳の内容が親機にコピーされ、通常状態に戻ります。

ご注意

- 受け手の電話帳に登録してある電話番号と同一の電話番号は、コピーされません。
- 受け手の電話帳の登録件数と送り手の電話帳の登録件数の合計 100 件まで、コピーできます。たとえば、すでに 70 件登録されている親機に 50 件分の子機の電話帳をコピーしようとしても、読みの順に、30 件までしかコピーできません。ただし、同一の“読み”（“読みが未入力”を含む）が複数登録されている場合、コピーされる順番は登録した順や電話番号順ではありません。
- 親機（または子機）から子機へコピーするときは、必ず、子機を十分に充電し、親機（または子機）の近くに受け手の子機を用意してから行なってください。
- コピー中に、電話がかかってきたり、内線やドアホンなどから呼出しがあると、コピーは中止されます。受け手の操作からやり直してください。また、停電、電波干渉の影響、電池残量によって、電話帳のコピーが中止される場合があります。
- 電話帳をコピーするのに必要な時間（データ処理時間）は、コピーする件数により異なります。
- 送り手 1 台、受け手 1 台の 2 台間でのみ、電話帳コピーを行なうことができます。

短縮ダイヤルを使う

よく電話をかける相手を電話帳の中から短縮ダイヤル（最大 10 件）として登録しておくと、簡単に操作することができます。

親機の短縮ダイヤルを登録するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1

短縮

押す

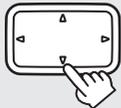
短縮1
未登録

- 何も登録されていない場合は“未登録”と表示されます。

2

短縮番号を選ぶ

(例)“短縮5”のとき



短縮5
未登録

- ダイヤルボタン（1～9、0のいずれか1つ）を押して選ぶこともできます。

3

戻る

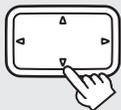
押す

機能

▶特番ダイヤル
登録/変更 選ぶ

4

“登録/変更”を選ぶ



▶特番ダイヤル
登録/変更 選ぶ

5

電話帳
/決定

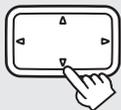
押す

親戚
0612345678

- 電話帳の最初に登録されている相手が表示されます。

6

登録したい相手を選ぶ



友人
0312345678

7

電話帳
/決定

押す

登録しました

▶完了音が鳴ったら  を押します。

♪ ワンポイント

手順5の後で、読みの頭の1文字（50音の行の先頭文字）を入力すると、電話帳を簡単に検索することができます。

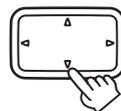
(例)“友人”を検索するとき



押す

- ダイヤルボタンに表示された文字以外の入力できません。
- 英字・記号・数字を入力することはできません。
- 頭文字が小さい「ツ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」や「ヲ」の相手を検索することはできません。

登録したい相手を選ぶ



友人
0312345678

お知らせ

- すでに登録されている短縮ダイヤルの番号を選んで、新たに登録の操作を行なうと上書きされます。(変更)
- 短縮ダイヤルに登録した電話帳の内容を修正または消去すると、短縮ダイヤルの内容も修正または解除されます。

子機の短縮ダイヤルを登録するには



(子機)

切ボタンを押してから

1

短縮

押す

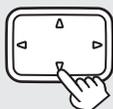
短縮1
未登録

- 何も登録されていない場合は“未登録”と表示されます。

2

短縮番号を選ぶ

(例)“短縮5”のとき

短縮5
未登録

- ダイヤルボタン(1~9、0のいずれか1つ)を押して選ぶこともできます。

3

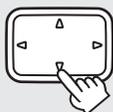
録音/戻る
機能

押す

▶特番ダイヤル
登録/変更

4

“登録/変更”を選ぶ

特番ダイヤル
▶登録/変更

5

.決定
電話帳

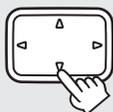
押す

親戚
0612345678

- 電話帳の最初に登録されている相手が表示されます。

6

登録したい相手を選ぶ

友人
0312345678

7

.決定
電話帳

押す

登録しました

▶完了音が鳴ったら(切)を押します。

♪ ワンポイント

手順5の後で、読み頭の1文字(50音の行の先頭文字)を入力すると、電話帳を簡単に検索することができます。

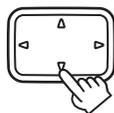
(例)“友人”を検索するとき



押す

- ダイヤルボタンに表示された文字以外の入力できません。
- 英字・記号・数字を入力することはできません。
- 頭文字が小さい「ツ」「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」や「ヲ」の相手を検索することはできません。

登録したい相手を選ぶ

友人
0312345678

お知らせ

- すでに登録されている短縮ダイヤルの番号を選んで、新たに登録の操作を行なうと上書きされます。(変更)
- 短縮ダイヤルに登録した電話帳の内容を修正または消去すると、短縮ダイヤルの内容も修正または解除されます。

短縮ダイヤルを使う (つづき)

親機の短縮ダイヤルで
電話をかけるには



(親機)

受話器を置いた状態で

1

短縮

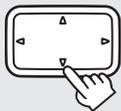
押す

短縮1
未登録

2

かけたい短縮番号を選ぶ

(例) “短縮5” のとき



短縮5
友人

●ダイヤルボタン (1～9、0のいずれか1つ) を押し
て選ぶこともできます。

手順2の後、 ▶ の順に押ししてから
「184」「186」などの番号 (特番ダイヤル) を
押し受話器をとると、電話番号の前にその番
号をつけて電話をかけることができます。
携帯通話設定機能 (36～39 ページ) をご利用
時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

3



とる

0'05 音量1
0312345678

●表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶ 通話が終わったら受話器を戻します。

受話器をとってから、 を押し、かけたい短縮
番号を押しても、電話をかけることができます。

親機の短縮ダイヤルを
解除するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1

短縮

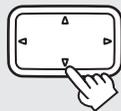
押す

短縮1
未登録

2

解除したい短縮番号を選ぶ

(例) “短縮5” のとき



短縮5
友人

●ダイヤルボタン (1～9、0のいずれか1つ) を押し
て選ぶこともできます。

3

戻る

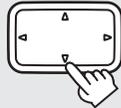
押す

▶特番ダイヤル
登録/変更

選ぶ

4

“解除” を選ぶ



登録/変更
▶解除

選ぶ

5

電話帳
/決定

押す

解除しますか?
YES=[決定]

6

電話帳
/決定

押す

解除しました

▶ 完了音が鳴ったら を押します。
■ 解除しないときは、手順5の後で を押します。

お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録した電話帳の内容を修正または消去すると、短縮ダイヤルの内容も修正または解除されます。
- かけたい相手を表示させた後、 を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 携帯通話設定機能 (36～39 ページ) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の が約5秒間点滅します。

子機の短縮ダイヤルで 電話をかけるには



(子機)

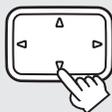
切ボタンを押してから

1

短縮 押す

短縮1
未登録

2 かけたい短縮番号を選ぶ
(例) “短縮5” のとき



短縮5
友人

●ダイヤルボタン (1～9、0のいずれか1つ) を押し
て選ぶこともできます。

手順2の後、^{録音/戻る}機能 ▶ ^{決定}電話帳 の順に押してから
「184」「186」などの番号 (特番ダイヤル) を
押して を押し、電話番号の前にその番号
をつけて電話をかけることができます。
携帯通話設定機能 (36～39ページ) をご利用
時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

3

押す (点灯)

0'05 音量1
0312345678

●表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶通話が終わったら充電器に戻します。または を
押しします。

を押してから (充電器上にあるときは充電器
からとってから)、^{短縮} を押し、かけたい短縮番
号を押しても、電話をかけることができます。

子機の短縮ダイヤルを 解除するには



(子機)

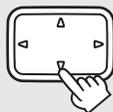
切ボタンを押してから

1

短縮 押す

短縮1
未登録

2 解除したい短縮番号を選ぶ
(例) “短縮5” のとき



短縮5
友人

●ダイヤルボタン (1～9、0のいずれか1つ) を押し
て選ぶこともできます。

3

録音/戻る
機能 押す

▶特番ダイヤル
登録/変更

4 “解除” を選ぶ

登録/変更
▶解除

5

決定
電話帳 押す

解除しますか?
YES=[決定]

6

決定
電話帳 押す

解除しました

▶完了音が鳴ったら を押しします。

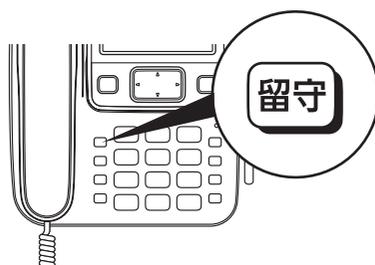
■解除しないときは、手順5の後で を押しします。

お知らせ

- 短縮ダイヤルに登録した電話帳の内容を修正または消去すると、短縮ダイヤルの内容も修正または解除されます。
- かけたい相手を表示させた後、 を押し、^{ハンズフリー} を押し、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 携帯通話設定機能 (36～39ページ) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の が約5秒間点滅します。

親機で留守番機能进行操作する

子機でも留守番機能进行操作できます。(92ページ)



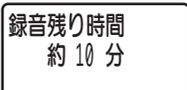
■ 固定の応答メッセージを内蔵していますので、「留守」を押すだけで留守セットできます。

固定 応 答：「ただ今、留守にしております。ピーとメッセージ 鳴りましたら、お名前とご用件をお話しください。」

自分で応答メッセージをつくる場合は、88～89ページをご覧ください。

■ 「留守」を押すと、録音残量を親機の液晶画面でお知らせします。

(例) 録音の残り時間が約 10 分のとき



● 液晶画面に「録音残り時間 残りわずかです」と表示された場合でも、録音する内容や実際の残り時間によっては、1 分以上録音できる場合があります。

● 「留守」を押したときに、録音の残り時間がないとき、または、録音されている用件が 59 件に達しているときは、下記のメッセージが流れます。

「設定できません。録音がいっぱいです。用件を消去してください。」

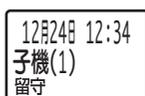
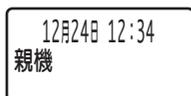
このときは不要な用件を消去してから、留守セットしてください。
(全消去 85 ページ・個別消去 86 ページ)

■ 留守セット中の液晶画面

(例) 新しい用件が録音されていないとき

(親機)

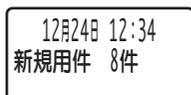
(子機)



(例) 新しい用件が 8 件録音されているとき (一度聞いた用件数は表示しません。)

(親機)

(子機)



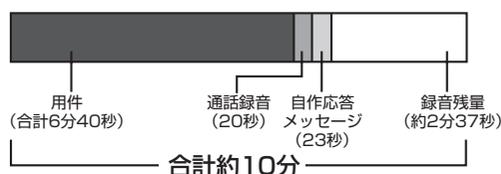
新しい用件をすべて再生すると、「新しい用件が録音されていないとき」の液晶画面にかかります。

録音できる時間は…

最大で約 10 分録音できます。

(用件／通話録音／自作応答メッセージの合計時間)

(例：イメージ図)



■ 最大で 59 件まで録音できます。

最大録音件数	59 件	約 1 秒程度の短い録音は、用件 1 件として認識されない場合があります。(通話録音を含む)
1 件あたりの最大録音時間	約 5 分	相手が電話を切るか、録音時間を約 5 分過ぎると、自動的に録音を終了します。
無音検出時間	約 8 秒	約 8 秒間、相手が何も話さなかったときや声が小さいときは、自動的に録音を終了します。

■ 用件を録音中に、録音残量がなくなると、「録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」というメッセージの後、「ピー」と鳴り、電話が自動的に切れます。応答メッセージは、自動的に応答専用メッセージにかかります。相手の用件は録音できません。用件を録音するには、録音された用件を再生し、不要な録音内容を消去してから、留守セットしてください。
(全消去 85 ページ・個別消去 86 ページ)
応答専用：「ただ今、留守にしております。メッセージ 申し訳ありませんが、これ以上録音できません。のちほどおかけ直してください。」
※ メッセージ再生後、最大約 30 秒で電話が切れます。



(親機)

親機で留守番を設定するには (留守セット)

受話器を置いた状態で

留守 押す (点灯または点滅)

- 新しい用件が録音されている状態で留守セットすると、点滅します。点灯させるには、新しい用件を一度再生してください。
 - 応答メッセージを切りかえるときは90ページの操作をしてください。
 - 親機で留守セットすると、子機の液晶画面に「留守」が表示されます。
- 留守セットしていなくても、外から電話がかかってきたときに**留守**を押すと、応答メッセージが流れ、留守番がはたります。

相手を確認してから電話にでる (居留守モニター)

留守動作中に相手の声をスピーカーで聞くことができます。
(こちらの声は、相手に聞こえません。)

親機で電話にでるときは、相手の声が聞こえている間に受話器をとるか ハンズフリー **発信** を押します。

子機で電話にでるときは、相手の声が聞こえている間に ハンズフリー または **充電器上** (充電器上にないとき) を押すか、充電器からとります。

留守動作が自動的に停止し、通話ができます。子機でも居留守モニターができます。(93ページ)

- 用件再生時、着信日時もお知らせします。留守中に録音された用件に、日付と時刻を記録 (タイムスタンプ) するには、親機の時計を合わせてください。(29ページ)

留守番を解除する／用件を聞くには (用件再生)

受話器を置いた状態で

留守 押す (消灯)

- ▶留守セットが解除され、「新しい用件は○件です。」とお知らせし、1件目から再生されます。すでに、再生した用件が残っているときは、続けて、その用件数と用件をお知らせします。
- 用件は、録音された順に再生されます。
- 親機で留守セットを解除すると、子機の液晶画面の「留守」が消灯します。
- ナンバー・ディスプレイを利用していると、用件再生中に表示された電話番号へ簡単にかけ直すことができます。(リターンダイヤル 131ページ)
- 通話録音 (140ページ) した内容も、用件と一緒に再生されます。

すべての用件を消去するには (全消去)

子機ではできません。

受話器を置いた状態で **キャッチ** **消去** 2秒以上押し続ける

..... すべての用件が消去されます。
(通話録音した内容も、消去されます。)

- 子機では、全消去できません。必ず親機で操作してください。

お知らせ

- 外出先からも用件を再生、消去することができます。(96ページ)
- 音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりすることがあります。
- 親機で留守番機能操作中に、子機で留守番機能进行操作しようとすると、子機の液晶画面に「使用中」と表示されます。
- 呼出音量 (31ページ) を「消音」に設定していなくても、夜間呼出音量 (137～139ページ) が消音に設定されていると、夜間時間帯は、呼出音やスピーカーから音が流れません。

留守番機能



留守番を解除せずに用件を聞くには



.....「新しい用件は○件です。」とお知らせし、1件目から再生されます。すでに、再生した用件が残っているときは、続けて、その用件数と用件をお知らせします。

■再生が終了すると、 は点灯します。

もう一度、一件目から聞くには



.....「一度聞いた用件は△件です。」とお知らせし、1件目の用件から再生されます。

再生中、下記の操作ができます。

いま再生中の用件を聞き直す	
1つ前の用件を聞く	(約2秒以内に続けて押す)
次の用件を聞く	
用件を1つずつ消去する(個別消去)	キャッチ
再生を止める	停止
再生を止めたとき、再び、1件目から再生する	停止

- 用件は、録音された順に再生されます。
- 用件再生時、着信日時もお知らせします。親機の時計を合わせてください。(29ページ)
- 通話録音(140ページ)した内容も、用件と一緒に再生されます。

お知らせ

- 外出先からも用件を再生、消去することができます。(96ページ)
- 音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりすることがあります。
- 親機で留守番機能操作中に、子機で留守番機能进行操作しようとする時、子機の液晶画面に「使用中」と表示されます。

消音留守セットする



(親機)

親機の呼出音を「消音」にした状態で留守セットすると、親機の呼出音やスピーカーから音を出さずに留守番録音することができます。お休みになるときなどに便利です。(子機で「消音」を設定していないと子機の呼出音は鳴ります。)

消音留守セットするには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 「親機の呼出音量を調節するには」
(31 ページ) で消音を設定する

2 **留守** 押す (点灯または点滅)

▶ 留守セットされます。

消音留守セットを解除するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 「親機の呼出音量を調節するには」
(31 ページ) で消音を解除する

2 **留守** 押す (消灯)

- ▶ 留守セットが解除され、「新しい用件は○件です。」とお知らせし、1 件目から再生されます。すでに、再生した用件が残っているときは、続けて、その用件数と用件をお知らせします。
- 用件は、録音された順に再生されます。

お知らせ

- 夜間呼出音量 (137 ~ 139 ページ) が消音以外に設定されていると、消音留守セット中でも、夜間時間帯は、呼出音やスピーカーから音が流れます。

応答メッセージをつくる(自作応答メッセージ)

自分の声で応答メッセージをつくることができます。(録音時間は最大30秒です。)

応答メッセージをつくっても、固定応答メッセージ(84ページ)で留守セットすることができます。(90ページ)

親機で応答メッセージをつくるには



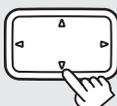
(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す ▶留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 電話帳/決定 押す ▶応答メッセージ
呼出回数 選ぶ

3 電話帳/決定 押す ▶再生
録音 選ぶ

4 “録音”を選ぶ
 再生
録音 選ぶ

5 電話帳/決定 押す 受話器を
上げてください

6  とる 録音中
終了=[決定]

「ビー」と鳴ったら

7  ハイ
○○です
ただいま
留守にして
おります..
応答メッセージを吹き込む
(最大約30秒)

録音が終わったら

8 電話帳/決定 押す 再生中

- 受話器を戻しても、終了できます。
- 録音した応答メッセージが自動的に再生されます。

- ▶再生が終わったら^{停止}再生を押します。
自動的に録音したメッセージに切りかわります。
- 録音しないときは、手順5の後で^{停止}再生を押します。

自作応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今、留守にしております。ビーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話してください。」

留守番機能

お知らせ

- 音楽などを録音すると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりすることがあります。
- 用件を録音できる時間は、自作応答メッセージの長さに応じて短くなります。(84ページ)
- 録音がいっぱいになると、手順5の後「録音がいっぱいです」と表示されます。録音残量がなくなると、応答メッセージをつくることができません。用件をすべて消去するか(85ページ)、個別消去(86ページ)してください。(用件をすべて消去した場合、通話録音した内容も消去されます。)
- 録音中に着信があると、録音が中止され、そこまでの内容が自動的に自作応答メッセージとして設定されます。録音し直してください。

子機で応答メッセージをつくるには



(子機)

切ボタンを押してから

1 録音/戻る機能 押す 用件再生 留守電操作

2 “留守電操作”を選ぶ

用件再生 留守電操作

3 決定 電話帳 押す 留守番設定 応答メッセージ

4 “応答メッセージ”を選ぶ

留守番設定 応答メッセージ

5 決定 電話帳 押す 再生 録音

6 “録音”を選ぶ

再生 録音

7 決定 電話帳 押す 録音しますか? YES=[決定]

8 決定 電話帳 押す 録音中 終了=[決定]

「ピー」と鳴ったら

9 ハイ ○○です。ただいま留守にしております... 応答メッセージを吹き込む (最大約30秒)

録音が終わったら

10 決定 電話帳 押す 再生中

●録音した応答メッセージが自動的に再生されます。

- ▶再生が終わったら [切] を押します。自動的に録音したメッセージに切りかわります。
- 録音しないときは、手順7の後で [切] を押します。

自作応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたら、お名前とご用件をお話してください。」

お知らせ

- 音楽などを録音すると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりすることがあります。
- 用件を録音できる時間は、自作応答メッセージの長さに応じて短くなります。(84ページ)
- 録音がいっぱいになると、手順7の後「録音がいっぱいです」と表示されます。録音残量がなくなると、応答メッセージをつくることができません。用件をすべて消去するか(85ページ)、個別消去(86ページ)してください。(用件をすべて消去した場合、通話録音した内容も、消去されます。)
- 録音中に着信があると、録音が中止され、そこまでの内容が自動的に自作応答メッセージとして設定されます。録音し直してください。
- 手順9の後に、子機を充電器に戻しても、録音は終了できません。録音を終了するときは、電話帳/決定ボタンを押してください。

応答メッセージを切りかえる

「固定応答メッセージ」、「自作応答メッセージ」のどちらかに切りかえることができます。お買い上げ時は「固定メッセージ」に設定されています。固定応答メッセージが設定されているときに、応答メッセージをつくると（88～89ページ）、自動的に自作応答メッセージに切りかわります。

親機で応答メッセージを切りかえるには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る機能 押す

▶留守電操作 音質・音量 選ぶ

2 電話帳/決定 押す

▶応答メッセージ 呼出回数 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

▶再生 録音 選ぶ

4 “切替” を選ぶ

録音 ▶切替 選ぶ

5 電話帳/決定 押す

▶固定メッセージ 自作メッセージ 選ぶ

●現在の設定が表示されます。

6 “自作メッセージ” を選ぶ
(例) “自作メッセージ” のとき

固定メッセージ ▶自作メッセージ 選ぶ

▶ 電話帳/決定 を押し、完了音が鳴ったら 停止/再生 を押します。

子機で応答メッセージを切りかえるには



(子機)

切ボタンを押してから

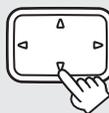
1 「子機で応答メッセージをつくるには」 (89ページ) の手順1～2を行なう

用件再生 ▶留守電操作

2 決定 電話帳 押す

▶留守番設定 応答メッセージ

3 “応答メッセージ” を選ぶ

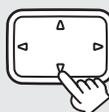


留守番設定 ▶応答メッセージ

4 決定 電話帳 押す

▶再生 録音

5 “切替” を選ぶ



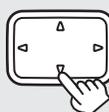
録音 ▶切替

6 決定 電話帳 押す

▶固定メッセージ 自作メッセージ

●現在の設定が表示されます。

7 “自作メッセージ” を選ぶ
(例) “自作メッセージ” のとき



固定メッセージ ▶自作メッセージ

▶ 決定 電話帳 を押し、完了音が鳴ったら 切 を押します。

■ 応答メッセージを選んだだけでは、留守セットされません。必ず留守セットしてください。(85、92ページ)

お知らせ

- 自作応答メッセージがつかられていないと、親機は手順6、子機は手順7で「自作メッセージ」を選んでも、設定できません。
- 応答メッセージが「自作メッセージ」に設定されているときに、親機は手順3、子機は手順4の後で電話帳/決定ボタンを押すと、録音した自作応答メッセージが流れ、内容を確認することができます。

自作応答メッセージを消去する

親機で自作応答メッセージ
を消去するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す
留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 電話帳
/決定 押す
応答メッセージ
呼出回数 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す
再生
録音 選ぶ

4 “消去” を選ぶ
切替
消去 選ぶ

5 電話帳
/決定 押す
消去しますか?
YES=[決定]

- ▶ を押し、完了音が鳴ったら を押します。
- 消去しないときは、手順5の後で を押します。

子機で自作応答メッセージ
を消去するには



(子機)

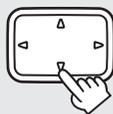
切ボタンを押してから

1 「子機で応答メッセージをつくるには」
(89ページ) の手順1～2を行なう

用件再生
留守電操作

2 .決定
電話帳 押す
留守番設定
応答メッセージ

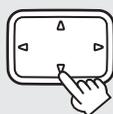
3 “応答メッセージ” を選ぶ



留守番設定
応答メッセージ

4 .決定
電話帳 押す
再生
録音

5 “消去” を選ぶ



切替
消去

6 .決定
電話帳 押す
消去しますか?
YES=[決定]

- ▶ を押し、完了音が鳴ったら を押します。
- 消去しないときは、手順6の後で を押します。

留守番機能

お知らせ

- 自作応答メッセージを消去すると、自動的に固定応答メッセージに切りかわります。
- 固定応答メッセージ (84ページ) および応答専用メッセージ (84ページ) は消去することができません。

子機で留守番機能进行操作する

留守セット（留守解除）するには

切ボタンを押してから

1 「子機で応答メッセージをつくるには」
(89ページ)の手順1～2を行なう

用件再生
留守電操作

2

決定
電話帳

押す

留守番設定
応答メッセージ

3

決定
電話帳

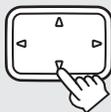
押す

留守番設定
OFF

●現在の設定が表示されます。

4

“ON”を選ぶ



留守番設定
ON

5

決定
電話帳

押す

留守セット
しました

●応答メッセージを切りかえるときは、90ページの操作をしてください。

- ▶「留守を設定しました。」とお知らせし、手順2の画面に戻ります。
- 解除するときは、手順4で“OFF”を選びます。
- 不要な録音内容を消去してから留守セットしてください。(個別消去 93ページ、全消去 85ページ)録音の残り時間が無くなると、自動的に応答専用メッセージ(84ページ)に切りかわり、相手の用件は録音できません。
- 子機で留守セットすると、親機の留守も点灯または点滅します。また、子機で留守番を解除すると、親機の留守も消灯します。

用件を聞くには（用件再生）

切ボタンを押してから

1

録音/戻る
機能

押す

用件再生
留守電操作

2

決定
電話帳

押す

2:再生

3

(例)“新しい用件”のとき

決定
電話帳

押す

再生中
新しい用件

●液晶画面の2行目には、「新しい用件」または「一度聞いた用件」と表示されます。

- ▶「新しい用件は○件です。」とお知らせし、1件目から再生されます。すでに、再生した用件が残っているときは、続けて、その用件数と用件をお知らせします。
- 用件は、録音された順に再生されます。
- 手順3で(再生)を押しても、再生することができます。
- 「再生が終わりました。」と聞こえたときに(切)を押すと、すぐに通常状態に戻ります。(切)を押さない場合は、約1分後に通常状態に戻ります。
- 用件再生時、着信日時をお知らせします。親機の時計を合わせてください。(29ページ)
- 新しく録音された用件だけを再生するときは、「新しい用件の再生が終わりました。」と聞こえた後(切)を押してください。
- 通話録音(140ページ)した内容も、用件と一緒に再生されます。
- ナンバー・ディスプレイを利用していると、用件再生中に表示された電話番号へ簡単にかけ直すことができます。(リターンダイヤル 131ページ)

お知らせ

- 外出先からも用件を再生、消去することができます。(96ページ)
- 音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりすることがあります。
- 用件再生中に(再生)を押すと、レシーバーで聞くことができます。
- 子機で留守番機能操作中に、親機で留守番機能进行操作しようとすると、親機の液晶画面に「使用中」と表示されます。



(子機)

応答するまでの 呼出回数をかえる



(親機)

留守セットされているとき、応答メッセージが流れるまでの呼出回数を「トールセーバ」「2回」「5回」「8回」「11回」のいずれかにかえることができます。お買い上げ時は、トールセーバに設定されています。(トールセーバ機能 96 ページ)

相手を確認してから電話にでる (居留守モニター)

留守動作中(液晶画面に「留守着信中」表示)に、を押すと(液晶画面に表示)、相手の声をスピーカーで聞くことができます。(こちらの声は、相手に聞こえません。)

子機は同時に2台までモニターできます。また、充電器上にあるときにを押してもモニターすることができます。

電話にでるときは、相手の声が聞こえている間にまたは (充電器上にないとき)を押すか、充電器からとります。

留守動作が自動的に停止し、通話ができます。

子機で用件の再生中、下記の操作ができます。

いま再生中の用件を聞き直す	
1つ前の用件を聞く	 (約2秒以内に続けて押す)
次の用件を聞く	
用件を1つずつ消去する(個別消去)	キャッチ 消去
再生を止める (再び、再生するときは92ページの「用件を聞くには(用件再生)」の操作をしてください。)	切

■用件再生中、を押しても再生を止めることができます。このときは、通常状態に戻らず、92ページの「用件を聞くには(用件再生)」の手順2の画面に戻ります。

呼出回数をかえるには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る機能 押す

留守電操作 音質・音量 選ぶ

2 電話帳/決定 押す

応答メッセージ 呼出回数 選ぶ

3 “呼出回数”を選ぶ

応答メッセージ 呼出回数 選ぶ

4 電話帳/決定 押す

呼出回数 トールセーバ

●現在の設定が表示されます。

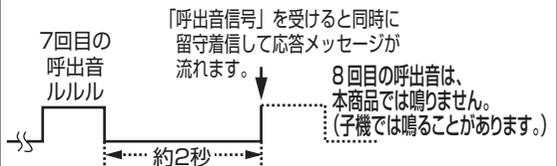
5 呼出回数を選ぶ
(例)“8回”のとき

呼出回数 8回

●トールセーバ ⇄ 2回 ⇄ 5回 ⇄ 8回 ⇄ 11回 と切りかわります。

▶ を押し、完了音が鳴ったら を押します。

■呼出回数と本商品の動作について (例)手順5で「8回」を選んだとき



お知らせ

●電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本商品の呼出回数が一致しないことがあります。

留守番機能

暗証番号を登録する

暗証番号を登録すると、外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。(リモコン操作 96 ページ)

暗証番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 電話帳
/決定 押す

応答メッセージ
呼出回数 選ぶ

3 “暗証番号” を選ぶ

呼出回数
暗証番号 選ぶ

4 電話帳
/決定 押す

暗証番号?
_ _ _

- すでに登録されているときは、* * *と表示されます。修正するときは、もう一度、電話帳/決定ボタンを押してください。(95 ページ)
- 登録された暗証番号を確認することはできません。

5 暗証番号を入力する (3桁)

(例) “123” のとき

(例) 1 あ 2 か ABC 3 さ DEF

暗証番号?
123

- 入力し直すには、キヤッチ 消去 を押します。

6 電話帳
/決定 押す

暗証番号
123

▶完了音が鳴ったら 停止 再生 を押します。

■暗証番号を登録すると、留守を解除している状態でも、約 15 回呼出音が鳴ると応答専用メッセージで応答することができます。(通話料金がかかります。)

このとき、応答専用メッセージは聞こえますが、暗証番号を押してリモコン操作をすると、用件の確認や留守セット操作などを行なうこともできます。(外出先から留守セットする 98 ページ)



(親機)

暗証番号を修正するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 電話帳
/決定 押す

応答メッセージ
呼出回数 選ぶ

3 “暗証番号”を選ぶ

呼出回数
暗証番号 選ぶ

4 電話帳
/決定 押す

暗証番号

5 電話帳
/決定 押す

暗証番号?
|_

6 暗証番号を入力する (3桁)
(例) “456” のとき

暗証番号?
456

4 た GHI 5 な JKL 6 は MNO

●入力し直すには、
キャッチ
消去 を押します。

7 電話帳
/決定 押す

暗証番号
456

▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。

暗証番号を消去するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 電話帳
/決定 押す

応答メッセージ
呼出回数 選ぶ

3 “暗証番号”を選ぶ

呼出回数
暗証番号 選ぶ

4 電話帳
/決定 押す

暗証番号

5 キャッチ
消去 押す

消去しますか?
YES=[決定]

6 電話帳
/決定 押す

消去しました

- ▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。
- 消去しないときは、手順5の後で ^{停止}再生 を押します。

留守番機能

外出先から用件を聞く(リモコン操作)

外出先から自宅に電話をかけて、留守番電話に録音されている用件を聞くことができます。必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。さらに、用件再生時、着信した日時もお知らせします。親機の時計を合わせてください。(29ページ)

外出先から用件を聞くには

■あらかじめ、留守セット(85ページ)し、暗証番号を登録(94ページ)してください。

1



自宅に電話をかける

応答メッセージが聞こえたら

2

暗証番号を押す

(例) 暗証番号を“123”にしたとき



●約30秒以内に、入力間隔を約8秒以上あけずに入力してください。

3



新しい用件が1件目から再生される

●用件は、録音された順に再生されます。
●再生が終わると「再生が終わりました」と聞こえます。

終わるときは

4



電話を切る

外出先から新しい用件の有無を確認する(トールセーバ機能)

応答するまでの呼出回数(93ページ)を「トールセーバ」に設定すると、外出先から留守セットされた自宅に電話をかけたときに、呼出回数によって、新しい用件の有無を確認することができます。

■3回目の呼出音でつながったとき

……新しい用件が録音されています。
(新しい用件が残っていると、3回目の呼出音でつながります。暗証番号を入力すると、用件が1件目から再生されます。)

■3回目の呼出音でつながらなかったとき

……新しい用件は録音されていません。
(4回目の呼出音が聞こえてすぐに電話を切ると、通話料金がかかりません。このとき、電話を切らないと6回目で留守応答が始まります。)

●どちらの場合も、電話につながったら料金がかかります。

●電話回線の状態により、外出先で聞こえる呼出音と本商品の呼出回数が一致しないことがあります。

再生中、下記の操作ができます。

いま再生中の用件を聞き直す	①
1つ前の用件を聞く	① ▶ ① (約2秒以内に約1秒間隔で続けて押す)
再生を止める(リモコン待ち状態に移る)	②
次の用件を聞く	③
現在再生中の用件を消す(個別消去)	# ▶ ④

■ その他のリモコン操作については、リモコン操作の応用をご覧ください。(97ページ)

お知らせ

- (#) 暗証番号を押しても、用件が再生されないときは、再度、手順2を行なってください。
- 暗証番号の入力間隔を約8秒以上あけると、電話が切れます。
- リモコン操作で用件を聞いても、留守セットは解除されません。
- 録音がいっぱいになると、自動的に応答専用メッセージになります。(84ページ) 録音された用件が必要ないときは、個別消去するか、手順3で「再生が終わりました。録音がいっぱいです。これ以上録音できません。」と聞こえたら (#) を押してから (X) を押して用件をすべて消去してください。
- 音楽などが録音されていると、雑音が入ったり、音質が悪くなったりすることがあります。
- 個別消去の操作をしたときに消去できない場合は、もう一度 (4) を押すか、 (#) を押してから (4) を押す操作を素早く行なってください。1つ前の用件を聞きたいときに、同じ用件が繰り返し再生される場合は、もう一度 (1) を素早く2回押してください。

リモコン操作の応用

外出先から用件を聞いた後、約 20 秒間のリモコン待ち状態になります。そのときに下記の操作ができます。

外出先から用件を全部聞くと 「再生が終わりました。」と聞こえます（リモコン待ち状態）

用件のはじめから
聞き直したり
個別消去する

1

② 押す

用件が 1 件目から再生されます。

- 用件は、録音された順に再生されます。
- 途中で再生を止めた用件があるときは、その次の用件から再生を始めます。
- 再生中に必要のない用件だけを消去できます。（個別消去 96 ページ）

「再生が終わりました」と音声でお知らせします。

留守番を
設定／解除する

1

押す

2

⑥ 押す

「留守を設定しました」または「留守を解除しました」と音声でお知らせします。

用件をすべて
消去する

1

押す

2

✖ 押す

「用件を消去しました」と音声でお知らせし、用件がすべて消去されます。

リモコン待ち状態になります。
(約 20 秒たつと、自動的に電話が切れます。)



電話を切る

留守番機能

お知らせ

- 録音がいっぱいになると、自動的に応答専用メッセージになります。（84 ページ）録音された用件が必要ないときは、用件をすべて消去するか、用件再生中に個別消去（96 ページ）してください。
- リモコン待ち状態では # 暗証番号を押しても用件再生はできません。
- 留守番を設定／解除したり、用件をすべて消去する操作をしたときにうまくできない場合、留守番を設定／解除するときは、もう一度 ⑥ を押すか、# を押してから ⑥ を押す操作を素早く行なってください。用件をすべて消去するときは、もう一度 ✖ を押すか、# を押してから ✖ を押す操作を素早く行なってください。

外出先から留守セットする

留守セットし忘れたときなどに、暗証番号を使って外出先から留守セットできます。必ず、プッシュホンまたはプッシュ信号に切りかえられる電話機で行なってください。

外出先から留守セットするには

- 留守番が解除されている状態で、操作してください。
- あらかじめ、暗証番号を登録してください。(94 ページ)

1



自宅に電話をかけ呼出音を約 15 回鳴らす

「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」と聞こえたら

2



暗証番号を押す

(例) 暗証番号を“123”にしたとき



1

2

3

用件があるとき

3



用件が 1 件目から再生される

- 再生が終わると「再生が終わりました。」と聞こえます。
- 用件再生を止めたいときは、②を押してください。

用件がないとき

3

「用件は録音されていません」と聞こえる

リモコン待ち状態になったら

4



押す

- 留守セットされます。

5



電話を切る

お知らせ

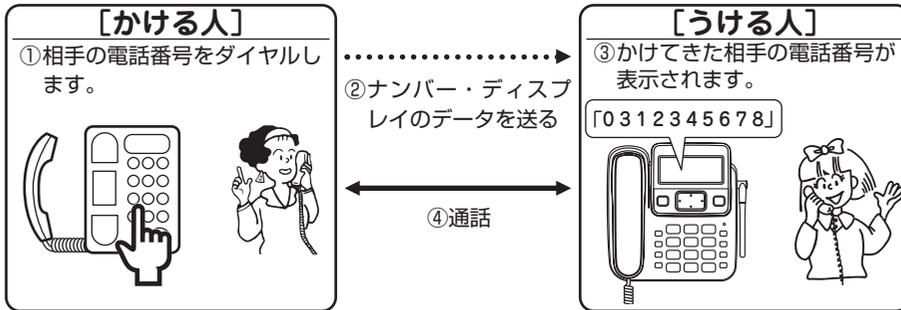
- 暗証番号が登録されていないと、手順 1 の操作をしてもメッセージは流れず、外出先から留守セットできません。
- 手順 4 の後に「設定できません。録音がいっぱいです。用件を消去してください。」と聞こえたときは、すでに録音がいっぱいです。留守セットできません。録音された用件が必要ないときは、(＃)を押してから、(✕)を押して用件をすべて消去するか、用件再生中に個別消去(96 ページ)し、再度、手順 4 を行なってください。

当社のナンバー・ディスプレイにご契約され、親機で設定をすると、相手の電話番号を親機や子機で確認してから、電話にでることができます。

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。(100ページ)

ナンバー・ディスプレイとは

かけてきた人の電話番号を受ける人の電話機等に表示するサービスです。(有料)
くわしくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



さらにこの電話機では

ナンバー・ディスプレイを利用すると、下記の機能をお使いいただけます。

- 電話にでる前に、かけてきた相手の電話番号を液晶画面に表示します。(101ページ)
- 電話帳に登録した相手(62～63ページ)から、電話がかかってくると、電話帳に登録されている名前と電話番号を表示します。
- かけてきた相手の電話番号と日時を確認できます。さらに、その番号へ簡単にかけ直すことができます。(着信履歴を確認する/かけ直す 108～109ページ)
- 不在中に電話があったことをお知らせします。(不在着信表示 110ページ)
- 着信履歴を利用して、相手の電話番号を電話帳に登録することができます。(着信履歴から電話帳に登録する 112～113ページ)
- 電話帳に登録した相手からの電話を鳴り分けることができます。(鳴り分け 116～117ページ)
- 親機の電話帳に登録した相手からの電話だけ、呼出音を鳴らすことができます。(限定着信 118～119ページ)
- 受けたくない相手の電話番号を登録しておくと、その番号からの電話には、設定した応答方法で応答します。(特定番号ガード 120～123ページ)
- 公衆電話からかけてきた相手に、設定した応答方法で応答します。(公衆電話ガード 124～125ページ)
- 電話番号を通知しないでかけてきた相手に、設定した応答方法で応答します。(非通知ガード 126～127ページ)
- 表示圏外からかけてきた相手に、設定した応答方法で応答します。(表示圏外ガード 128～129ページ)
- ガード機能を設定していなくても、ガードボタンを使ってその着信に限りガード機能をはたらかせることができます。(ガードボタンを使う 130ページ)
- 留守録音した相手の電話番号が通知されているときは、その番号を記録し、用件再生中に液晶画面で表示します。(ナンバースタンプ)
さらに、用件再生中、その人へ簡単に電話をかけ直すこともできます。(リターンダイヤル 131ページ)

ナンバー・ディスプレイを利用する (つづき)

1 ナンバー・ディスプレイにご契約する

※ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です。
(月額使用料と工事費用が別途必要です。)

2 ナンバー・ディスプレイを設定する (右側の操作)

手順4の選択項目	内容
ON	ナンバー・ディスプレイおよびネーム・ディスプレイが設定されます。(キャッチホン・ディスプレイは、解除されています。)
ON (キャッチD有)	ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが設定されます。(106ページ)
OFF	ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが解除されます。

お申し込みは

局番なしの **116**

受付時間：午前9時～午後9時 (年末年始は休業)
(2007年8月現在)

ナンバー・
ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを 設定／解除する



■お買い上げ時は「ON」(設定)に設定されています。
子機ではできません。

受話器を置いた状態で

- 1 戻る
機能 押す
留守電操作
音質・音量 選ぶ
D
- 2 “ナンバーD設定” を選ぶ
電話回線
▶ナンバーD設定 選ぶ
D
- 3 電話帳
/決定 押す ナンバーD設定
⇄ON D
●現在の設定が表示されます。
- 4 “ON” を選ぶ
電話帳
/決定 押す ナンバーD設定
⇄ON D
- 5 電話帳
/決定 押す 電話回線
▶ナンバーD設定 選ぶ
D

▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。液晶画面に **D** が表示されます。

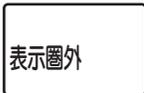
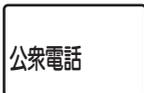
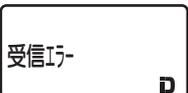
■解除するときは、手順4で“OFF”を選びます。**D** が消灯します。

電話がかかってくると、電話をかけてきた相手によって液晶画面には、下記の様に表示されます。

●ナンバー・ディスプレイをご利用になると、相手の電話番号が表示されます。

	親機	子機
外から電話がかかってくると・・・ ●相手の電話番号が表示されます。		
電話帳に登録している相手から電話がかかってくると・・・ ●電話帳に登録されている名前と電話番号が表示されます。		
電話にでると・・・ ●相手の電話番号と通話時間が表示されます。		

●電話番号が表示されないときは・・・

	親機	子機
かけてきた相手の方が電話番号を表示しない操作をしたとき、または、表示しない契約になっているとき ●相手の方が「通常非通知（回線ごと非通知）」契約のとき ●「184」をつけてかけてきたとき ●携帯電話やPHSで番号通知設定を「OFF」にしているとき		
相手の方がナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかけている、または、ご契約されている電話会社、サービスの契約条件などにより、電話番号を通知できないとき ●国際電話などのとき		
公衆電話からかけてきたとき ●公衆電話からでも「184」をつけてダイヤルしたときは「非通知」と表示されます。		
一時的な回線の雑音などにより、ナンバー・ディスプレイのデータを正しく受信できなかったとき（故障ではありません。）		

ナンバー・ディスプレイ

ご注意

- ファクスや他の通信機器に接続したとき、ホームテレホンや構内交換機 (PBX) の内線電話機としてお使いになるときなどは、ナンバー・ディスプレイをご使用になれない場合があります。
 - ISDN 回線をご使用のときは、INS ナンバー・ディスプレイ契約とナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートをもった TA (ターミナルアダプタ) が必要です。くわしくは TA のメーカーにお問い合わせください。
 - CES (事業所集団電話) 接続時、CES 内線からの着信にはナンバー・ディスプレイは提供されません。
 - 本商品と並列に、他の電話機を接続しないでください。かけてきた相手の電話番号が正しく表示されないことがあります。
 - 停電時、ナンバー・ディスプレイを利用した機能は、利用できません。
 - ナンバー・ディスプレイ対応のアダプタはお使いにならないでください。本商品だけでナンバー・ディスプレイをご利用になれます。
 - ナンバー・ディスプレイの設定操作を行っても、契約をしないと電話番号は表示されません。必ず、ナンバー・ディスプレイの契約をしてから、設定操作を行ってください。
 - ナンバー・ディスプレイに契約された回線は必ず本商品で設定操作を行ってください。設定しないと正常に電話を受けることができません。ナンバー・ディスプレイをご利用にならない場合、「OFF」(解除) に変更してください。(100 ページ)
 - 親機は、19 桁以上の電話番号からかかってくると、液晶画面を切りかえて表示します。子機は、15 桁以上の電話番号からかかってくると、液晶画面を切りかえて表示します。
 - 電話帳に登録されている相手から電話がかかってくると、電話帳に登録されている名前と電話番号が表示されます。電話番号の照合方法は、電話番号が 4 桁以上の場合、4 桁以上の電話番号を選び、下の桁から番号を比較し、かかってきた電話番号と、電話帳に登録されている電話番号のどちらか桁数が少ない位まで一致したものを表示します。3 桁以下の場合、完全に数字が一致している場合のみ、液晶画面に電話帳の名前と電話番号を表示します。鳴り分け (116 ~ 117 ページ) や限定着信 (118 ~ 119 ページ) も、同様の照合方法ではたらかまず。ただし、特定番号ガード (120 ~ 123 ページ) の場合は、照合方法が異なります。特定番号ガードでは、桁数に関係なく、かかってきた電話番号と特定番号ガードに登録した電話番号の数字が、完全に一致 (全桁一致) したときのみ、機能がはたらかまず。
 - ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示 (101 ページ)、着信履歴 (108 ~ 109 ページ)、鳴り分け (116 ~ 117 ページ) などを正しく動作させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を (別の名前や名前の有無などで) 複数登録しないでください。
 - 停電中にかかってきた電話に出たときに、「ジャー」という音が聞こえることがあります。この場合は、いったん電話を切り、再度、呼出音が鳴ったら電話に出てください。
 - 着信の途中で相手が電話を切り、約 5 秒以内に電話がかかってくると (ガードしたい相手を含む)、ナンバー・ディスプレイ機能が正常にはたらかず、電話にでてもすぐに切れる場合があります。(この場合は、すぐに電話を切ってください。)
- 設定されている呼出音が鳴り、液晶画面に「着信」と表示され、呼出音が正常に鳴った後、相手の電話番号が正しく表示されてから電話にでてください。(ガード機能や限定着信は正常にはたらかまず。)

(2007 年 8 月現在)

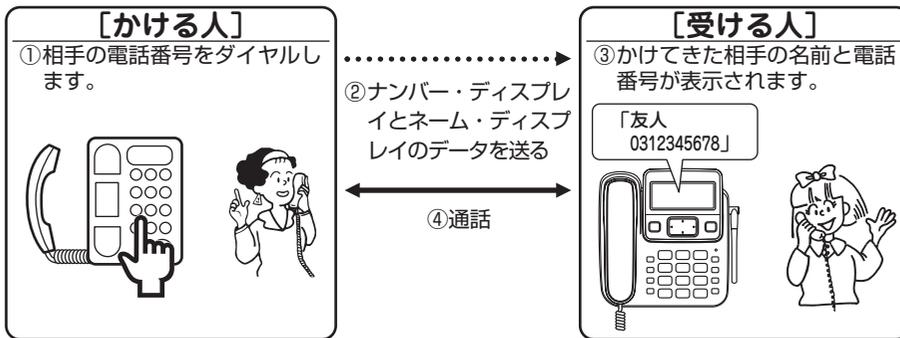
当社のナンバー・ディスプレイの他に、ネーム・ディスプレイにご契約され、親機でナンバー・ディスプレイの設定（100ページ）を行なうと、電話帳に登録されていない相手の方から電話がかかってきた場合でも、親機や子機の液晶画面に、かけてきた相手の電話番号と名前、会社名（発信者名）が表示されます。

ネーム・ディスプレイとは

相手の方が電話番号や名前、会社名など（発信者名）を通知してかけてきた場合、電話にでる前に、かけてきた方の電話番号や名前、会社名など（発信者名）を受け取る人の電話機などに表示する（最大全角10文字）、「ナンバー・ディスプレイ」のオプションサービスです。

ナンバー・ディスプレイのサービスに加えて、月額使用料が別途必要です。

くわしくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



さらにこの電話機では

ネーム・ディスプレイを利用すると、下記の機能をお使いいただけます。

- 電話帳に登録していない人から、電話がかかってきても、相手の名前と電話番号と日時を着信履歴に記録し、後で確認することができます。（着信履歴を確認する／かけ直す 108～109ページ）
- 着信履歴を利用して、相手の名前と電話番号を電話帳に登録することができます。（着信履歴から電話帳に登録する 112～113ページ）

ナンバー・ディスプレイ

ご注意

- ISDN 回線をご使用のときは、INS ナンバー・ディスプレイとネーム・ディスプレイの契約とナンバー・ディスプレイならびにネーム・ディスプレイにも対応しているアナログポートをもった TA（ターミナルアダプタ）が必要です。くわしくは TA のメーカーにお問い合わせください。
- 停電時、ネーム・ディスプレイは、利用できません。
- 電話帳に登録している相手から電話がかかってくると、相手の方が電話番号と名前、会社名（発信者名）を通知して電話をかけてきても、通知された内容より電話帳の登録内容が優先して表示されます。ただし、電話帳に名前が登録されていない場合、通知された発信者名が表示されます。親機は全角 9 文字、子機は、全角 7 文字を超える名前の相手からかかってきたときは、液晶画面を切りかえて表示します。
- 親機は、19 桁以上の電話番号からかかってくると、液晶画面を切りかえて表示します。子機は、15 桁以上の電話番号からかかってくると、液晶画面を切りかえて表示します。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示（101 ページ）、着信履歴（108～109 ページ）、鳴り分け（116～117 ページ）などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を（別の名前や名前の有無などで）複数登録しないでください。
- 発信者名は、発信者名の通知を希望したお客さまが、発信電話番号を通知して電話をかける場合にのみ通知されます。発信電話番号の通知状態が、「通常非通知」の回線から通常のダイヤル手順で電話をかける場合や、184 をつけて電話をかける場合は、発信者名も発信電話番号も通知されません。
- 電話機に表示される「かけてきた人の名前や会社名」は、かけてきた人または会社（発信者）が当社との契約時に登録したものです。
- 第 1 水準、第 2 水準以外の表示できないデータを受信した場合は、「※」と液晶画面に表示されます。

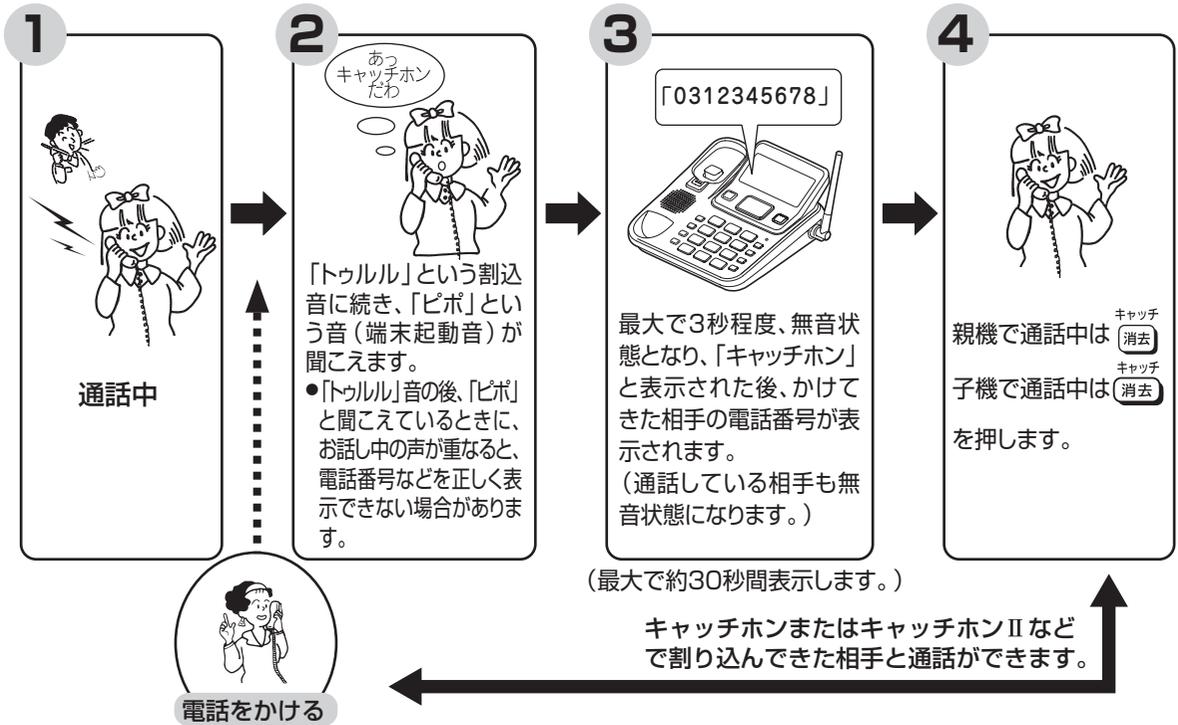
（2007 年 8 月現在）

当社のナンバー・ディスプレイの他に、キャッチホン・ディスプレイとキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどのサービスにご契約され、親機で設定をすると、通話中にかけてきた別の相手の電話番号を親機や子機の液晶画面で確認してから、キャッチボタンで切りかえることができます。

キャッチホン・ディスプレイとは

通話中にキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどで、割り込んでかけてきた相手の電話番号を、受ける人の電話機などに表示する「ナンバー・ディスプレイ」のオプションサービスです。

ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどのサービスに加えて、月額使用料が必要です。くわしくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。



さらにこの電話機では

キャッチホン・ディスプレイを利用すると、下記の機能をお使いいただけます。

- 電話帳に登録している相手から、電話番号を通知して電話がかかってくると、電話帳に登録している名前と電話番号が表示されます。
なお、ネーム・ディスプレイをご利用の場合に、相手の方が電話番号と名前、会社名（発信者名）を通知して電話をかけてきても、通知された内容より電話帳の登録内容が優先して表示されます。ただし、電話帳に名前を登録していないときは、通知された発信者名が表示されます。（電話帳に登録する 62～63 ページ）
- キャッチホンまたはキャッチホンⅡなどで割り込んできた相手の電話番号を、通話中の親機または子機の着信履歴に記録します。この場合は、日時の後に「*」が表示されます。（着信履歴を確認する／かけ直す 108～109 ページ）
- 着信履歴を利用して、相手の電話番号を電話帳に登録することができます。（着信履歴から電話帳に登録する 112～113 ページ）
- キャッチホンまたはキャッチホンⅡなどで割り込んできた相手が非通知、表示圏外、公衆電話のときは、それぞれ「非通知」「表示圏外」「公衆電話」と表示されます。（101 ページ）

キャッチホン・ディスプレイを利用する (つづき)

1 次の①～③のそれぞれにご契約する

- ①ナンバー・ディスプレイ
- ②キャッチホン・ディスプレイ
- ③キャッチホンまたはキャッチホンⅡ など

■ナンバー・ディスプレイのご契約に加えてキャッチホン・ディスプレイとキャッチホンまたはキャッチホンⅡなどのご契約が必要です。(月額使用料と工事費用が別途必要です。)



2 キャッチホン・ディスプレイを設定する (右側の操作)

手順4の選択項目	内容
ON	ナンバー・ディスプレイおよびネーム・ディスプレイが設定されます。(キャッチホン・ディスプレイは、解除されています。)(100ページ)
ON (キャッチD有)	ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが設定されます。
OFF	ナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイが解除されます。

お申し込みは

局番なしの **116**

受付時間：午前9時～午後9時 (年末年始は休業)
(2007年8月現在)

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン・ディスプレイを設定/解除する



(親機)

■お買い上げ時はナンバー・ディスプレイ「ON」(設定)に設定されています。子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ
D

2 “ナンバーD設定”を選ぶ

電話回線
▶ナンバーD設定 選ぶ
D

3 電話帳/決定 押す

ナンバーD設定
⇄ON
D

●現在の設定が表示されます。

4 “ON (キャッチD有)”を選ぶ

ナンバーD設定
⇄ON(キャッチD有)
D

5 電話帳/決定 押す

電話回線
▶ナンバーD設定 選ぶ
D

▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。液晶画面に **D** が表示されます。

■解除するときは、手順4で“OFF”を選びます。**D** が消灯します。(ナンバー・ディスプレイも解除されます。)

ご注意

- ファクスや他の通信機器に接続したとき、ホームテレホンや構内交換機（PBX）の内線電話機としてお使いになるときなどは、ナンバー・ディスプレイおよびキャッチホン・ディスプレイはお使いになれない場合があります。
- ISDN回線をご使用のときは、INSナンバー・ディスプレイ契約とナンバー・ディスプレイならびにキャッチホン・ディスプレイにも対応しているアナログポートをもったTA（ターミナルアダプタ）が必要です。
- キャッチホンⅡやマジックボックスで割り込み音の回数を「0」に設定すると、キャッチホン・ディスプレイは動作しませんのでご注意ください。くわしくは、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- 大きな声で通話しているときや、本商品が局の交換機から遠い場所に設置されているときは、電話番号（または電話帳に登録した名前）が表示されない場合があります。
- 通話中にかけてきた別の相手に、本商品の鳴り分け、公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガード、限定着信機能はいずれもはたしません。
- 親機は、19桁以上の電話番号からかかってくると、液晶画面を切りかえて表示します。子機は15桁以上の電話番号からかかってくると、液晶画面を切りかえて表示します。
- 通話中にかけてきた相手の電話番号などは、約30秒間表示されます。表示中にキャッチボタンを押すと、通話時間の表示となります。
- キャッチボタンを押した後、後からかけてきた相手につながるまで多少時間がかかることがあります。
- CES（事業所集団電話）接続時、CES内線からの着信にはキャッチホン・ディスプレイは提供されません。
- 必ず、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイ、キャッチホンまたはキャッチホンⅡなどにそれぞれ契約してから、設定操作を行なってください。
設定をしないと、キャッチホン・ディスプレイは正常にはたしません。また、設定操作を行っても、キャッチホン・ディスプレイの契約をしていないと、相手の電話番号は表示されません。キャッチホン・ディスプレイをご利用にならない場合、「ON」（設定）または「OFF」（解除）に変更してください。（106ページ）
- 停電通話中にキャッチホンが入ると「ピポッ・ジャー」という音がしますが、電話番号などの表示はしません。
- ダイヤル中、保留中、留守応答中、リモコン操作中、非通知ガード・公衆電話ガード・表示圏外ガード・特定番号ガード・限定着信動作中に、かかってきた電話番号は表示されません。また、着信履歴にも記録されません。
- 特定番号として登録した受けたくない相手からの着信でも、特定番号ガードははたらかず、そのまま電話番号が表示されます。切りかえる場合は、ご注意ください。（この場合、着信メモリにも電話番号しか記録されません。）
- 留守録音中および通話録音中にキャッチホンが入ると、キャッチホンの信号音（「ピポッ・ジャー」または「ピポッ」）という音が録音されます。
- 通話中にキャッチホンの信号音と同等の音声があると、通話が途切れる場合があります。
- キャッチホン着信時には、約1秒程度通話が途切れます。また、従来の着信表示音に加えて「ピポッ」といった割込音が入ります。この割込音と通話中の声が重なりますと、電話番号などの表示ができないことがあります。

（2007年8月現在）

着信履歴を確認する／かけ直す

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。(100ページ)
親機や子機の時計を合わせると、かけてきた相手の電話番号と着信日時を自動的に、親機・子機別々に最大30件(1件につき最大20桁まで)記録し(着信履歴)、確認することができます。さらに、その番号へ簡単にかけ直すことができます。

親機の着信履歴を確認して かけ直すには



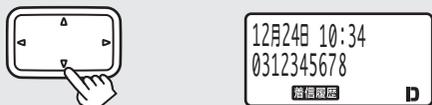
(親機)

受話器を置いた状態で



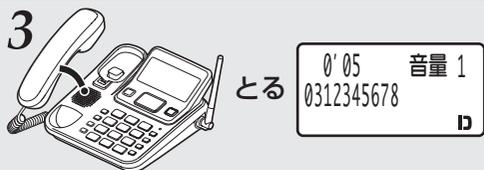
- 最後に着信した番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。
- 読上げダイヤル(142ページ)がはたらきます。

2 着信履歴を確認する



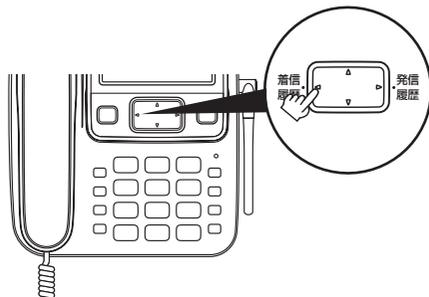
- 確認が終わるときは、**停止再生**を押します。
- 電話帳に登録している相手のときは、**＃**を押すと電話番号が表示されます。

かけ直したい番号が表示されたら



- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶通話が終わったら、受話器を戻します。



手順2の後、**戻る機能** ▶ **電話帳決定**の順に押してから「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)を押して受話器をとると、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。携帯通話設定機能(36～39ページ)をご利用時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

ナンバー・ディスプレイ

お知らせ

- 着信履歴は、親機と子機の両方に記録されます。
- 着信履歴が30件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 手順2で上下左右ボタンの下を押すと、押すたびに、最後に着信した番号の1つ前から順にさかのぼって表示されます。
- かけたい電話番号を表示させた後、**ハンズフリー**を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 携帯通話設定機能(36～39ページ)を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の**電池**が約5秒間点滅します。

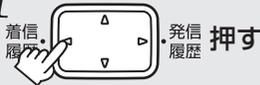
子機の着信履歴を確認して かけ直すには



(子機)

切ボタンを押してから

1

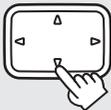


12月24日 12:34
0612345678
着

- 最後に着信した番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2

着信履歴を確認する



12月24日 10:34
0312345678
着

- 確認が終わるときは、**[切]**を押します。
- 電話帳に登録している相手のときは、**[#]**を押すと電話番号が表示されます。

かけ直したい番号が表示されたら

3

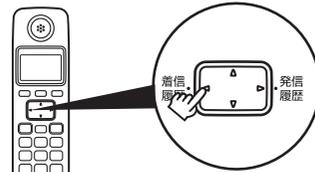


押す
(点灯)

0'05 音量 1
0312345678

- 表示された電話番号に自動的にダイヤルします。

▶通話が終わったら、充電器に戻します。または**[切]**を押します。



手順2の後、**[戻る]**の順に押してから「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)を押して**[☎]**を押すと、電話番号の前にその番号をつけて電話をかけることができます。携帯通話設定機能(36～39ページ)をご利用時も特番ダイヤルをご利用いただけます。

ナンバー
ディスプレイ

お知らせ

- 着信履歴は、親機と子機の両方に記録されます。
- 着信履歴が30件を超えると、古いものから順に消去され、新しい電話番号が記録されます。
- 手順2で上下左右ボタンの下を押すと、押すたびに、最後に着信した番号の1つ前から順にさかのぼって表示されます。
- かけたい電話番号を表示させた後、**[☎]**を押すと、表示されている電話番号に自動的に電話をかけ、ハンズフリーで通話することができます。
- 携帯通話設定機能(36～39ページ)を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の**[☎]**が約5秒間点滅します。
- 子機が充電器上にあるときに**[☎]**を押しても、機能ははたきません。

着信履歴を確認する／かけ直す（つづき）

不在着信表示とは

- 次の場合は、親機の液晶画面に **着信履歴** が表示されます。（不在着信表示）
 - ・ 親機や子機で電話に出られなかった場合
 - ・ 留守番で応答した場合
 - ・ ガード機能で応答した場合
 - ・ 限定着信で応答した場合
 - ・ 外出先から留守セットした場合ただし、その着信に限り留守番や迷惑ガードボタンを使って応答したときは、**着信履歴** は表示されません。
- 不在着信表示（**着信履歴**）は、親機で着信履歴を確認するか、操作をすると消えます。
- 子機には、不在着信表示の機能がありません。

着信履歴に関するご注意

- 電話帳に登録している相手のときは、着信履歴に、名前も記録されます。名前を登録していないときは、電話番号のみ記録されます。なお、ネーム・ディスプレイをご利用の場合でも、電話帳に名前を登録していると、登録内容が優先して記録されます。(特定番号で着信した場合には、電話帳の登録内容は優先されません。)
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- キャッチホン・ディスプレイをご利用になっていると、後からかけてきた相手の電話番号を通話中の親機または子機の着信履歴に記録します。この場合は、日時の後に「※」が表示されます。
- 公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガードを設定中、「公衆電話」「非通知」「表示圏外」から電話があると着信履歴に記録されます。なお、これらの着信情報にかけ直すことはできません。かけ直すと「ビビビ」と鳴って通常状態に戻ります。
- 特定番号ガードや限定着信設定中、「特定番号」や「限定着信外」(電話帳に登録されていない相手)から電話があると着信履歴に「■特定ガード■」「■限定着信外■」と記録されます。このとき(☎) (親機)や(☎) (子機)を押すと電話番号が表示されます。(ネーム・ディスプレイをご利用中のときは、発信者名を確認できます。なお、このとき表示される名前は、電話帳の登録内容ではなく、ネーム・ディスプレイで送られてきたデータです。)

着信履歴から電話帳に登録する

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。(100ページ)
親機や子機の着信履歴に記録されている電話番号を電話帳に登録することができます。

着信履歴から親機の 電話帳に登録するには



受話器を置いた状態で

1 着信履歴を押す

●最後に着信した番号が表示されます。
●19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 登録したい電話番号を表示させる



3 戻る機能を押す

4 “電話帳登録”を選ぶ



5 電話帳/決定を押す

6 ダイヤルボタンで名前を入力する (64～67ページ) (最大 全角 10文字/半角 20文字)

(例) “友人” のとき



- 名前を入力しないときは、手順7に移ってください。
- ネーム・ディスプレイ(103～104ページ)をご利用の場合、かけてきた相手の名前や電話番号は、手順6以後の登録操作内で、あらかじめ入力されています。ただし、「読み」は入力されていません。新たに入力してください。

7 電話帳/決定を押す

8 読みを修正する(64～67ページ) (最大 12文字)

(例) “ユウジン” に修正したとき



- 読みを修正しないときは、手順9に移ってください。

9 電話帳/決定を押す

10 電話帳/決定を押す

お知らせ

- 電話帳は、名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。
- スペースも1文字として数えます。名前に全角10文字/半角20文字(濁点、半濁点を含む)をすべて使用するときは、スペースを入力せずに名前を入力してください。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- 電話番号が通知されない着信情報(公衆電話、非通知、表示圏外、受信エラー)は、電話帳に登録することはできません。
- 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)と組み合わせて、20桁以上の電話番号をかけるときは、まず、電話帳に20桁以内の電話番号を登録し、そのあと、特番ダイヤル(70～71ページ)と組み合わせて電話をかけてください。

着信履歴から子機の 電話帳に登録するには



切ボタンを押してから

1 着信履歴 押す

- 最後に着信した番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 登録したい電話番号を表示させる

3 録音/戻る 機能 押す

4 “電話帳登録” を選ぶ

5 決定 電話帳 押す

6 ダイヤルボタンで名前を入力する
(64～67ページ)
(最大 全角10文字/半角20文字)
(例) “友人” のとき

- 名前を入力しないときは、手順7に移ってください。
- ネーム・ディスプレイ(103～104ページ)をご利用の場合、かけてきた相手の名前や電話番号は、手順6以後の登録操作内で、あらかじめ入力されています。ただし、「読み」は入力されていません。新たに入力してください。

7 決定 電話帳 押す

8 読みを修正する (64～67ページ)
(最大12文字)
(例) “ユウジン” に修正したとき

- 読みを修正しないときは、手順9に移ってください。

9 決定 電話帳 押す

10 決定 電話帳 押す

お知らせ

- 電話帳は、名前や読みを入力せずに、電話番号だけでも登録することができます。
- スペースも1文字として数えます。名前に全角10文字/半角20文字(濁点、半濁点を含む)をすべて使用するときは、スペースを入力せずに名前を入力してください。
- ナンバー・ディスプレイご利用時、着信時の電話帳表示(101ページ)、着信履歴(108～109ページ)、鳴り分け(116～117ページ)などを正しく作動させるために、以下の点にご注意ください。
 - 1) 電話帳に登録する電話番号は、同一市内でも必ず市外局番から入力してください。
 - 2) 電話帳に登録するときは、同一の電話番号を(別の名前や名前の有無などで)複数登録しないでください。
- 電話番号が通知されない着信情報(公衆電話、非通知、表示圏外、受信エラー)は、電話帳に登録することはできません。
- 「184」「186」などの番号(特番ダイヤル)と組み合わせて、20桁以上の電話番号をかけるときは、まず、電話帳に20桁以内の電話番号を登録し、そのあと、特番ダイヤル(70～71ページ)と組み合わせて電話をかけてください。

ナンバー・ディスプレイ

着信履歴を消去する

親機の着信履歴を1件ずつ消去するには（一件消去）



(親機)

受話器を置いた状態で



- 最後に着信した番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 消去したい電話番号を表示させる



3 戻る機能を押す

4 “消去（一件）”を選ぶ

5 電話帳/決定を押す

6 電話帳/決定を押す

- ▶完了音が鳴ったら^{停止}再生を押します。
- 消去しないときは、手順5の後で^{停止}再生を押します。

親機の着信履歴をすべて消去するには（全件消去）



(親機)

受話器を置いた状態で



- 最後に着信した番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 戻る機能を押す

3 “消去（全件）”を選ぶ

4 電話帳/決定を押す

5 電話帳/決定を押す

- 消去しないときは、手順4の後で^{停止}再生を押します。

ナンバーディスプレイ

子機の着信履歴を1件ずつ 消去するには（一件消去）



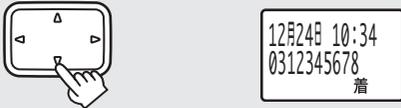
(子機)

切ボタンを押してから



- 最後に着信した番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 消去したい電話番号を表示させる



- ▶完了音が鳴ったら **切** を押します。
- 消去しないときは、手順5の後で **切** を押します。

子機の着信履歴をすべて 消去するには（全件消去）



(子機)

切ボタンを押してから



- 最後に着信した番号が表示されます。
- 15桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。



- 消去しないときは、手順4の後で **切** を押します。

鳴り分けを使う

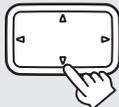
ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。(100ページ)
 電話帳に登録した相手からの電話を「電話番号ごとに」設定した呼出音で鳴り分けることができます。(鳴り分け) 鳴り分けの呼出音は10種類の中から選んで設定することができます。
 鳴り分けを設定していない相手からの電話は通常の呼出音で鳴ります。(33ページ)

親機の電話帳で鳴り分けを設定するには



受話器を置いた状態で

1 鳴り分けを設定したい相手を表示させる



友人
0312345678

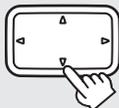
2 戻る

機能

押す

▶特番ダイヤル
修正 選ぶ

3 “鳴り分け”を選ぶ



送信(全件)
▶鳴り分け 選ぶ

4 電話帳/決定

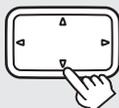
電話帳/決定

押す

鳴り分け
◀OFF 選ぶ

●鳴り分けが設定されているときは、現在設定されている呼出音が鳴ります。

5 鳴り分けの呼出音を選ぶ



- 選ぶたびに呼出音が鳴ります。(最大約1分)
- お知らせするときの音量は呼出音量と連動します。

鳴り分けの呼出音の種類 (10種類)

OFF		
ベル1	単音	
ベル2		
効果音1	3和音	
効果音2		
効果音3		
効果音4	2和音	
森のくまさん	3和音	
ユーモレスク		
華麗なる大円舞曲		
ラデツキー行進曲		



呼出音の再生順

※鳴り分けしないときは「OFF」を選びます。
 その場合、通常の呼出音(33ページ)で鳴ります。

- ▶ を押し、完了音が鳴ったら を押します。
- 解除するときには、手順5で“OFF”を選びます。

お知らせ

●夜間時間帯に上記操作を行なうと、手順4、5でお知らせする音量は、夜間呼出音量と連動します。(138ページ)

子機の電話帳で鳴り分けを設定するには



(子機)

切ボタンを押してから

1 鳴り分けを設定したい相手を表示させる



友人
0312345678

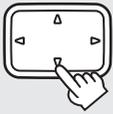
2 録音/戻る機能を押す

録音/戻る
機能

押す

▶特番ダイヤル
修正

3 “鳴り分け”を選ぶ



送信(全件)
▶鳴り分け

4 決定電話帳を押す

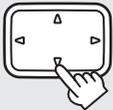
決定
電話帳

押す

鳴り分け
OFF

●鳴り分けが設定されているときは、現在設定されている呼出音が鳴ります。

5 鳴り分けの呼出音を選ぶ



- 選ぶたびに呼出音が鳴ります。(最大約1分)
- お知らせするときの音量は呼出音量と連動します。

▶決定電話帳を押し、完了音が鳴ったら切を押します。

■解除するときには、手順5で“OFF”を選びます。

鳴り分けの呼出音の種類 (10種類)

OFF	
ベル1	単音
ベル2	
効果音1	3和音
効果音2	
効果音3	
効果音4	2和音
森のくまさん	3和音
ユーモレスク	
華麗なる大円舞曲	
ラデツキー行進曲	



※鳴り分けしないときは「OFF」を選びます。
その場合、通常の呼出音 (33ページ) で鳴ります。

ナンバー・ディスプレイ

お知らせ

●夜間時間帯に上記操作を行なうと、手順4、5以降でお知らせする音量は、夜間呼出音量と連動します。(138ページ)

親機の電話帳登録者だけ呼出音を鳴らす（限定着信）

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。（100ページ）

親機の電話帳に登録した相手からの電話だけ、呼出音を鳴らすことができます。電話帳に登録されていない相手からの電話をガードします。

登録していない相手の電話には、選択した応答方法（119ページ）で応答します。（親機も子機も呼出音は鳴りません。）（かけてきた相手に通話料金がかかります。）お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

限定着信を設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 **迷惑ガード** を押す
非通知ガード 選ぶ
公衆ガード

2 “限定着信” を選ぶ
特定ガード 選ぶ
限定着信

3 **電話帳/決定** を押す
設定 応答方法 選ぶ

4 **電話帳/決定** を押す
設定 OFF

5 “ON” を選ぶ

“ON（タイマーあり）”
→約9時間で自動的に設定を解除する
ON（タイマーあり）

“ON（タイマーなし）”
→解除操作をするまで設定されている
ON（タイマーなし）

“OFF”
→解除する
OFF

6 **電話帳/決定** を押す
設定 応答方法 選ぶ
限定着信

（迷惑ガードランプ点灯）
●設定すると 限定着信 が表示されます。

▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。

■解除するときは、手順5で“OFF”を選びます。
 限定着信 が消灯します。

限定着信を設定するときは、あらかじめ、よく利用される電話番号を、親機の電話帳に登録してください。（62ページ）

お知らせ

- 限定着信設定中は、緊急の用件でも親機の電話帳に登録されていない相手からの電話は、呼出音が鳴りませんので、登録する番号にはご注意ください。
- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 限定着信で応答した直後に電話をかけると、応答した相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 限定着信は、約9時間で自動的に解除される【タイマーあり】の場合と、解除されない【タイマーなし】のどちらかを選べます。
- 限定着信が設定されていても、特定番号ガード、公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガードを設定することができます。この場合、電話帳に登録していない相手からかかってきた電話には、限定着信よりも設定してある各ガード機能が優先されます。
- 電話帳に1件も登録されていないときは、限定着信を設定することができません。
- 電話帳の内容をすべて消去すると、限定着信は解除されます。
- 限定着信で応答中は、親機の液晶画面の 限定着信 と親機の ^{送受} が点滅します。
- 限定着信動作中に、かかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）は、ガードできません。また、動作直後に、電話番号が表示されずにガードしたい相手から通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。
- 「限定着信」が設定されていても、外からの相手と通話中にかかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）には、「限定着信」ははたらきません。なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になっていると、ガードしたい相手でも、電話番号は表示されますので、通話を切りかえて応答するかどうか、ご注意ください。

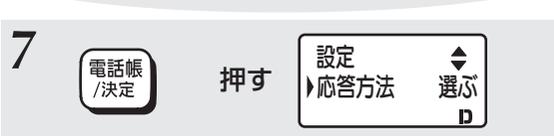
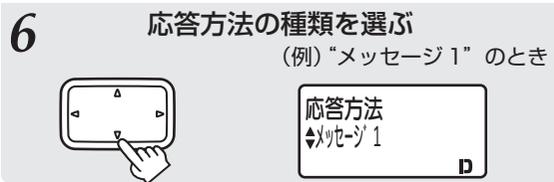
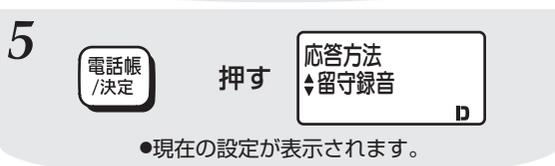
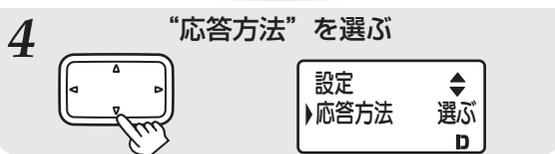
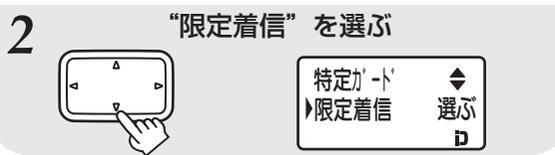


登録していない相手からかかってきたときの応答方法を「メッセージ1」「メッセージ2」「留守録音」の3種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「留守録音」に設定されています。

限定着信の応答方法を選ぶには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



- ▶完了音が鳴ったら^{停止}再生を押します。
- 設定されている応答方法を確認するには、手順1～5を行なってください。終わるときは、^{停止}再生を押してください。
- 応答方法を選んだだけでは、限定着信は設定されません。必ず限定着信の設定を行なってください。(118ページ)

●限定着信の応答方法の種類一覧 (3種類)

	応答方法の内容
メッセージ1	「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
メッセージ2	「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
留守録音	留守番がはたらきます。(84ページ) ※録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージで応答します。

特定番号からの電話をガードする（特定番号ガード）

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。（100ページ）

電話を直接受けたくない相手の電話番号を特定番号として登録しておく、その番号からの電話には、選択した応答方法（122ページ）で応答します。（親機も子機も呼出音は鳴りません。）（かけてきた相手に通話料金がかかります。）特定番号は、親機と子機兼用で最大30件まで登録できます。

特定番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 **迷惑ガード** を押す

非通知ガード
公衆ガード

2 “特定ガード” を選ぶ

圏外ガード
特定ガード

3 **電話帳/決定** を押す

登録確認

4 **電話帳/決定** を押す

電話番号?

5 市外局番から電話番号を入力する（最大20桁）

（例）“0312345678” のとき

電話番号?
0312345678

●入力し直すには **キャッチ** を押します。

6 **電話帳/決定** を押す

登録しました

（迷惑ガードランプ点灯）

●登録すると、**特定** が表示されます。

▶完了音が鳴ったら **停止** を押します。

公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードの機能のうちいずれか1つが設定されていると、親機の液晶画面に **特定** が表示され、設定した機能名が右側に表示されます。また、迷惑ガードランプも点灯します。

お知らせ

- 特定番号ガード設定中は、緊急の用件でも特定番号からの電話は、呼出音は鳴りませんので、登録する番号にはご注意ください。
- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 特定番号ガードで応答した直後に電話をかけると、応答した相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 特定番号ガードの設定・解除の操作はありません。特定番号ガードを解除したいときは、登録されている特定番号を1件ずつすべて消去してください。（123ページ）
- 電話帳に登録した電話番号と同じ番号を特定番号に登録すると、特定番号ガードが優先され、その番号からの呼出音が鳴りません。（限定着信（118ページ）を設定したときを含む）
- 特定番号の登録件数が30件を超えると、登録できなくなります。不要になった特定番号を消去してください。（123ページ）
- 特定番号ガードで応答中は、親機の液晶画面の **特定** と親機の **迷惑** が点滅します。
- 特定番号ガード動作中に、かかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）は、ガードできません。また、動作直後に、電話番号が表示されずにガードしたい相手から通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。
- 特定番号が登録されていても、外からの相手と通話中にかかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）には、「特定番号ガード」ははたらきません。なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になっていると、ガードしたい相手でも、電話番号は表示されますので、通話を切りかえて応答するかどうかご注意ください。



着信履歴を利用して特定番号を登録するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



- 最後に着信した番号が表示されます。
- 19桁以上の電話番号は液晶画面を切りかえて表示します。

2 登録したい電話番号を表示させる



お知らせ

- 特定番号ガードの設定・解除の操作はありません。特定番号ガードを解除したいときは、登録されている特定番号を1件ずつすべて消去してください。(123ページ)
- 電話帳に登録した電話番号と同じ番号を、特定番号に登録すると、限定着信(118ページ)を設定したときに、その番号からの呼出音が鳴りません。特定番号ガードが優先されます。
- 電話番号が通知されない着信情報(公衆電話、非通知、表示圏外、受信エラー)は、特定番号に登録することはできません。

特定番号からの電話をガードする（特定番号ガード）（つづき）

特定番号ガードの応答方法を「メッセージ1」「メッセージ2」「留守録音」の3種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「メッセージ1」に設定されています。

特定番号ガードの応答方法を選ぶには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 迷惑ガード 押す

非通知ガード
公衆ガード 選ぶ

2 “特定ガード” を選ぶ

圏外ガード
特定ガード 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

登録確認 選ぶ

4 “応答方法” を選ぶ

確認
応答方法 選ぶ

5 電話帳/決定 押す

応答方法
メッセージ1 選ぶ

●現在の設定が表示されます。

6 応答方法の種類を選ぶ
(例) “留守録音” のとき

応答方法
留守録音 選ぶ

7 電話帳/決定 押す

確認
応答方法 選ぶ

- ▶完了音が鳴ったら^{停止}再生を押します。
- 設定されている応答方法を確認するには、手順1～5を行なってください。終わるときは、^{停止}再生を押してください。
- 応答方法を選んだだけでは、特定番号ガードは設定されません。必ず特定番号の登録を行なってください。(120～121ページ)

●特定番号ガードの応答方法の種類一覧（3種類）

	応答方法の内容
メッセージ1	「申し訳ありませんが、こちらの都合により電話をおつなぎすることができません。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
メッセージ2	「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
留守録音	留守番がはたらきます。(84ページ) ※録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージで応答します。

お知らせ ●登録した特定番号ごとに、応答方法を設定することはできません。



特定番号を確認するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

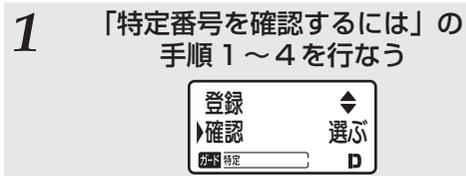


▶ 終わるときは ^{停止}再生 を押します。

特定番号を1件ずつ消去するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



▶ 完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。

■ 特定番号をすべて消去すると、^{故障}特定 が消灯します。

ナンバー！
ディスプレイ

お知らせ

- 特定番号は、一度にすべて消去することはできません。

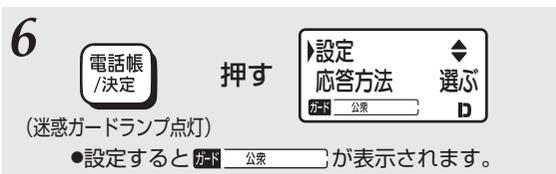
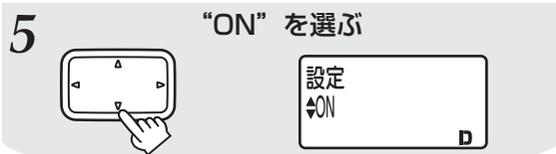
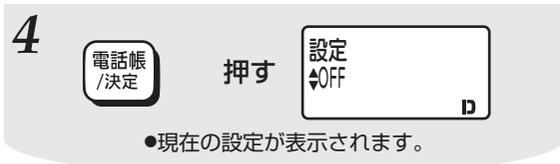
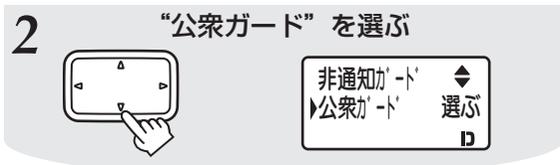
公衆電話からの電話をガードする（公衆電話ガード）

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。（100ページ）
公衆電話からかけてきた相手に、選択した応答方法（125ページ）で応答します。（親機も子機も呼出音は鳴りません。）（かけてきた相手に通話料金がかかります。）お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

公衆電話ガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



- ▶完了音が鳴ったら を押します。
- 解除するときは、手順5で“OFF”を選びます。
 が消灯します。

公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードの機能のうちいずれか1つが設定されていると、親機の液晶画面に が表示され、設定した機能名が右側に表示されます。また、迷惑ガードランプも点灯します。

お知らせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 公衆電話ガードで応答した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 公衆電話ガードで応答中は、親機の液晶画面の公衆と親機の が点滅します。
- 公衆電話ガード動作中に、かかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）は、ガードできません。また、動作直後に、電話番号が表示されずにガードしたい相手から通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。
- 「公衆電話ガード」が設定されていても、外からの相手と通話中にかかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）には、「公衆電話ガード」ははたらきません。なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になっていると、「公衆電話」と表示されません。

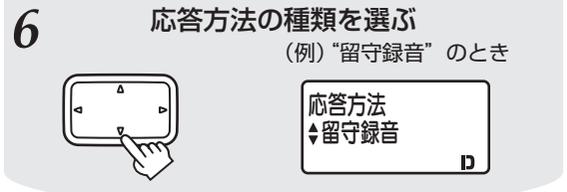
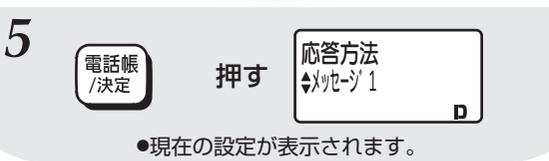
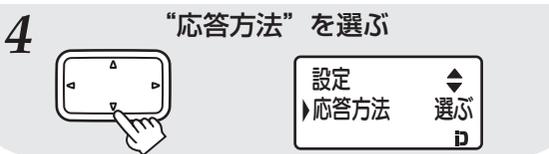
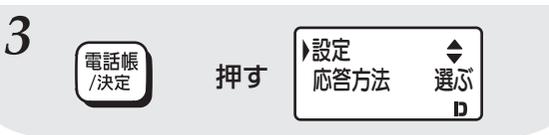
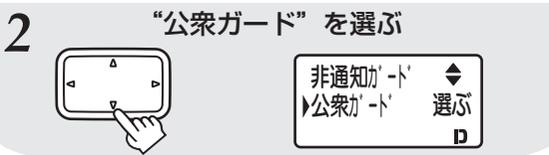


公衆電話ガードの応答方法を「メッセージ1」「メッセージ2」「留守録音」の3種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「メッセージ1」に設定されています。

公衆電話ガードの応答方法を選ぶには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



- ▶完了音が鳴ったら^{停止}再生を押します。
- 設定されている応答方法を確認するには、手順1～5を行なってください。終わるときは、^{停止}再生を押してください。
- 応答方法を選んだだけでは、公衆電話ガードは設定されません。必ず公衆電話ガードの設定を行なってください。(124ページ)

●公衆電話ガードの応答方法の種類一覧（3種類）

	応答方法の内容
メッセージ1	「恐れ入りますが、番号を通知できる電話からおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
メッセージ2	「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
留守録音	留守番がはたらきます。(84ページ) ※録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージで応答します。

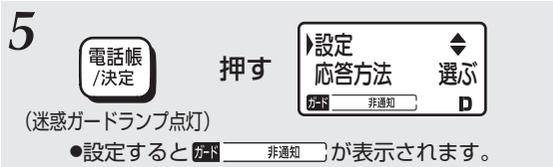
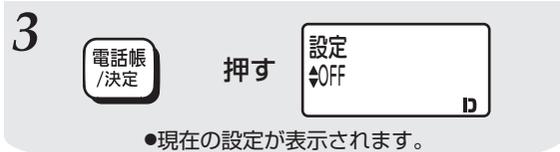
電話番号を通知してこない電話をガードする（非通知ガード）

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。（100ページ）
電話をかけてきた相手が電話番号を通知してこない「非通知」のときは、選択した応答方法（127ページ）で応答します。（親機も子機も呼出音は鳴りません。）
（かけてきた相手に通話料金がかかります。）相手が電話番号を通知してかけてきたときは、呼出音が鳴ります。
お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

非通知ガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



- ▶完了音が鳴ったら^{停止}再生を押します。
- 解除するときは、手順4で“OFF”を選びます。
「非通知」が消灯します。

公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードの機能のうちいずれか1つが設定されていると、親機の液晶画面に「非通知」が表示され、設定した機能名が右側に表示されます。また、迷惑ガードランプも点灯します。

お知らせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 非通知ガードで応答した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 当社の「ナンバー・リクエスト」サービスのご契約は、必要ありません。
- 非通知ガードで応答中は、親機の液晶画面の「非通知」と親機の「非通知」ランプが点滅します。
- 非通知ガード動作中に、かかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）は、ガードできません。また、動作直後に、電話番号が表示されずにガードしたい相手から通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。
- 「非通知ガード」が設定されていても、外からの相手と通話中にかかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）には、「非通知ガード」ははたらきません。
なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になっていると、「非通知」と表示されます。



非通知ガードの応答方法を「メッセージ1」「メッセージ2」「留守録音」の3種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「メッセージ1」に設定されています。

非通知ガードの応答方法を選ぶには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 迷惑ガード 押す

非通知ガード
公衆ガード 選ぶ

2 電話帳/決定 押す

設定
応答方法 選ぶ

3 “応答方法”を選ぶ

設定
応答方法 選ぶ

4 電話帳/決定 押す

応答方法
メッセージ1 選ぶ

●現在の設定が表示されます。

5 応答方法の種類を選ぶ
(例)“留守録音”のとき

応答方法
留守録音 選ぶ

6 電話帳/決定 押す

設定
応答方法 選ぶ

- ▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。
- 設定されている応答方法を確認するには、手順1～4を行なってください。終わるときは、^{停止}再生 を押してください。
- 応答方法を選んだだけでは、非通知ガードは設定されません。必ず非通知ガードの設定を行なってください。(126ページ)

●非通知ガードの応答方法の種類一覧 (3種類)

	応答方法の内容
メッセージ1	「恐れ入りますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするか、番号を通知できる電話からおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
メッセージ2	「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
留守録音	留守番がはたらきます。(84ページ) ※録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージで応答します。

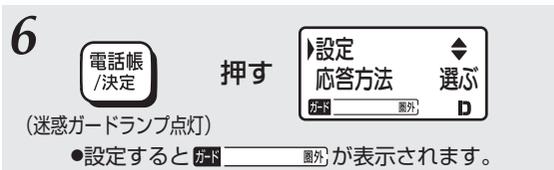
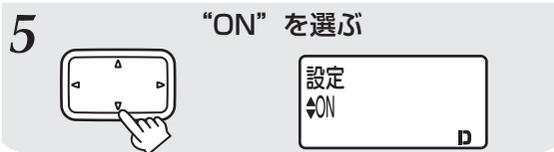
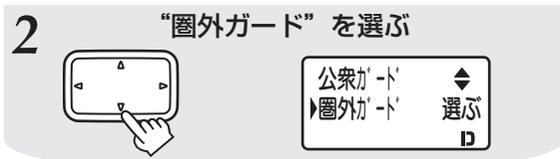
表示圏外からの電話をガードする（表示圏外ガード）

ナンバー・ディスプレイにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。（100ページ）
表示圏外からかけてきた相手（国際電話など）に、選択した応答方法（129ページ）で応答します。（親機も子機も呼出音は鳴りません。）（かけてきた相手に通話料金がかかります。）
お買い上げ時は「OFF」（解除）に設定されています。

表示圏外ガードを設定するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



- ▶完了音が鳴ったら ^{停止}再生 を押します。
- 解除するときは、手順5で“OFF”を選びます。
圏外が消灯します。

公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードの機能のうちいずれか1つが設定されていると、親機の液晶画面に 圏外 が表示され、設定した機能名が右側に表示されます。また、迷惑ガードランプも点灯します。

お知らせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金がかかります。
- 表示圏外ガードで応答した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 表示圏外ガードで応答中は、親機の液晶画面の圏外と親機の ^{迷惑} が点滅します。
- 表示圏外ガード動作中に、かかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）は、ガードできません。また、動作直後に、電話番号が表示されずにガードしたい相手から通常の呼出音で電話がかかってくる場合があります。
- 「表示圏外ガード」が設定されていても、外からの相手と通話中にかかってきたガードしたい相手からの電話（キャッチホン）には、「表示圏外ガード」ははたらきません。
なお、キャッチホン・ディスプレイをご利用になっていると、「表示圏外」と表示されます。



表示圏外ガードの応答方法を「メッセージ1」「メッセージ2」「留守録音」の3種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「メッセージ1」に設定されています。

表示圏外ガードの応答方法を選ぶには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 押す

非通知ガード
公衆ガード 選ぶ

2 “圏外ガード” を選ぶ

公衆ガード
圏外ガード 選ぶ

3 押す

設定
応答方法 選ぶ

4 “応答方法” を選ぶ

設定
応答方法 選ぶ

5 押す

応答方法
メッセージ1 選ぶ

●現在の設定が表示されます。

6 応答方法の種類を選ぶ
(例) “留守録音” のとき

応答方法
留守録音 選ぶ

7 押す

設定
応答方法 選ぶ

- ▶完了音が鳴ったら を押します。
- 設定されている応答方法を確認するには、手順1～5を行なってください。終わるときは、 を押してください。
- 応答方法を選んだだけでは、表示圏外ガードは設定されません。必ず表示圏外ガードの設定を行なってください。(128ページ)

●表示圏外ガードの応答方法の種類一覧（3種類）

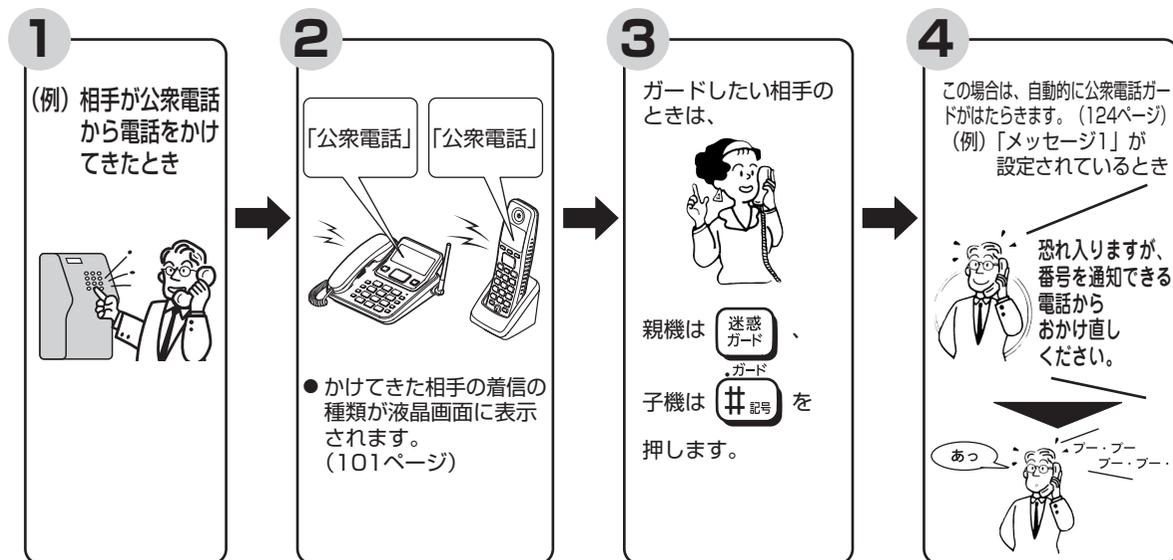
	応答方法の内容
メッセージ1	「恐れ入りますが、番号を通知できる電話からおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
メッセージ2	「ただ今、留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流して自動的に電話を切ります。
留守録音	留守番がはたらきます。(84ページ) ※録音残量がなくなったときは、応答専用メッセージで応答します。

ガードボタンを使う

ガード機能を設定していなくても、ガードボタンを使って、その着信に限りガード機能をはたらかせることができます。

着信中にガードボタンを利用すると

(例：イメージ図)



その着信に限り、ガードボタンを使ってガード機能をはたらかせるには

着信中に

(例) 相手が“公衆電話”のとき

親機は **迷惑ガード**、子機は **#記号** を押す

●親機の公衆と **迷惑ガード** が点滅します。

▶ ガード機能がはたらきます。(流れるメッセージは、着信の種類【公衆電話からの着信・電話番号を通知してこない非通知の着信・表示圏外からの着信】によって、異なります。)

●ガードボタンを押したときにはたらくガード機能一覧

液晶画面の表示	ガード機能の種類
電話番号*	特定番号ガード (120 ページ)
公衆電話	公衆電話ガード (124 ページ)
非通知	非通知ガード (126 ページ)
表示圏外	表示圏外ガード (128 ページ)

* 相手の方が電話番号を通知してかけてきたときに、親機の **迷惑ガード**、または、子機の **#記号** を押すと、一時的に、特定番号ガード (120 ページ) の応答方法で応答します。

お知らせ

- かけてきた相手にメッセージが流れると、相手に通話料金ががかかります。
- 公衆電話ガード、非通知ガード、表示圏外ガード、特定番号ガードのいずれかで応答した直後に電話をかけると、ガードした相手とつながる場合があります。電話をかけるときは、少ししてから、かけてください。
- 公衆電話ガードで応答中は、親機の液晶画面の公衆と **迷惑ガード** が点滅します。
- 非通知ガードで応答中は、親機の液晶画面の **非通知** と **迷惑ガード** が点滅します。
- 表示圏外ガードで応答中は、親機の液晶画面の **圏外** と **迷惑ガード** が点滅します。
- 特定番号ガードで応答中は、親機の液晶画面の **特定** と親機の **迷惑ガード** が点滅します。

ナンバー・ディスプレイにご契約し、本商品で設定されていないと、機能ははたらきません。(100 ページ)
留守録音した相手の電話番号が通知されているときは、その番号を記録 (ナンバースタンプ) し、用件再生中に液晶画面で表示します。

さらに、用件再生中、その人へ簡単に電話をかけ直すこともできます。(リターンダイヤル)

■用件再生中 (85、92 ページ) で、電話番号 (または電話帳に登録されている名前) が液晶画面に表示されているときに行なってください。(音声ではお知らせしません。)

親機で、リターンダイヤルで発信するには (親機)

受話器を置いた状態で

1 「留守番を解除する / 用件を聞くには」 (85 ページ) の操作をして用件を再生する

2 用件再生中、電話番号が表示されているときに受話器をとるハンズフリー (または  を押す)

- 再生が停止し、表示された電話番号に自動的にダイヤルします。
- 用件再生中、電話帳に登録している相手からのときは名前のみ表示します。(電話番号は表示しません。)
- 電話番号または名前が表示されていないときはリターンダイヤルで発信することはできません。

通話が終わったら

3 受話器を戻す (または  押す)

子機で、リターンダイヤルで発信するには (子機)

切ボタンを押してから

1 「用件を聞くには (用件再生)」 (92 ページ) の操作をして用件を再生する

2 用件再生中、電話番号が表示されているときに充電器から子機をとる (または  を押す) (点灯)

- 再生が停止し、表示された電話番号に自動的にダイヤルします。
- 用件再生中、電話帳に登録している相手からのときは名前のみ表示します。(電話番号は表示しません。)
- 電話番号または名前が表示されていないときはリターンダイヤルで発信することはできません。

通話が終わったら

3 子機を充電器に戻す (または  押す)

お知らせ

- 手順 2 で電話番号が表示された場合は、液晶画面がその用件の着信日時の表示にかわってからも、リターンダイヤルで発信することができます。
- 携帯通話設定機能 (36 ~ 39 ページ) を利用して携帯電話に電話をかけるときは、事業者識別番号を自動的につけてダイヤルします。このとき、親機の  が約 5 秒間点滅します。

1つの電話回線で複数の電話番号を使う（「モデムダイヤルイン」サービス）

「追加番号（マイナンバー）」サービスや「モデムダイヤルイン」サービスにご契約し、親機で設定されていないと、機能ははたらきません。

当社のひかり電話の「追加番号（マイナンバー）」サービスや「モデムダイヤルイン」サービスを利用すると、1つの電話回線で、2つ以上の電話番号をご利用になれます。これにより、たとえば親機と子機の番号を別に設定して、子機だけを鳴らしたりすることができます。

（例）電話番号「0312345678」を子機（1）のみ着信させる設定にした場合



■ひかり電話の「追加番号（マイナンバー）」サービス ご利用の手順 ■「モデムダイヤルイン」サービス ご利用の手順

1 当社と契約する (有料) 下記、当社窓口へお申し込みください。	2 サービス開始の 連絡を待つ	3 本機の設定をする (133～135ページ) ※必ず、サービスの開始後に設定を行ってください。
--	---------------------------	---

お問い合わせ・お申し込みは…
当社とのご契約が必要です。 局番なしの 116 または当社のサービス取扱所へ
受付時間：午前9時～午後9時（年末年始は休業）（2007年8月現在）

当社のひかり電話「追加番号（マイナンバー）」サービスや「モデムダイヤルイン」サービスとの契約が必要です。本商品の設定は、「追加番号（マイナンバー）」サービスや「モデムダイヤルイン」サービスが開始されてから行なってください。サービス開始前に設定したり、サービスが開始されても設定しない場合、電話を受けることができなくなります。

- ※ひかり電話の「追加番号（マイナンバー）」サービスやINSの「i・ナンバー」サービスをご利用の場合は、接続しているルータやTA（ターミナルアダプタ）などの設定も必要です。設定方法につきましては、ご利用になっている機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本商品で設定できるモデムダイヤルイン番号は、最大5つです。
- モデムダイヤルインに設定されていない番号にかかってくると、親機とすべての子機が鳴ります。
- 外線通話中にキャッチホンで割り込みがあっても、モデムダイヤルインの設定による呼出し機能ははたらきません。（この場合は、キャッチ（子機はキャッチ）を押して、割り込んだ電話を受けることができます。）
- ガード機能（非通知、公衆電話、表示圏外、特定番号）および限定着信外の相手から電話がかかってきたときは、モデムダイヤルインによる呼出し機能ははたらきません。ガード機能や限定着信機能が優先されます。
- ドアホン通話中に、ドアホン通話をしていない親機または子機を呼出す番号に電話がかかってきたときは、かかってきた電話が優先され、ドアホン通話が自動的に終了します。このあと電話にでる場合は、モデムダイヤルインの設定により呼出音が鳴っている親機または子機で、電話にでる操作をしてください。
- 停電時、「追加番号（マイナンバー）」サービスや「モデムダイヤルイン」サービスは、利用できません。

お知らせ

- 1つの電話回線を利用しておりますので、親機と子機で、同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- ダイヤルインサービス（PBダイヤルイン）には対応していませんので、必ず「モデムダイヤルイン」サービスを契約してください。
- 他の電話機などと並列接続すると、正常に動作しなくなりますので、接続しないでください。
- モデムダイヤルイン機能を利用する場合は、当社の各種サービスをご利用になれない場合や、一部制約を受けることがあります。他のサービスとの併用など、くわしくは局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。
- ホームテレホンや構内交換機（PBX）をお使いの場合は、ご利用になれません。
- ISDN回線のときは、TA（ターミナルアダプタ）の設定が必要です。主番号（契約者回線番号）に設定したアナログポートに、本商品を接続してください。くわしくはTAのメーカーへお問い合わせください。
- 電話がかかってくるまで、約4～10秒かかります。
- 留守セット時、応答メッセージが流れるまでの回数やトールセーブ機能がうまくはたらかない場合があります。

「モデムダイヤルイン」サービスを利用する



(親機)

本商品で設定できるモデムダイヤルイン番号は、最大5番号です。

「モデムダイヤルイン」サービスで使用する番号を登録／変更するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “モデムダイヤルイン”を選ぶ

ナビ-D設定
モデムダイヤル 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す

電話番号1
未登録

4 電話番号1～5のうち1つを選ぶ
(例) “電話番号2” のとき

電話番号2
未登録

すでに登録されているときは電話番号が表示されます。
変更する電話番号を1つ選んでください。

電話番号3
0612345678

5 戻る
機能 押す

登録/変更
消去 選ぶ

6 電話帳
/決定 押す

電話番号?

7 電話番号を入力する
(最大20桁)
(例) “0312345678” のとき

電話番号?
0312345678

8 電話帳
/決定 押す

登録しました

9 停止
再生 押す

モデム
ダイヤルイン

お知らせ

- 登録または変更した番号に対して、子機や親機をお好みの設定で着信させるには、必ず、着信設定（135ページ）を行なってください。

「モデムダイヤルイン」サービスを利用する（つづき）

「モデムダイヤルイン」サービスで使用する番号を消去するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “モデムダイヤルイン” を選ぶ

ナビ-D設定
モデムダイヤルイン 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す

電話番号1
未登録

4 消去する番号を1つ選ぶ

電話番号2
0312345678

5 戻る
機能 押す

登録/変更
消去 選ぶ

6 “消去” を選ぶ

登録/変更
消去 選ぶ

7 電話帳
/決定 押す

消去しますか?
YES=[決定]

8 電話帳
/決定 押す

消去しました

9 停止
再生 押す



(親機)

電話番号 1～5 に対して、着信させる子機または親機を設定できます。
お買い上げ時は、すべての子機および親機が「○・・・設定 ON (着信させる)」に設定されています。

「モデムダイヤルイン」サービスで使用する着信させる組み合わせを設定するには (着信設定)

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “モデムダイヤルイン” を選ぶ

ナビ-D設定
モデムダイヤル 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

電話番号1
未登録

4 電話番号 1～5 のうち 1 つを選ぶ
(例) “電話番号 2” のとき

電話番号2
0312345678

5 戻る
機能 押す

登録/変更
消去 選ぶ

6 “着信設定” を選ぶ

消去
着信設定 選ぶ

7 電話帳/決定 押す

親機 ○
子機(1) ○ 選ぶ

●名称登録 (141 ページ) をしているときは、名前が表示されます。

8 設定する親機または子機を 1 つ選ぶ
(例) 子機 (1) のとき

親機 ○
子機(1) ○ 選ぶ

9 電話帳/決定 押す

着信設定
ON

10 着信の有無を選ぶ
(例) 着信させないとき

着信設定
OFF

11 電話帳/決定 押す

親機 ○
子機(1) X 選ぶ

○・・・設定 ON (着信させる)
×・・・設定 OFF (着信させない)

●設定状態が○と×で表示されます。
上の例では、電話番号「0312345678」にかかってきたときは、親機は着信する、子機(1)は着信しないという設定になります。

12 停止
再生 押す

■子機が複数あるときは、手順 1 からやり直し手順 8 で着信設定する子機を選び、子機ごとに、“ON” または “OFF” を設定してください。

お知らせ

- 登録したダイヤルイン番号に電話がかかってくると、その電話番号に着信設定した親機または子機以外では電話にできません。(このとき、着信設定していない親機や子機の液晶画面には「ダイヤルイン着信中」と表示されます)
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、鳴り分け機能と同時に設定したときは、着信時の呼出音は、鳴り分けで選んだ呼出音 (116～117 ページ) が鳴ります。また、着信履歴は、すべての子機と親機に記録されます。
- すべての子機と親機を「OFF」(着信させない) 設定にすることはできません。
- 親機の着信設定を「ON」(着信させる) にしているときは、留守番電話で応答できます。逆に、モデムダイヤルインによる子機だけの呼出し(親機の着信設定を「OFF」(着信させない) にしている) のときは、留守番電話で応答することはできません。

モデム
ダイヤルイン

プッシュホンサービスを利用する

ダイヤル回線でご使用の場合でも、相手を出した後にトーンボタンを押すことにより、プッシュホンサービス（銀行ANSER、クレジット通話サービス、照会案内サービス、ホームテレホンにおけるテレコントロール、留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。

プッシュホンサービスを利用するには

1

各種サービスにダイヤルする

電話がつながり、案内メッセージが流れたら

2

親機

子機

 押す

 押す

トーン信号とは、プッシュ回線で電話をかけるときの「ピッ、ポッ、パッ」という音のことです。ダイヤル回線でご契約されている方でもトーンボタン（）や（）を押すことにより、このトーン信号を出すことができます。プッシュ回線をお使いの方は、必要ありません。

3

アナウンスにしたがって操作する

●これ以降は、ダイヤルボタンを押すと、トーン信号が送られます。

▶ 電話を切ると、自動的にもとのダイヤル回線の信号に戻ります。

お知らせ ●  や  を使ってもサービスが利用できないときは、サービス提供先にお問い合わせください。

キャッチホンサービスを利用する (キャッチ)

当社のキャッチホンサービスにご契約されると、通話中にかかってきた別の相手とお話することができます。

親機でキャッチホンを利用するには



通話中にキャッチホンの信号「ブッ、ブッ」音が聞こえたら

キャッチ



押す

▶ もう一度押すと、もとの相手につながります。

子機でキャッチホンを利用するには



通話中にキャッチホンの信号「ブッ、ブッ」音が聞こえたら

キャッチ



押す

▶ もう一度押すと、もとの相手につながります。

■ キャッチホンサービスは、当社へのお申し込みが必要です。(有料)

お知らせ ● キャッチホンサービスをご利用のとき、親機は、 子機は  を押した後、後からかかってきた相手につながるまで、多少時間がかかることがあります。

● ファクスに接続すると、キャッチホンサービスを利用できない場合があります。必ず、ファクスの取扱説明書をご覧ください。

● キャッチホンサービスのご契約に関しては、局番なしの116番または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

●  のかわりにフックを押すと、通話が切れたり、切りかえた後の操作で通話が途切れたりする場合があります。通話を切りかえるときは、 を押してください。

夜間呼出音量を設定する

夜間呼出音量と夜間時間帯を設定すると、設定した時間帯に外から電話がかかってきたときに、設定した親機や子機の夜間呼出音量でそれぞれ鳴らすことができます。設定した時間帯以外は、通常の呼出音量で鳴ります。夜間呼出音量は、「音量1」から「音量4」、「消音」、「夜間設定なし」の6種類の中から選ぶことができます。お買い上げ時は、夜間呼出音量は「夜間設定なし」、夜間時間帯は「0：00～6：00」に設定されています。

夜間時間帯に電話がかかってくると

(例) 子機で、夜間呼出音量を“音量1”、夜間時間帯を“22：00～6：00”、通常の呼出音量を“音量4”に設定したとき



■ あらかじめ、設定したい親機や子機それぞれの時計を合わせてください。(29～30ページ)

■ 夜間呼出音量を設定すると、夜間時間帯は、下記の音量もかわります。

- ・夜間呼出音量で消音設定時、留守応答中の応答メッセージやスピーカーから流れる音量(84～85ページ)
- ・呼出音の種類を選んでいるときの音量* (33ページ)
- ・内線の呼出音量* (53～61ページ)
- ・鳴り分けの呼出音を選んでいるときの音量* (116～117ページ)
- ・ドアホンの呼出音量* (160ページ)

※…消音を設定されていると、音量1で鳴ります。

夜間呼出音量を設定する (つづき)

親機の夜間呼出音量を設定するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量” を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

4 “夜間音量” を選ぶ

呼出音質
夜間音量 選ぶ

5 電話帳/決定 押す

夜間音量
夜間設定なし

●現在の設定が表示されます。

6 夜間呼出音量を選ぶ
(例) “音量2” のとき

夜間音量
[音量2]

●消音 ⇄ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4 ⇄ 夜間設定なし と切りかわります。

▶ [電話帳/決定] を押し、完了音が鳴ったら [再生] を押します。

■解除するときは、手順6で、“夜間設定なし”を選んでください。

子機の夜間呼出音量を設定するには



(子機)

切ボタンを押してから

1 録音/戻る機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “音質・音量” を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 決定/電話帳 押す

呼出音質
呼出音量

4 “夜間音量” を選ぶ

呼出音質
夜間音量

5 決定/電話帳 押す

夜間音量
夜間設定なし

●現在の設定が表示されます。

6 夜間呼出音量を選ぶ
(例) “音量2” のとき

夜間音量
[音量2]

●消音 ⇄ 音量1 ⇄ 音量2 ⇄ 音量3 ⇄ 音量4 ⇄ 夜間設定なし と切りかわります。

▶ [決定/電話帳] を押し、完了音が鳴ったら [切] を押します。

■解除するときは、手順6で、“夜間設定なし”を選んでください。

便利な機能

お知らせ ●手順6で消音を選ぶと、夜間時間帯のとき、液晶画面に親機は **消音**、子機は **消音** が表示されます。

親機の夜間時間帯を設定するには



(親機)

■あらかじめ、親機の時計を合わせてください。
(29ページ)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 電話帳
決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

4 “夜間時間設定”を選ぶ

夜間音量
夜間時間設定 選ぶ

5 電話帳
決定 押す

夜間時間設定
00:00→06:00

●現在の設定が表示されます。

6 ダイヤルボタンで時間帯を入力する
(開始時刻、終了時刻
それぞれ24時間制で4桁)

(例) “午後10時50分～
午前8時50分” のとき

(例)

2 2 5 0 0 8 5 0

夜間時間設定
22:50→08:50

●入力し直すには、上下左右ボタンを押して、カーソルを修正したい数字に移動させます。

▶ 電話帳/決定 を押し、完了音が鳴ったら 停止/再生 を押します。

■夜間時間帯を設定しただけでは、機能ははたらかしません。必ず、夜間呼出音量の設定を行なってください。(138ページ)

子機の夜間時間帯を設定するには



(子機)

■あらかじめ、設定したい子機の時計を合わせてください。(29ページ)

切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量

3 決定
電話帳 押す

呼出音質
呼出音量

4 “夜間時間設定”を選ぶ

夜間音量
夜間時間設定

5 決定
電話帳 押す

夜間時間設定
00:00→06:00

●現在の設定が表示されます。

6 ダイヤルボタンで時間帯を入力する
(開始時刻、終了時刻
それぞれ24時間制で4桁)

(例) “午後10時50分～
午前8時50分” のとき

(例)

2 2 5 0 0 8 5 0

夜間時間設定
22:50→08:50

●入力し直すには、上下左右ボタンを押して、カーソルを修正したい数字に移動させます。

▶ 決定/電話帳 を押し、完了音が鳴ったら 切 を押します。

■夜間時間帯を設定しただけでは、機能ははたらかしません。必ず、夜間呼出音量の設定を行なってください。(138ページ)

便利な機能

お知らせ

●夜間時間帯は、開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定することはできません。

通話を録音する（通話録音）

通話中の会話を録音することができます。（最大約 10 分）

■必ず表示を確認して、ゆっくり操作してください。素早く押すと、録音開始や停止ができない場合があります。

親機で録音するには



外線通話中に



- 会話が録音されます。
- 発信時およびナンバー・ディスプレイご利用時は、電話番号も表示されています。

録音を終わらせるときは



子機で録音するには



外線通話中に



- 会話が録音されます。
- 発信時およびナンバー・ディスプレイご利用時は、電話番号も表示されています。

録音を終わらせるときは



親機で録音した内容を聞くには



子機で録音した内容を聞くには



■自作応答メッセージ、用件、通話録音の合計時間が最大で約 10 分です。（録音時間は親機と子機の合計です。）

■用件と通話録音した内容は、一緒に再生されます。

■通話録音した内容にも親機の日付と時刻が記録（タイムスタンプ）されます。

■録音した内容を消去するときは、用件の個別消去（86 ページ）または全消去（85 ページ）の操作をしてください。

便利な機能

お知らせ

- 次の場合は録音を終了します。
 - ・ 保留/文字 **内線**（親機）や 内線（子機）を押したとき
 - ・ 受話器で通話⇄ハンズフリー通話の切りかえ操作をしたとき（親機のみ）
 - ・ 録音可能時間（84 ページ）がなくなったとき
 - ・ 通話を終わらせたとき
- 次の場合は、通話録音することができません。
 - ・ 録音の残り時間がないとき
 - ・ 録音件数が 59 件あるとき
 - ・ 内線通話中／子機間通話中／三者通話中／ドアホン通話中
- 約 1 秒程度の短い録音は、用件 1 件として認識されない場合があります。
- 録音中にキャッチホンが入ると、キャッチホンの信号音（「ビポツ・ジャー」または「ビポツ」）が録音されます。
- 録音中に キャッチ **消去**（親機）や キャッチ **消去**（子機）を押してキャッチホンに回答しても、通話録音を継続します。このとき、液晶画面は、キャッチホンの表示を優先します。

親機や子機に名前を登録する（名称登録）

使う人の名前などを親機や子機の液晶画面に表示できます。

さらに、親機（または子機）から子機（または親機）を呼び出すときなど、呼び出したい子機（または親機）の名称が液晶画面に表示されるので便利です。

お買い上げ時は、親機は「親機」、子機は「子機（1）」（「子機（2）」…）が登録されています。

親機に名前を登録するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “名称登録” を選ぶ

子機登録
名称登録 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

親機
>■ [漢]

4 ^{キャッチ} 消去 を数回押して登録内容を消去する



5 ダイヤルボタンで名前を入力する
(64～67ページ)
(最大 全角5文字/半角10文字)
(例) “ママ” のとき



●入力し直すには、^{キャッチ} 消去 を押します。

6 電話帳/決定 押す

親機名称
ママ

子機に名前を登録するには



(子機)

切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

用件再生
留守電操作

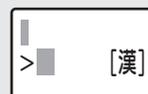
2 “名称登録” を選ぶ

子機増設
名称登録

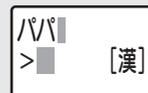
3 決定
電話帳 押す

子機(1)
>■ [漢]

4 ^{キャッチ} 消去 を数回押して登録内容を消去する



5 ダイヤルボタンで名前を入力する
(64～67ページ)
(最大 全角5文字/半角10文字)
(例) “パパ” のとき



●入力し直すには、^{キャッチ} 消去 を押します。

6 決定
電話帳 押す

子機名称
パパ

便利な機能

お知らせ ●2台以上の子機で、同時に文字入力することはできません。

電話番号を音声で確認する（読上げダイヤル）



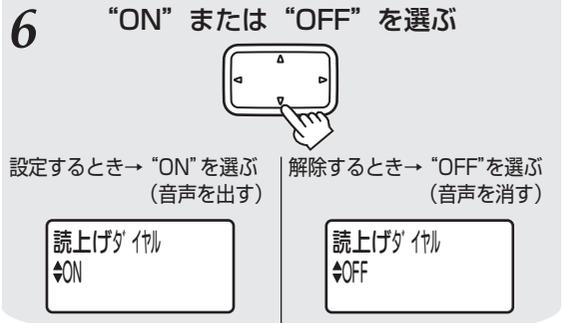
(親機)

親機は、先押しダイヤルでダイヤルボタンを押したとき、および電話帳、発信履歴、着信履歴の確認時に、表示された電話番号を音声で確認することができます。お買い上げ時は「ON」（音声を出す）に設定されています。

読上げダイヤルを設定／解除するには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で



▶ 完了音が鳴ったら を押します。

お知らせ

- 通話中は、読上げダイヤルははたらきません。また、設定／解除の操作をすることもできません。
- 184、186 などの特番ダイヤルを押しているときは、読上げダイヤルははたらきません。
- 読上げている音声の音量を調節するときは、一度、操作をやめてスピーカー音量（32 ページ）で調節してください。
- 短縮ダイヤルの確認時には、読上げダイヤルははたらきません。

クイック通話を解除する(見てから通話)



(子機)

クイック通話とは、子機を充電器からとるだけで、を押さなくても電話をかけたり、受けたりすることができる機能です。

お買い上げ時は、クイック通話が「ON」(設定)に設定されています。

クイック通話が設定されているとき (お買い上げ時)

<電話をかけるとき>

- 子機を充電器からとって、電話番号を入力するだけで、電話をかけることができます。
()ランプ点滅)

<電話を受けるとき>

- 充電器から子機をとると、そのまま通話できます。
()ランプ点灯)



 (発信) ランプ
点滅/点灯

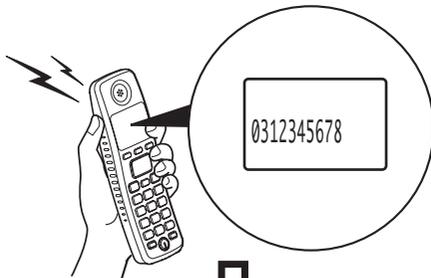
クイック通話を解除しているとき

<電話をかけるとき>

- 子機を充電器からとり、電話番号を入力し、その番号を確認してから()を押すと、電話をかけることができます。(見てから通話)

<ナンバー・ディスプレイ加入時に電話を受けるとき>

- 子機をとり、かけてきた相手の電話番号を確認してから、()を押し、通話することができます。(見てから通話)



クイック通話を解除するには

切ボタンを押してから

1

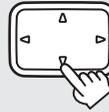
録音/戻る
機能

押す

▶ 用件再生
留守電操作

2

“クイック通話” を選ぶ



液晶コントラスト
▶ クイック通話

3

決定
電話帳

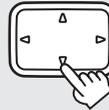
押す

クイック通話
⇄ ON

●現在の設定が表示されます。

4

“OFF” を選ぶ



クイック通話
⇄ OFF

5

決定
電話帳

押す

液晶コントラスト
▶ クイック通話

▶ 完了音が鳴ったら  を押します。

■ 設定するときは、手順4で“ON”を選びます。

必要なときは

キータッチ音を設定／解除する

ボタンを押したときの確認音の有／無を設定できます。お買い上げ時は「ON」（設定）に設定されています。

親機のキータッチ音を設定／解除するには



受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量” を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 電話帳 / 決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

4 “キータッチ音” を選ぶ

夜間時間設定
キータッチ音 選ぶ

5 電話帳 / 決定 押す

キータッチ音
ON

●現在の設定が表示されます。

6 “OFF” を選ぶ

キータッチ音
OFF

子機のキータッチ音を設定／解除するには



切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “音質・音量” を選ぶ

留守電操作
音質・音量

3 決定 / 電話帳 押す

呼出音質
呼出音量

4 “キータッチ音” を選ぶ

夜間時間設定
キータッチ音

5 決定 / 電話帳 押す

キータッチ音
ON

●現在の設定が表示されます。

6 “OFF” を選ぶ

キータッチ音
OFF

▶ 電話帳 / 決定 を押してから、停止 / 再生 を押します。

■ 設定するときは、手順6で“ON”を選びます。

■ キータッチ音を「OFF」（解除）に設定すると、完了音や警告音も鳴らなくなります。

ただし、下記の場合は鳴ります。

- ・子機が親機から離れすぎたとき（通話中）
- ・電池残量が少なくなったとき
- ・クイック通話設定時、子機を充電器からとった後、約20秒以上、何も操作をしなかったとき
- ・スピーカー音量や受話音量を調節中に、「音量4」から、さらに上を押したときや「音量1」から、さらに下を押したとき
- ・ガード機能および限定着信で応答時に受話器をとったときなど

▶ 決定 / 電話帳 を押してから、切 を押します。

■ 設定するときは、手順6で“ON”を選びます。

液晶画面のコントラストを調整する

親機や子機の液晶画面の表示の濃さをお好みに合わせて親機は 13 段階、子機は 12 段階の中から調整することができます。

お買い上げ時、親機、子機ともに中間に設定されています。コントラストは数値で確認することはできませんので、実際に液晶画面で表示の濃さを見ながら調整してください。

親機のコントラストを調整するには  (親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

▶留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “液晶コントラスト” を選ぶ

名称登録
▶液晶コントラスト 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

液晶コントラスト
▲調整

4 コントラストを調整する

液晶コントラスト
▲調整

●押すたびに、液晶画面の表示の濃さがかわります。
(13段階)

5 電話帳/決定 押す

名称登録
▶液晶コントラスト 選ぶ

▶完了音が鳴ったら  を押します。

子機のコントラストを調整するには  (子機)

切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

▶用件再生
留守電操作

2 “液晶コントラスト” を選ぶ

名称登録
▶液晶コントラスト

3 決定
電話帳 押す

液晶コントラスト
▲調整

4 コントラストを調整する

液晶コントラスト
▲調整

●押すたびに、液晶画面の表示の濃さがかわります。
(12段階)

5 決定
電話帳 押す

名称登録
▶液晶コントラスト

▶完了音が鳴ったら  を押します。

コントラストは使用環境によって多少変化するので、実際にご使用になる場所に設置してから調整してください。

必要なときは

お買い上げ時の状態に戻すには（初期化）

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流失による不測の障害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を下記操作にしたがって、必ず消去願います。

■あらかじめ、親機とすべての子機に電源が入っていること、すべての子機の液晶画面が通常状態で^Y圏外が表示されていないことを確認してから行ってください。

親機を初期化するには



(親機)

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す ▶留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “初期化”を選ぶ
液晶コントラスト
▶初期化 選ぶ

3 電話帳/決定 押す 初期化?
YES=[決定]

4 電話帳/決定 押す 開始しますか?
YES=[決定]

5 電話帳/決定 押す 初期化中

▶ 初期化が終わると、通常状態の画面に戻ります。

子機を初期化するには



(子機)

■ 子機ごとに操作してください。

切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す ▶用件再生
留守電操作

2 “初期化”を選ぶ
クイック通話
▶初期化

3 決定
電話帳 押す 初期化?
YES=[決定]

4 決定
電話帳 押す 開始しますか?
YES=[決定]

5 決定
電話帳 押す 初期化中

▶ 初期化が終わると、通常状態の画面に戻ります。

■ 初期化中は、電話をかけたり、受けたりすることはできません。

初期化が始まると、途中で止めることはできません。

また、初期化を行なうと、本商品内に保存または保持された情報がすべて消去されます。

初期化をしないときは、確認画面（手順3または手順4）で親機は 子機は を押してください。

■ 初期化中は、他の子機や親機を使用しないでください。

■ 連続して初期化を行なう場合は、約5秒以上たってから行ってください。「使用中」と表示されたり、初期化が正常に行なえない場合があります。

リセットについて

ボタン操作を受けつけなくなった場合（強い外来ノイズや静電気、落雷を受けたなど）や、「故障かな？と思ったら」（148～153ページ）の処置を行っても正常に動作しない場合は、リセット操作を行なってください。

本商品は、自己診断機能により本商品が異常と判断した場合、自動的にリセット処理を行なう場合があります。

親機のリセット方法



電源アダプタを差し込んだ状態で、つまようじ等の細い棒を穴に差し、リセットスイッチ（20ページ）を押してください。

● 親機のリセットを行なうと・・・

- 次の設定が解除されますので設定し直してください。
- ・ 限定着信“ON（タイマーあり）”で設定していた場合
- ※“ON（タイマーなし）”で設定していた場合は解除されません。

- 次の表示は消灯します。
- ・ 不在着信表示

上記以外の設定、録音したもの、登録された内容は保持されます。

子機のリセット方法



電池パックのフタをあげ、電池パックのコネクタを抜き差ししてください。（166ページ）

● 子機のリセットを行なうと・・・

- 次の設定がお買い上げ時に戻りますので設定し直してください。
- ・ 時計（日付／時刻）

上記以外の設定、録音したもの、登録された内容は保持されます。

故障かな？と思ったら



(親機)



(子機)

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点を確認してください。それでも正常に動作しない場合は、リセット操作（147ページ）を行なってください。
リセットで回復しないとき、電源コンセントを抜いておくと、応急的に電話をかけたり受けたりすることができる場合があります。

●共通（親機、子機）

症 状	原 因	処 置
電話がかかけられない	<ul style="list-style-type: none"> ●電話機コードがはずれている。 ●電話回線の種別が正しく設定されていない。 ●携帯通話設定が正しく設定されていない。 ●ホームテレホン/ビジネスホンに接続している。 ●IP電話サービスを利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親機の電話機コードを接続する。 ●親機で電話回線の種別を正しく設定する。(22ページ) ●親機で携帯通話設定を正しく設定する。(36～42ページ) ●当社のサービス取扱所、またはお買い上げになった販売店へご相談ください。誤った接続は故障の原因となることがあります。 ●IP電話サービス会社へお問い合わせください。
電話をかけようとする時、「ブッ、ブッ」という音が聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ●当社の「キャッチホンⅡ」や「マジックボックス」のサービスを利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●センターに録音されているメッセージをすべて再生する。
電話をかけようとする時、警告音が鳴ってかけられない	<ul style="list-style-type: none"> ●ガードまたは限定着信がはたらき、メッセージ1または2で応答中の場合、警告音でお知らせする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガードまたは限定着信の応答が終わり、液晶画面が通常状態に戻ってから電話をかけ直す。
電話をかけたとき、相手につながるまで時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の方がナンバー・ディスプレイまたはダイヤルインを利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。相手の方がナンバー・ディスプレイまたはダイヤルインを利用しているとつながるまで時間がかかる場合があります。
電話をかけようとしたとき、違う相手とつながる	<ul style="list-style-type: none"> ●前の相手との通話が終わった直後に電話をかけようとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電話を切って、少ししてからもう一度かけ直す。
通話が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●ナンバー・ディスプレイの設定が“ON（キャッチD有）”になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親機でキャッチホン・ディスプレイの設定を確認する。(106ページ)
音質が悪い (音声がまわりこむ)	<ul style="list-style-type: none"> ●ISDN回線やADSLサービスを利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親機で「スプリッタ・TAの設定」を行なってみる。(154ページ)
ハンズフリー通話がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> ●まわりの音(相手側、こちら側)が大きい。 ●相手と同時に話をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●受話器で、もしくは子機を手にとって話をする。 ●相手の話が終わってから話をする。
キャッチボタンを押しても、キャッチホンが切りかわらない	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームテレホンなどに接続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●当社のサービス取扱所、またはお買い上げになった販売店へご相談ください。
ドアホンの応答を終了してもドアホン側の呼出音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ●応答後、すぐにドアホン通話を終了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●故障ではありません。
ドアホンに応答できない	<ul style="list-style-type: none"> ●親機、または子機で外からの電話と通話中である。 ●親機または子機で、内線呼出中または内線通話中である。 ●ドアホンの呼出音が聞こえてから約30秒以上経過した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外からの電話を終了してから応答する。(161ページ) ●内線通話を終了してから応答する。 ●ドアホンに呼びかける。(162ページ)
呼出音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ●消音に設定されている。 ●夜間呼出音量が消音に設定されている。 ●ガードまたは限定着信が設定されている。(液晶画面に または 表示、迷惑ガードランプ点灯) 	<ul style="list-style-type: none"> ●親機・子機それぞれで消音を解除する。(31ページ) ●親機・子機それぞれで夜間呼出音量の消音を解除する。(138ページ) ●必要のないガードや限定着信を解除する。限定着信(118ページ) 特定番号ガード(123ページ) 公衆電話ガード(124ページ) 非通知ガード(126ページ) 表示圏外ガード(128ページ)

必要なときは

症 状	原 因	処 置
呼出音が鳴るのが遅い	●ナンバー・ディスプレイまたはモデムダイヤルインを利用している。	●故障ではありません。
	●ISDN回線のTA（ターミナルアダプタ）に接続している。	
	●未契約のまま、ナンバー・ディスプレイまたはモデムダイヤルインのどちらか、または一方が設定されている。	●契約していないサービスの設定を“OFF”にする。
呼出音が違う音で鳴る	●鳴り分けが設定されている。	●親機・子機それぞれで鳴り分けを解除する。（116～117ページ）
電話に出ても、つながらない（液晶画面に「着信」表示）	●つながる前に相手が電話を切った。	●相手が電話を切っても、液晶画面に「着信」と約5秒間表示されます。また呼出音の種類によっては、約5秒間呼出音も鳴り続けます。
登録操作の途中で「登録できません」と表示される	●入力されたデータに誤りがある。	●はじめから登録操作を行ない、正しいデータを入力する。
液晶画面が一瞬消えるときがある	●液晶の表示を、表示し直しています。	●故障ではありません。
留守セットができない または通話録音ができない ／応答メッセージが応答専用になっている、または、なっ たままになってしまう／用件 を録音できない	●親機の電源アダプタがはずれている。	●親機の電源アダプタを接続する。
	●録音がいっぱいになっている。 ●録音件数が59件以上になっている。	●不要な録音内容を消去する。 （全消去85ページ、個別消去86ページ） ●録音がいっぱいの場合、時間の短い用件を1件消去しても留守セットできない場合や、録音できない場合があります。新しい用件や通話を録音するには、用件を再生し確認して、不要な用件や録音内容を複数消去するか、すべての用件を消去してから、留守セットまたは通話録音などを行ってください。
留守セットや用件再生などの留守操作または通話録音ができない	●親機（または他の子機）で、外線通話・内線通話・ドアホン通話・電話帳コピー・留守操作（留守セットや用件再生など）・親機の電話帳検索・子機リモート操作などの操作をしている。	●親機や他の子機の状態を確認してから操作する。
留守セットしていないのに留守番電話につながる	●ガードまたは限定着信が設定されている。（液晶画面に  または  表示、迷惑ガードランプ点灯）	●必要ないガードや限定着信を解除する。または応答方法をかえる。 限定着信（118ページ） 特定番号ガード（123ページ） 公衆電話ガード（124ページ） 非通知ガード（126ページ） 表示圏外ガード（128ページ）
	●ガードまたは限定着信の応答方法が留守録音に設定されている。	
留守動作中に音が聞こえない	●消音に設定されている。 ●夜間呼出音量を消音にしている。	●親機・子機それぞれで消音を解除する。（31ページ）
リモコン操作ができない （用件再生ができない）	●暗証番号を登録していない。	●親機で暗証番号を登録する。（94ページ）
	●トーン信号「ピ、ポ、パ」が出せない電話機からかけている。	●トーン信号が出せる電話機からかける。
	●トーン信号の送出時間が短すぎる。	●ボタンを長めに押す。 ●別の電話機からかけ直してみる。
	●トーン信号の送出時間が長すぎる。	●ボタンを短めに押す。
	●応答メッセージが流れてから約30秒が経過している。 ●暗証番号の入力間隔が約8秒以上経過している。	●暗証番号の入力を、応答メッセージが流れてから約30秒以内、かつ入力間隔を約8秒以上あけずに行なう。
電話帳の登録操作時間が長い	●使用していない親機（または子機）で他の操作をしている。	●故障ではありません。

必要なときは

故障かな？と思ったら（つづき）

症 状	原 因	処 置
用件録音やリモコン操作中に電話を切っても、本商品が、すぐに通常状態に戻らないときがある	●相手側の切断時の信号が、ノイズなどにより正常に受け取れなかった、または、信号が来ない環境である。	●故障ではありません。 ●用件録音の場合は、最大約5分経過後、リモコン操作をしていた場合は、用件再生をすべて終了し、約20秒間のリモコン待ち状態が経過後、電話が切れ通常状態に戻ります。
【ナンバー・ディスプレイ利用時】 相手の電話番号が表示されない	●当社とナンバー・ディスプレイのご契約をしていない。 ●ナンバー・ディスプレイの設定が“OFF”になっている。(液晶画面の D 消灯) ●ファクスや他の通信機器に接続している。 ●IP電話サービスを利用している。	●局番なしの116番、または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。 ●親機でナンバー・ディスプレイの設定を“ON”にする。(100ページ) ●接続する機器のメーカーへご相談ください。 ●IP電話サービス会社へお問い合わせください。
【ナンバー・ディスプレイ利用時】 かけてきた相手と表示される名前が一致しない	●電話帳に市外局番を入力していない。 ●同一の電話番号が、複数の名前で登録されている。	●電話帳の電話番号は、同一市内でも市外局番から入力する。(62～63ページ) ●電話番号が重複している電話帳データを消去する。(74～75ページ)
【「モデムダイヤルイン」サービス利用時】 【ナンバー・ディスプレイ利用時】 呼出音が「ブルブル」と鳴り、電話にでると「ジャー」と聞こえ、電話が切れる	●親機の電源アダプタがはずれている。 ●ナンバー・ディスプレイの設定が“OFF”になっている。(液晶画面の D 消灯) ●「モデムダイヤルイン」サービスで使用する番号が登録されていない。 ●着信の途中で相手が電話を切り、約5秒以内に電話がかかってきた。	●親機の電源アダプタを接続する。 ●親機でナンバー・ディスプレイの設定を“ON”にする。(100ページ) ●親機で、「モデムダイヤルイン」サービスで使用する番号をすべて登録する。 ●設定されている呼出音が鳴り、液晶画面に「着信」と表示され、呼出音が正常に鳴った後、相手の電話番号が正しく表示されてから、電話にでる。(「ブルブル」という呼出音が鳴っているときに電話にでると、ガード機能が正常にはたらかず、拒否している相手とつながる場合があります。)
【キャッチホン・ディスプレイ利用時】 ＜通話録音中＞の表示が録音中に消えた	●録音中に、別の相手が割り込んで電話をかけてきたため、キャッチホンまたはキャッチホンIIなどが入った。	●録音中にキャッチホンまたはキャッチホンIIなどで割り込んできた場合は、キャッチホンの表示(かけてきた相手の電話番号または「非通知」「公衆電話」「表示圏外」など)を優先します。この後、消去/キャッチボタンを押して応答するか、約30秒経過すると、液晶画面は＜通話録音中＞の表示に戻ります。
【「モデムダイヤルイン」サービス利用時】 着信させる子機または親機を指定したが、すべての電話機で呼出音が鳴る	●回線の雑音や瞬断などによりモデムダイヤルインのデータを正しく受信できなかった。	●故障ではありません。
電話をかけると相手に電話番号が通知されない	●お客様の回線が「通常非通知(回線ごと非通知)」の契約になっている。 ●IP電話サービスを利用している。	●局番なしの116番、または当社のサービス取扱所へお問い合わせください。 ●相手先の電話番号の前に「186」をつけて電話をかける。 ●IP電話サービス会社へお問い合わせください。

症 状	原 因	処 置
操作しようとする、「ピピピ」という音が聞こえ、操作できない（液晶画面に「使用中」と表示する場合もある）	●親機や子機が使用中の状態になっている。	●親機や子機の状態を確認してから操作する。
通話時間表示と実際の通話時間が違う	●電話のかけ方やダイヤルする桁数により通話時間表示の開始タイミングが異なる。	●故障ではありません。通話時間表示は目安です。
保留転送中に受話器を置いたり（切）を押したら電話が切れた	●保留転送中、呼出された側が電話にできることを拒否した（親機は ^{停止} 再生、子機は（切）を押した）直後、「応答がありません」と表示中に当該操作を行なった。	●当該操作で、電話を切りたくない場合は、保留転送直後に親機は受話器を戻す、子機は（切）を押す。（すべての子機と親機の液晶画面に「〈保留中〉 保留 転送」と表示される。） ●電話を切りたい場合は、当該操作を行なう。
電話帳登録や名称登録ができない	●子機が、親機との距離が離れすぎたり、電波の弱くなる場所（▽圏外表示）で操作している。 ●他の子機や親機で、同じ操作をしている。	●親機に近づいたり、場所をかえたりする。 ●他の子機や親機の操作が終了してから操作する。



（親機）

症 状	原 因	処 置
液晶画面に「回線異常」と表示される	●ビジネスホンなどに接続している。	●当社のサービス取扱所、またはお買い上げになった販売店へご相談ください。誤った接続は故障の原因となることがあります。
停電時、キャッチボタンを押しても、うまく操作できない	●ダイヤルの途中で、キャッチボタンを押しても、すぐにキャッチボタンはきかない。 ●キャッチボタンを押して、すぐに操作した。	●キャッチボタンを押し、「ツー」音が聞こえてから操作する。 ●ダイヤルし終わってから、キャッチボタンを押す。
オープニングツアーが、うまく操作できない	●オープニングツアー中に、以下のいずれかの操作をした。（受話器をとった/ ^{ハズレ} 発信）を押した/ ^{戻る} 機能 または ^{停止} 再生 を押した。） ※説明画面のときは、録音 を押しても機能しません。	●故障ではありません。画面表示にしたがって操作してください。 ●親機の液晶画面が、通常状態 1 または 2 である事を確認し、親機の時計（29 ページ）や携帯通話設定機能（36～39 ページ）をそれぞれ設定してください。



（子機）

症 状	原 因	処 置
電話をかけたり、受けたりできない	●親機と通信できていない。（液晶画面に「通話圏外」と▽圏外表示）	●親機の電源アダプタを正しく接続する。 ●親機に近づいたり、場所をかえたりする。（11 ページ） ●  を押す。
	●親機を探している。（液晶画面に「親機サーチ中」表示）	●親機が見つかり、液晶画面が通常状態になったことを確認してから操作する。 ●親機の電源アダプタを正しく接続する。 ●親機に近づいたり、場所をかえたりする。（11 ページ）
	●停電中である。	●親機を受話器で話をする。
	●電池パックが正しく接続されていない。	●電池パックを正しく接続する。（24 ページ）

必要なときは

故障かな？と思ったら（つづき）

症 状	原 因	処 置
電話をかけたり、受けたりできない	●電池パックの残量が少なくなっている。またはすぐに少なくなってしまう。	●充電端子を拭いて、約16時間以上充電する。(25～26ページ) ●新しい電池パックと交換する。(165～166ページ)
	●親機との距離が離れすぎている。	●親機に近づいて使用してみる。
	●雑音の発生しやすい場所で使用している。	●親機や子機を雑音源（電子レンジ、蛍光灯、テレビ、他のコードレスホン、OA機器など）から離す。
		●電源アダプタを別の電源コンセントに接続する。
	●親機に増設登録されていない。	●当社のサービス取扱所、またはお買い上げになった販売店へご相談ください。
	●上記の処置を行っても正しく動作しない。	●子機のリセット操作を行ってみる。(147ページ)
●親機を探している。 (液晶画面に「親機サーチ中」表示)	●親機が見つかり、液晶画面が通常状態(17ページ)になったことを確認してから操作する。	
	●親機の電源アダプタを正しく接続する。 ●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11ページ)	
親機（または他の子機）に電話をとりついたり、親機（または他の子機）で電話にすることができない	●子機でとりつぐ操作をした後、その子機が親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所に移動した。(Y圏外表示) (液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」表示)	●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11ページ) ●電波環境を確認し、操作をやり直す。
電話をかけようとする「ピピピ」と鳴り一度でつながらない	●雑音の発生しやすい場所で使用している。	●親機や子機を雑音源（電子レンジ、蛍光灯、テレビ、他のコードレスホン、OA機器など）から離す。 ●親機の電源アダプタを別の電源コンセントに接続する。
通話中に「ピピピ、ピピピ」と鳴ってしまう	●電池パックの残量が少なくなっている。	●充電端子を拭いて、約16時間以上充電する。(25～26ページ)
		●新しい電池パックと交換する。(165～166ページ)
液晶画面に「着信」と表示される、または呼出音は鳴るが、かかってきた電話を受けられない	●親機との距離が離れすぎている。 ●雑音の発生しやすい場所で使用している。	●親機に近づいて使用してみる。 ●親機の設置場所をかえてみる。 ●親機や子機を雑音源（電子レンジ、蛍光灯、テレビ、他のコードレスホン、OA機器など）から離す。
内線呼出された子機を充電器に戻したら内線が切れた	●内線に応答せずに、充電器に戻した。	●充電器に戻さずに、内線に応答する。
充電器からとって通話状態にならない	●クイック通話が解除されている。 ●子機の電源アダプタがはずれている。 ●充電端子が汚れている。	●クイック通話を設定する。(143ページ) ●子機の電源アダプタを接続する。 ●充電端子を拭く。(26ページ)
呼出音が鳴らない	●電池パックの残量が少なくなっている。	●充電端子を拭いて、約16時間以上充電する。(26ページ)
	●雑音の発生しやすい場所で使用している。	●親機や子機を雑音源（電子レンジ、蛍光灯、テレビ、他のコードレスホン、OA機器など）から離す。 ●親機の電源アダプタを別の電源コンセントに接続する。
	●親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所で使用している。	●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11ページ)
呼出音の鳴り方がおかしい	●親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所で使用している。	●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11ページ)

症 状	原 因	処 置
内線の呼出しや通話が中断したり、呼出しても、受け手が送り手のどちらか一方しか呼出音が鳴らない、または鳴らなくなった	●親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所で使用している。	●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11 ページ) ●電波環境を確認し、操作をやり直す。
通話中に「ブツブツ」などの雑音が入る	●雑音の発生しやすい場所で使用している。	●親機や子機を雑音源（電子レンジ、蛍光灯、テレビ、他のコードレスホン、OA 機器など）から離す。
	●親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所で使用している。	●故障ではありません。 ●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11 ページ) ●新しい電池パックと交換する。(165～166 ページ)
子機ごとに留守セットの状態表示、新規用件数の表示、他の子機の名称表示などが、異なる	●電波状態の悪い場所で、呼出中（呼出され中）または通話中に、通話圏外に出してしまったか、または通話圏外に放置された。（液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」とY圏外表示）この場合、もう一度、通話圏内に戻っても、設定状態の表示や動作が、他の子機と同期しない場合や、表示しない場合などがある。	●故障ではありません。 ●通話圏内に戻って電波の状態を確認してから、一度 切 を押して呼出しや通話を終了すると、正常な表示や動作に戻ります。
契約や設定が合っているのにキャッチホン・ディスプレイの受信が正常に行なえない		
着信履歴が残らない	●着信時、子機が通話圏外にあった。 ●親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所で使用している。	●通話圏内に戻って電波の状態を確認してから、子機を設置する。 ●親機に近づいたり、場所をかえたりする。
操作しようとする、「ピピピ」という音が聞こえ、操作できない（液晶画面に「使用中」と表示する場合もある）	●親機や子機が使用中の状態になっている。 ●電波状態の悪い場所で操作している。	●親機や子機の状態を確認してから操作する。 ●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11 ページ) ●少し時間をあけてから、もう一度操作する。
ボタンを押しても反応が無かったり遅い		
充電できない（  （発信）ランプが緑点灯しない）	●充電端子が汚れている。	●充電端子を拭く。(26 ページ)
	●充電器の電源アダプタがはずれている。	●電源アダプタの接続を確認する。
	●電池パックが完全に放電している。	●10 分程度充電すると点灯する。(26 ページ)（はじめてお使いのときなど） ●新しい電池パックと交換する。(165～166 ページ)
長時間充電しても、通話時間が短い	●充電端子が汚れている。	●充電端子を拭く。(26 ページ)
	●短時間の使用、充電を繰り返している。	●いったん電池パックを使いきってから（ボタンを押しても反応がない状態）再び充電を行なう。 ●新しい電池パックと交換する。(165～166 ページ)
すべての親機や子機で「回線使用中」と表示される	●保留中または保留転送中の子機が、親機から離れすぎたり、電波の弱くなる場所に移動した。（Y圏外表示）	●親機に近づいたり、場所をかえたりする。(11 ページ) ●Y圏外が消灯しているときは、発信ボタンまたはハンズフリーボタンを押す。 ●親機の受話器をとるかハンズフリーボタンを押す。
他の子機や親機を内線で呼出中、充電器に戻したら、内線通話になるときがある	●呼出された相手（他の子機や親機）が応答したあと、呼出した子機が、すぐに充電器に戻した。	●そのまま、充電器からとって、内線通話をしてください。 ●呼出された相手が内線通話を切った場合は、通常状態に戻ります。（外線通話の保留転送のときは、電話も切れて、通常状態に戻ります。）



(親機)

ISDN回線のターミナルアダプタなどをご利用の場合、通話時の音量が大きくなったり、音質が悪くなる場合があります。また、本商品を事務所など騒音の激しい場所でお使いの場合は、通話時にマイクが周囲の騒音をひろうため、相手の声が、聞きとりにくくなる場合があります。ADSLサービスをご利用になっていて、「スプリッタ」などを使用している電話回線に本商品を接続すると、スプリッタなどの影響により、「音声回り込み相手の声が聞きづらい」「音質が悪い」などの症状が起こる場合があります。このようなときは、次の設定を行なうと症状が緩和することがあります。お買い上げ時は、「OFF」(解除)に設定されています。この機能は、親機で設定すると親機やすべての子機で利用することができます。

スプリッタ・TAの設定を使うには

子機ではできません。

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “電話回線”を選ぶ

日時設定
電話回線 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す

回線種別
スプリッタ・TA 選ぶ

4 “スプリッタ・TA”を選ぶ

回線種別
スプリッタ・TA 選ぶ

5 電話帳
/決定 押す

スプリッタ・TA
OFF

●現在の設定が表示されます。

6 “ON”を選ぶ

スプリッタ・TA
ON

7 電話帳
/決定 押す

回線種別
スプリッタ・TA 選ぶ

▶完了音が鳴ったら 停止再生 を押します。

■解除するときは、手順6で“OFF”を選びます。

お知らせ

- 上記操作を行なっても、回線状況や接続しているスプリッタ・TAの種類によっては症状が改善しない場合があります。この場合は、契約されているADSL接続サービス会社やTAのメーカーにご相談ください。
- ADSLサービスをご利用になっていない場合、上記操作を行なうと、反対に、音声の回り込みや音質の低下が発生する場合があります。(その場合は設定を解除してください。)
- ADSL回線の場合、通話中に雑音が入る場合があります。ADSL回線に特有の事象です。契約されているADSL接続サービス会社にご相談ください。

電波帯切りかえ



(親機)

無線 LAN 機器をご使用の場合、本機のそばでご使用になると、「子機の通話がとぎれる」「無線 LAN 機器の動作がおかしい」などの電波干渉による症状が出る場合があります。これは、本機で利用している電波の周波数帯が、無線 LAN 機器も使用しているため（主に「CH 1」「CH 6」「CH 11」）で、このような場合は、電波帯切りかえを行なうことにより、通常使用する周波数帯を変更し、周波数帯が回避され、症状が緩和することがあります。

お買い上げ時は「CH 6」に設定されています。

この機能は、親機で設定すると親機やすべての子機で利用することができます。

親機で設定するには

受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す
留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “子機増設” を選ぶ
子機増設 選ぶ

3 電話帳
/決定 押す
増設しますか?
YES=[決定]

4 留守 押す
回避CH設定
CH 6
●現在の設定が表示されます。

5 回避する電波帯を選ぶ
(例) “CH 11” のとき



● CH 1 ⇄ CH 6 ⇄ CH 11 と切りかわります。

6 電話帳
/決定 押す

7 停止
再生 押す

■切りかえても症状が緩和しなかったり、逆にひどくなった場合は、設定を「CH 6」に戻してください。

お知らせ

- 本機と干渉していると思われる機器側でも、同等の切りかえ設定が可能な場合もあります。本機の設定ではなく、干渉していると思われる他の機器側の設定を切りかえたり、本機と他の機器側の両方の設定を切りかえることで、症状が緩和することもあります。

必要なときは

受話音質を補正する

相手の声が聞き取りにくいと感じたときは、受話音質補正を「ON」に設定すると、親機を受話器や子機のレシーバーから聞こえる音質の明瞭度が変わり、受話音質が改善することがあります。お買い上げ時は「ON」に設定されています。(スピーカーの音質を補正することはできません。)

■すべての使用環境で有効なわけではありません。聞きやすい設定にしてお使いください。

親機を受話音質補正を解除するには



受話器を置いた状態で

1 戻る
機能 押す

留守電操作
音質・音量 選ぶ

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量 選ぶ

3 電話帳/決定 押す

呼出音質
呼出音量 選ぶ

4 キャッチ
消去 押す

受話音質補正
ON

●現在の設定が表示されます。

5 “OFF”を選ぶ

受話音質補正
OFF

6 電話帳/決定 押す ▶▶ 再生 押す

■設定するときは、手順5で“ON”を選びます。

子機を受話音質補正を解除するには



切ボタンを押してから

1 録音/戻る
機能 押す

用件再生
留守電操作

2 “音質・音量”を選ぶ

留守電操作
音質・音量

3 決定/電話帳 押す

呼出音質
呼出音量

4 キャッチ
消去 押す

受話音質補正
ON

●現在の設定が表示されます。

5 “OFF”を選ぶ

受話音質補正
OFF

6 決定/電話帳 押す ▶▶ 切 押す

■設定するときは、手順5で“ON”を選びます。

必要なときは

お知らせ

- 設定状態は液晶画面に表示されません。
- 通話中は設定操作をすることができません。
- 設定した受話音質補正は、電話を切ってもそのまま保持されます。
- 親機と子機は、別々に設定できます。
- ハンズフリー通話の音質は、補正されません。

停電のときは

停電中や親機の電源アダプタがはずれたときは、親機の受話器で電話をかけたり、受けたりすることはできませんが、その他の機能は使えません。

また、停電中は親機のランプや液晶画面の表示は消えます。

親機	<ul style="list-style-type: none">●ダイヤル中に停電したときは、電話を切ってから、もう一度かけ直してください。電話がかからなかったり、違う相手にかかってしまうことがあります。●ハンズフリー通話中や保留中など（受話器が親機の上にあるとき）や、子機に外からの電話を転送しているときは、電話が切れます。●保留中に停電すると、保留が解除され通話に戻ります。（親機の上に受話器がないとき）●停電時に電話をかけるときは、受話器をとって「ツー」音が聞こえるのを確認し、少ししてから、ゆっくり長めにダイヤルしてください。●不在着信表示の 着信履歴 は消灯し、停電が終わっても点灯しません。 <p><ナンバー・ディスプレイおよび「モデムダイヤルイン」サービスをご契約されている場合></p> <ul style="list-style-type: none">●ナンバー・ディスプレイおよび「モデムダイヤルイン」サービスははたらきません。（呼出音が鳴っているときに停電になったり、停電中に電話がかかってきて復電した場合、ナンバー・ディスプレイも「モデムダイヤルイン」サービスもはたらきません。）●停電中にかかってきた電話にでたときに、「ジャー」という音が聞こえることがあります。この場合は、いったん電話を切り、再度、呼出音が鳴ったら電話にでてください。
子機	<p>使用できません。</p> <p>通話中に停電したときは、電話が切れて「ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピッ…ピピピ」音が鳴り、通常状態に戻ります。停電が終わっても、子機の液晶画面に「通話圏外」または「親機サーチ中」と Y 圏外が表示されているときは、、 または  のいずれかを押してください。</p>

留守動作中に停電が起きたとき

留守動作が停止して、電話が切れます。また、用件録音中に停電すると、録音が解除され、正しく録音されていない場合があります。

通話録音中に停電が起きたとき

通話録音が終了し、親機でハンズフリー通話していたとき、および子機で通話していたときは通話が切れます。（正しく録音されていない場合があります。）

停電が終わると

●限定着信（“ON（タイマーあり）”が設定されているとき）は解除されますので設定し直してください。（118ページ）

※“ON（タイマーなし）”を設定していたときは解除されません。

●留守セットは、停電が終わると、留守セット状態に戻ります。

上記以外の登録した内容は、保持されます。

■停電が終わると、通常状態に戻るときに、約1秒程度、回線とつながることがあります。

■停電時の設定内容の保持などは、内蔵されている電池で行なっています。通常起こりうる停電などの使用状態では問題ありませんが、むやみに電源を入れたり切ったりしていると、電池の消耗や寿命に影響し、停電時の設定内容を保持できない場合や停電時の動作が正常にはたらかなくなる場合がありますので、ご注意ください。

引越などで親機を移動されたときや、約1時間以上停電したとき

●親機の時計（日付／現在時刻）は、2007年1月1日午前0時から動き始めますので、登録し直してください。（29ページ）

●引越されたときは、必要に応じて携帯通話設定機能（36～39ページ）や回線種別（22ページ）を設定し直してください。

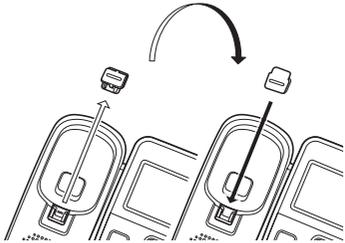
必要なときは

壁掛けにするときは

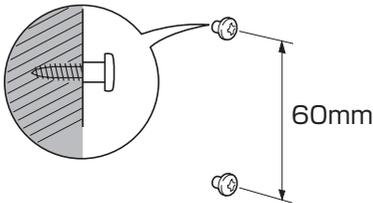
親機や充電器を、壁に取り付けることができます。親機は付属の壁掛けアダプター（15ページ）を使用してください。充電器を壁に取り付けるときは、159ページをご覧ください。

親機を壁に取り付けるときは

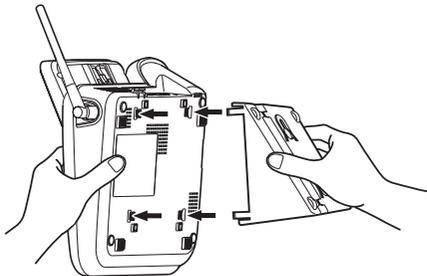
1 壁掛け用フックを差し替えてツメを出す



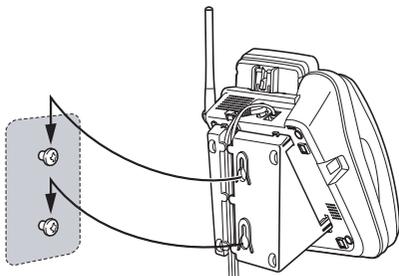
2 右側にある壁掛けネジ用寸法を壁にあて、付属の壁掛けネジを取り付ける



3 親機底面に壁掛けアダプターの4本のツメを「カチッ」と音がするまで押し込む

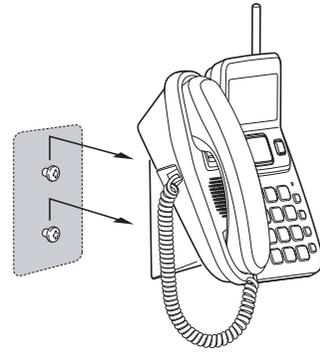


4 電源アダプタと電話機コードを図のように処理し、壁掛けアダプター底面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する



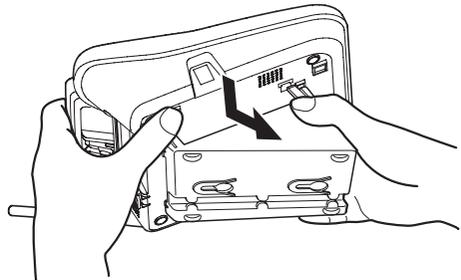
親機を壁から取り外すときは

上方に引き上げてから取り外す



壁掛けアダプターを本体から取り外すときは

側面の2本のツメを押し外す



注意：

- 親機および充電器を壁に取り付けるときは、親機および充電器の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。
- ベニヤ板などの薄い板壁やボード板（石こう板）には取り付けないでください。落下のおそれがあり危険です。

お願い

- 親機を幅の狭い柱などに取り付けるときは、板などをご利用されると安定してお使いいただけます。

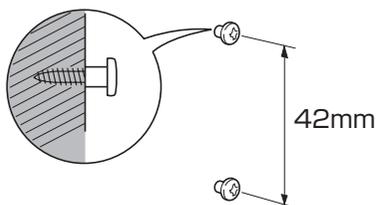
壁掛けネジ用寸法

親機 60ミリ
充電器 42ミリ

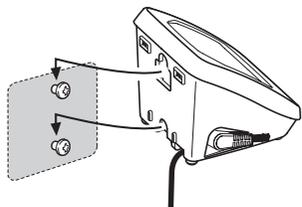
必要なときは

充電器を壁に取り付けるときは

- 1** 158ページの左側にある壁掛けネジ用寸法を壁にあて、付属の壁掛けネジを取り付ける



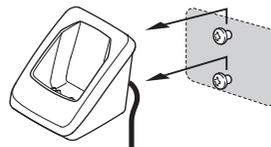
- 2** 電源アダプタのコードを図のように処理してから、充電器背面のネジ穴にネジを入れ、下にさげて固定する



- ネジがゆるんでいると、子機を充電することができない場合があります。

充電器を壁から取り外すときは

上方に引き上げてから取り外す



ドアホンを接続して使うには

オプションのドアホンとドアホンボックス（164ページ）を接続すると、ドアホンからの呼出しに親機や子機で応答することができます。ドアホンは2台まで接続できます。ドアホンの取り付けについて、くわしくは局番なしの116番または当社のサービス取扱所へご相談ください。

● ドアホンの呼出音の種類（親機・子機共通）

ドアホン1	「ビポビポビポビポ ビポビポビポビポ」
ドアホン2	「ビポビポ ビポビポ ビポビポ」

親機でドアホンに応答するには



ドアホンの呼出音が聞こえたら

1



とる

▶ ドアホンと通話ができます。

ドアホン通話を終わらせるときは

2



戻す

子機でドアホンに応答するには



ドアホンの呼出音が聞こえたら

1



とる

● 充電器上にないときは を押します。
((発信) ランプ点灯)

▶ ドアホンと通話ができます。

ドアホン通話を終わらせるときは

2



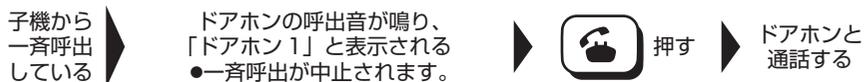
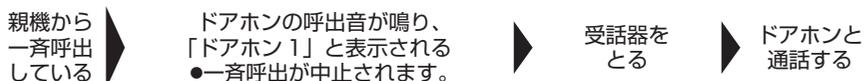
戻す
または 押す

(例) 内線通話中にドアホン1から呼出しがあったら

ドアホンに応答するときは、約30秒以内に、内線通話を終了させ、ドアホンに応答してください。



(例) 一斉呼出中にドアホン1から呼出しがあったら

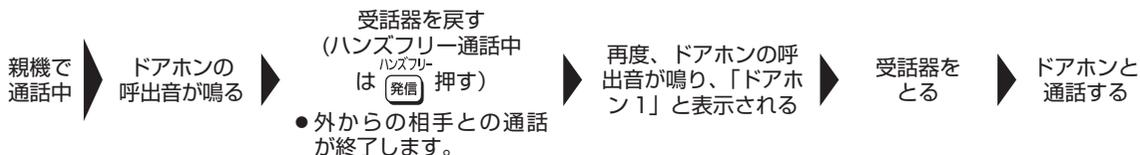


必要なときは

お知らせ ● ドアホンの呼出音が鳴ってから約30秒以上たつと、ドアホンに応答できません。約30秒以上たつたときは、ドアホンに呼びかける操作をしてください。(162ページ)

(例) 外からの電話と通話中にドアホン1から呼出しがあったら

ドアホンに応答するときは、約30秒以内に、外からの相手との通話を終了させ、ドアホンに応答してください。



* 親機で保留中、ドアホンの呼出音が鳴ったときは、 を押し、外からの電話に戻ってから、上記操作を行ってください。

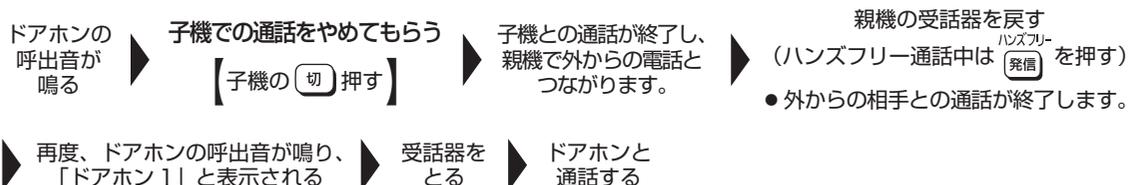


* 子機で保留中、ドアホンの呼出音が鳴ったときは、 を押し、外からの電話に戻ってから、上記操作を行ってください。

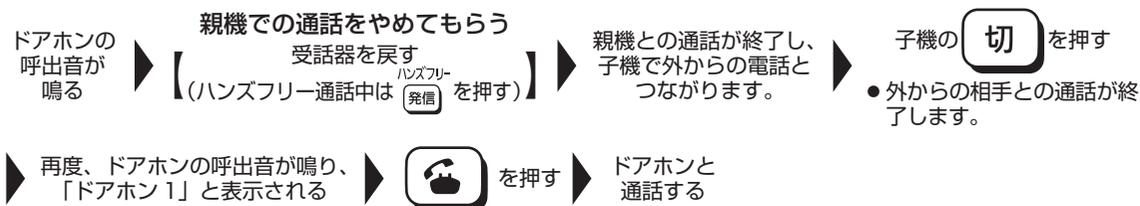
(例) 外からの電話をとりついでいるとき (保留転送や一斉呼出での内線通話中) や三者通話中にドアホン1から呼出しがあったら

ドアホンに応答するときは、約30秒以内に、外からの電話を終了させ、ドアホンに応答してください。

親機でドアホンにでるときは、



子機でドアホンにでるときは、



ドアホンを接続して使うには（つづき）

親機からドアホンに呼びかけるには



受話器を置いた状態で

1 保留/文字
内線 押す

2  とる

3  押す
●ドアホン1につながります。

子機からドアホンに呼びかけるには



切ボタンを押してから

1  押す
●充電器上にあるときははたらきません。

2  押す
●ドアホン1につながります。(発信)ランプ点灯

ドアホン通話中に外からの電話にできるには

親機でドアホン通話中 → 呼出音が鳴り、「着信」と表示される
●ドアホン通話が終了されます。 → 受話器を戻す → 受話器をとる (ハンズフリー通話のときはハンズフリー発信 押す) → 外からの相手と通話する

子機でドアホン通話中 → 呼出音が鳴り、「着信」と表示される
●ドアホン通話が終了されます。 →  押す → 外からの相手と通話する

ドアホン通話中にもう1つのドアホンと話をするには（ドアホンが2台あるとき）

ドアホン2で通話中、ドアホン1と話をするには  (親機) または  (子機) を押します。

ドアホン1で通話中、ドアホン2と話をするには  (親機) または  (子機) を押します。

・・・ダイヤル①または②を押すたびに切りかわります。

必要なときは

ご注意

- ドアホン2から呼出しがあったときは、「ドアホン2」と表示されます。
- ドアホンとハンズフリー通話することはできません。
- 通話中にドアホンから呼出しがあると、通話中の親機または子機以外もスピーカーから呼出音が鳴ります。ドアホン通話中は、通話中の親機または子機のみ呼出音が鳴ります。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、限定着信（118～119ページ）、特定番号ガード（120～123ページ）、公衆電話ガード（124～125ページ）、非通知ガード（126～127ページ）、表示圏外ガード（128～129ページ）などが動作中（それぞれのメッセージが流れているとき）は、ドアホンに応答することはできません。
- 留守番動作中（ガード機能の応答方法が「留守録音」のときも含みます。）にドアホンから呼出しがあっても、ドアホンに応答することはできません。留守番動作中の電話にでて通話を終わらせるか、留守番動作が終了してからドアホンに応答してください。約30秒以上たったときは、ドアホンに呼びかける操作（162ページ）を行なってください。
- ドアホンから呼出しがあると、液晶画面に「ドアホン1」（または「ドアホン2」）と表示されますが、通話中（または保留中）は、表示されません。
- 通話中にドアホンの呼出音が鳴っている間は、通話が中断されます。
- ドアホンの呼出音量は、通常の呼出音量で鳴ります。通常の呼出音量（31ページ）や夜間呼出音量（138ページ）が「消音」に設定されていると、「音量1」で鳴ります。
- 通話中のドアホン呼出しに対し、通話を保留してドアホンに応答したり呼びかけたりすることはできません。外からの通話を終わらせてから、ドアホンに応答したり呼びかけてください。
- 内線呼出中にドアホンから呼出しがあると、内線呼出が自動的に終了し、ドアホンの呼出音が鳴り始めます。
なお、内線呼出中に、内線呼出の「送り手と受け手以外」の子機または親機で操作している場合や保留転送中は、ドアホンから呼出しがあっても、内線呼出は、継続される場合もあります。

オプションをご利用になるには

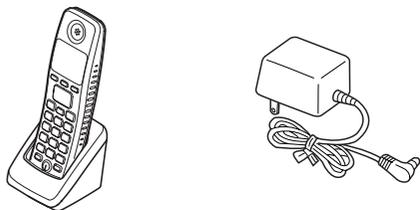
より便利にお使いになるためのオプション品が用意されています。オプション品をご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

■ 増設用コードレス電話機（増設子機）

子機は、最大4台まで使うことができます。増設用の子機には、充電器と電源アダプタがセットされています。

*メニュー概要（27ページ）に「子機増設」がありますが、子機の増設には工事担当者による登録工事が必要です。お客様ご自身による登録工事は行なわないでください。

2.4G デジタルコードレス電話機「PI3」
(2.4G デジタルコードレス TEL〈PI3〉)



■ 電池パック

子機の電池パックを交換するときは、オプションの電池パックをご利用ください。

電池パック-093
(デンチパック-093)



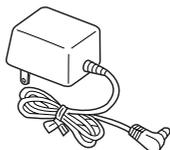
■ 充電器および子機充電器用電源アダプタ

付属の充電器以外の場所で子機を充電できるように、充電器および子機充電器用電源アダプタがあります。

2.4G デジタルコードレス電話機「PI3」充電器
(2.4G デジタルコードレス TEL〈PI3〉-ジュウデンキ)



電源アダプタ(K)-083
(デンゲンアダプタ〈K〉-083)



■ ドアホン

ドアホンが2台まで接続できます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンを用意しています。

■ ドアホンボックス

ドアホンボックスに接続することにより、ドアホンを2台接続することができます。
(U-ドアホンボックス)

※工事担当者向け

本機をU-ドアホンボックスに接続する際、ドアホンボックスの電話機種別設定スイッチは「C：1～8」のすべてをONにしてください。C以外のスイッチはすべてOFFにしてください。

(電話機種別「C」、メーカーコード「266」)

電池パックの取り扱い

電池パックは消耗品です。長時間充電してもすぐ電池残量がなくなる場合は、新しい電池パック（オプション）に交換してください。ご購入については、パーツサービスセンタまたは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。子機の電池パックを交換すると、その子機の時計（日付／現在時刻）の設定はリセットされます。（147ページ）

必要に応じて再度設定を行なってください。

パーツサービスセンタ： ☎ 0120-86-8289

交換の時期

2年くらいで新品と交換してください。

2年以内でも、次の場合には交換してください。

十分に充電しても

- 少し話すとすぐに通話ができなくなるとき
- まったく通話や操作ができないとき

お願い

- 電池パックのコードを無理に引っ張らないでください。
- 充電器の充電端子の汚れは、乾いた布や綿棒などで拭いてください。
- 必要のない限り、コネクタの抜き差しは行わないでください。むやみな抜き差しは、線材およびコネクタの破損をまねくおそれがあります。
- 電池カバーのつめが破損しないよう手順通りに、確実にカバーを閉じてください。



危険

電池パックの取扱いは、次の点にご注意ください。

- 充電には、専用の充電器をお使いください。
- 端子をショート（短絡）させたり、火中に投げ込んだり、加熱しないでください。
- 分解・改造したり、外装チューブをはがさないでください。

電池パック回収のお願い

電池パックはリサイクル可能なニッケル水素電池です。交換の際は当社のサービス取扱所へご持参いただくか、当社販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。



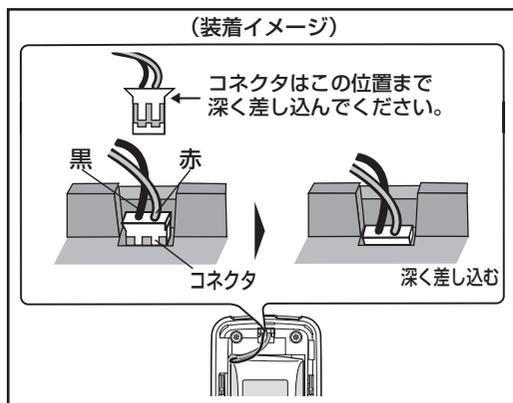
子機の電池パックを交換する

1 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ、電池パックを取りはずす

2 新しい電池パックのコネクタを差し込み、電池パックを入れる

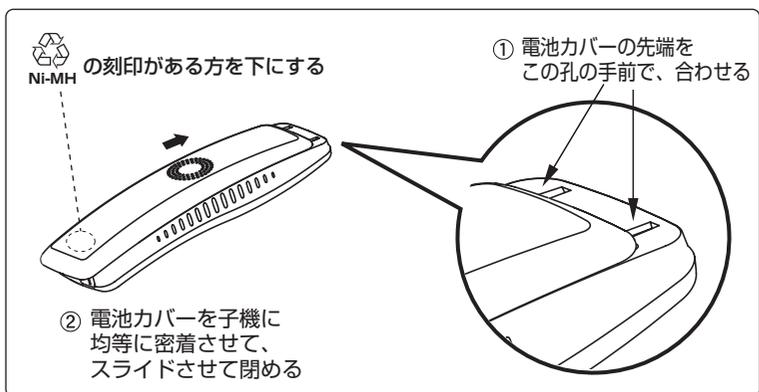
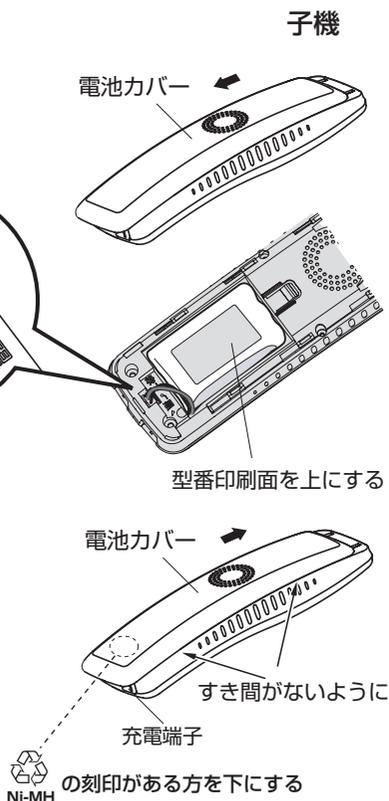
●差し込むときは、コネクタの向きを確認して奥まで確実に差し込んでください。

(コネクタが完全に差し込まれていなくても、充電器に置くと、 (発信) ランプは点灯しますので、ご注意ください。)



3 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める

- 電池パックは、16時間以上充電してからご使用ください。
- コードを電池カバーではさまないようにしてください。



付録 (区点コード一覧表)

■漢字コードは左列の番号と上横列の番号を組み合わせた4桁の番号です。

(例) 亜 漢字コード1601

■空白部分は、入力できません。ただし、0101 (区点コード) は全角スペースとして入力することができます。

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010	(SP)、	。	、	・	∴	∶	∷	∸	∹	∺
	011	!	"	°	´	˘	˙	˚	˛	˜	˜
	012	∨	∩	∪	∩	∪	∩	∪	∩	∪	∩
	013	-	/	\	~			…	…	’	’
	014	"	"	()	[]	{	}		
	015	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】
	016	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤
	017	≥	∞	∴	♂	♀	°	’	”	℃	¥
	018	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆
	019	★	○	●	◎	◇					
	020	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	
	021	→	←	↑	↓	=					
	022						∈	∋	⊆	⊇	
	023	⊂	⊃	∪	∩						
	024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∇	∃	
	026	∠	⊥	∩	∅	∇	≡	≐	≪	≫	√
	027	∞	∞	∴	∫	∫					
	028			Å	%	#	b	♪	†	‡	¶
	029					○					
	数字	031						0	1	2	3
032		4	5	6	7	8	9				
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036					a	b	c	d	e	
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z										
ひらがな	040	あ	い	う	え	お					
	041	か	き	く	け	こ					
	042	さ	し	す	せ	そ					
	043	た	ち	つ	て	と					
	044	な	に	ぬ	ね	の	は	ば			
	045	び	ぶ	ぶ	へ	べ	ほ				
	046	ま	み	む	め	も	や	ゆ			
	047	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ			
	048	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	050	ア	イ	ウ	エ	オ					
	051	カ	キ	ク	ケ	コ					
	052	サ	シ	ス	セ	ソ					
	053	タ	チ	ツ	テ	ト					
	054	ナ	ニ	ネ	ノ	ハ	バ				
	055	ビ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ホ				
	056	ポ	ピ	ム	モ	ヤ	ユ				
	057	ヨ	ラ	ル	レ	ロ	ワ				
	058	ヰ	ヱ	ヰ	ヱ	ヰ	ヱ				
	059										

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
特殊記号	060	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	
	061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	Ρ	Σ	T
	062	Υ	Φ	X	Ψ	Ω					
	063			α	β	γ	δ	ε	ζ	η	
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
	070	A	B	B	Γ	Д	E	Ё	Ж	З	
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										a
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								
079											
080		—		┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘
081	┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└
082	└	┘	┌	┐	└	┘	┌	┐	└	┘	
083	└	┘	┌	┐							
あ	160	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	
	161	葵	茜	穉	惡	握	渥	旭	葦	蓼	
	162	梓	庄	幹	扱	宛	姐	蛇	鮎	綯	
	163	鮎	或	栗	裕	安	庵	按	暗	案	
	164	鞍	杏								
い	164			以	伊	位	依	偉	圉	夷	委
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	耆	溢	逸
	168	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
170	院	陰	隱	韻	吋						
う	170							右	宇	烏	羽
	171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	172	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	樽
	173	云	運	雲							
え	173			荏	餌	叡	營	嬰	影	映	
	174	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	
	175	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	
	176	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	
	177	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	
	178	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	塩			
お	178									於	汚
	179	凹	央	奧	往	応					甥
	180		押	旺	横	欧	毆	王	翁	襖	鶯
	181	鷓	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆	桶
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音		

必要なときは

付録 (区点コード一覧表) (つづき)

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	182										下 化
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	俄	駕
	188	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔
	189	恢	懷	戒	拐	改					
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	給	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	淫
	193	馨	蛙	垣	柿	蚯	鈎	劃	嚇	各	廓
	194		抃	挽	核	殼	獲	確	岳	覺	角
	195	赫	括	閣	隔	革	學	嶽	樂		額
	196	顛	掛	笠	榿	梶	渥	渥	割		喝
	197	恰	括	活	渴	葛	褐				且
	198	叶	枇	樺	匏	兜	竈				釜
	199	嗜	鴨	栢	茅	萱					
	200		粥	刈	苧	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	201	勘	勸	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	
203	款	飲	汗	漢	澗	淮	環	甘	監	看	
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀	
205	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	
206	館	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫	
207	贖	雁	頑	顏	願						
き	207						企	伎	危	喜	器
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	209	旗	既	期	棋	棄					
	210		機	歸	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀
	211	紀	微	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	213	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	218	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距		鋸
	219	禦	魚	亨	亨	京					
	220		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	221	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭
	222	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興
	223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉
	224	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅	勤	均
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
く	226										九
	227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駙
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴					
	231	栗	線	桑	鋤	勲					
	232	郡									
け	232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	携	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	掲
	234	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼
	235	繫	野	莖	荊	螢	計	詣	警	激	頸
	236	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	際	桁
	237	傑	欠	決	兼	穴	結	血	訣	月	件
	238	俛	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	犬					
	240		檢	權	牽	捲	獻	研	硯	絹	梟
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	險	頭	驗
	242	鹵	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現
243	紘	肱	言	諺	限						
こ	243							乎	個	古	呼
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	245	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鈷	雇
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後
	247	御	悟	梧	檣	瑚	暮	語	誤	護	醐
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鈇
256	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌	
259	忽	惚	骨	拍	込						
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	
261	昏	昆	根	梱	混						
さ	261										些
	262	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂
	263	詐	鎖	坐	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	歲	濟
	265	災	采	犀	碎	砦	祭	齋	細	菜	裁
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷲	作	削
	268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜
	271	鯖	捌	鏑	鮫	血	晒	三	傘	參	山
	272	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕
	273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘			

必要なきは

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	273								仕	仔	伺
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児
	279	字	寺	慈	持	時	爾	璽	痔	磁	示
	280		次	滋	治	夕	鹿	式	識	鳴	而
	281	耳	穴	雫	疇	七	叱	執	失	嫉	室
	282	軸	湿	漆	疾	質	実	蓐	篠	俛	柴
	283		屢	蕊	縞	舍	写	捨	赦	斜	煮
	284	社	屢	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借
	285		尺	杓	灼	爵	酌	积	錫	若	勺
	286		惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	弱
	287		腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	種
	288		綬	需	囚	収	周				樹
	289		終	繡	習	臭	州	愁	拾	洲	秀
	291		輶	遇	茜	酬	集	醜	什	住	充
	292		從	戎	柔	汁	泌	獸	縱	重	銃
	293		夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出
	294		述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准
	295		旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡
	296		醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶
	297		署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序
	298		怨	鋤	除	傷	償				
	299			勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗
	300		妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床
	301		彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭
	302		松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒
	303		照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑
	304		紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証
305		詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	
306		文	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	
307		情	擾	条	杖	淨	状	量	穰	蒸	
308		釀		錠	囑	埴	飾				
309			拭	植	殖	燭	織	職	色	触	
310		蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寢	
311		心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	
312		疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	
313		身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	
314		尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	靴	
す	315									筒	諏
	316	須	酢	凶	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	随
	318	瑞	髓	崇	高	数	枢	趨	雛	据	杉
	319	梶	菅	頗	雀	裾					
	320		澄	摺	寸						

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	320								世	瀨	畝
	321	勢	姓	征	性	世	瀨	畝	是	凄	制
	322	栖	正	清	牲	成	政	整	星	晴	棲
	323	西	誠	誓	請	生	盛	精	聖	声	製
	324	脆	隻	席	惜	逝	醒	青	静	齐	稅
	325	籍	績	脊	責	戚	斥	昔	析	石	積
	326	接	撰	折	設	赤	跡	蹟	碩	切	拙
	327	蟬	仙	先	干	窃	節	宣	雪	絶	舌
	328	扇	撰	旋	穿	桷	泉	浅	洗	尖	川
	329	煽	旋	穿	箭	線	舛	船	薦	詮	賤
	330		織	羨	腺	舛	閃	鮮	善	漸	踐
	331	選	遷	錢	銑						
	332	全	禪	繕	膳						
	そ	332								贈	塑
333		曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	曾
334		組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335		倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想
336		搜	掃	挿	搔	早	曹	槽	巢	槍	槽
337		漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	送	綜	聡
338		草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339		霜	騷	像	增	憎					
340			臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息
341		捉	束	測	足	速	俗	屬	賊	族	統
342		卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た		343	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰
	344	花	舵	檣	陀	駄	驛	体	堆	对	耐
	345	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	龍	卓	啄
	348	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349		諾	珥	蛸	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	辿
	351	棚	谷	狸	鱒	樽	誰	丹	单	嘆	端
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	彈
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団				
354	暖	檀	段	男	談						
ち	354								值	知	地
	355	智	池	痴	稚	置	致	蜘蛛	遲	馳	恥
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	室	茶	嫡	築
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	着
	358	註	耐	鑄	駐	樽	瀦	猪	芋	著	貯
	359	丁	兆	凋	喋	寵					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	脹	腸	蝶
つ	362	調	謀	超	跳	眺	長	頂	鳥	勅	抄
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	363								津	墜	椎
	364	槌	追	錕	痛	通	塚	柁	搦	槻	佃
	365	漬	柘	辻	薦	綴	鏑	椿	潰	坪	壺
	366	孺	紬	爪	吊	釣	鶴				

必要なときは

付録 (区点コード一覧表) (つづき)

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
て	366							亭	低	停	偵		
	367	荆	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟		
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締		
	369	艇	訂	諦	蹄	通							
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴		
	371	的	笛	適	鎬	溺	哲	徹	撤	鞅	迭		
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	電	甜	貼		
	373	転	顛	点	伝	殿	激	田					
	と	373										兎	吐
		374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	奴
375		賭	途	都	鍍	砥	斫	努	度	塔	土	套	
376		怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	棟	等	
377		宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹			
378		盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱			
379		答		筒	糖	統	到						
380			董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透		
381		鎧	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導		
382		憧	撞	洞	瞳	童	苟	道	銅	峠			
383		鴉	匿	得	德	洩	特	督	禿	篤	毒		
384		独	読	析	椽	凸	突	椽	屈	鳶	苦		
385		寅	西	滌	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁		
386	頓	吞	曇	鈍									
な	386					奈	那	内	乍	凧	雜		
	387	謎	灘	捺	鍋	櫛	馴	繩	暇	南	楠		
	388	軟	難	汝									
に	388				二	尼	弍	迹	匂	賑	肉		
	389	虹	廿	日	乳	入							
	390		如	尿	萑	任	妊	忍	認				
ぬ	390										濡		
ね	390										襦		
	391	衤	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃		
	392	粘											
の	392		乃	迺	之	埜	囊	惱	濃	納	能		
	393	腦	膿	農	覗	蚤							
は	393					巴	把	播	霸	杷			
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	糜		
	395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配		
	396	倍	培	媒	梅	煤	煤	狼	買	売	賠		
	397	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍		
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠		
	399	爆	縛	莫	駁	麥							
	400		函	箱	裕	箸	肇	筈	櫛	幡	肌		
	401	畑	畠	八	鉢	澆	癸	醜	髮	伐	罰		
	402	拔	筏	閱	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判		
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版		
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩		
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蚕				

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ひ	405										匪	
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐	
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	
	408		誹	費	避	非	飛	樋	備	尾	微	
	409		枇	毘	毳	眉	美					
	410		鼻	柎	裨	匹	髭	彦	膝	菱		
	411	肘	弼	必	畢	筆	椋	姫	媛	票	紐	
	412	百	謬	依	彪	標	漂	瓢	鏹	表	蒜	
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鏹	貧	頻	
	414		蛭	鱒	品	彬	斌					
	415		敏	瓶								
	ふ	415			不	付	埠	夫	婦	富	富	布
		416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
		417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
		418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落
419		伏		副	復	幅	服					
420			福	腹	複	覆	淵	弗	扌	沸	仏	
421		物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	
422		粉	糞	紛	雰	文	聞					
へ	422							丙	併	兵	摒	
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	
	424	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋	偏	變	
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	
426		鞭										
ほ	426		保	舗	鋪	圃	捕	步	甫	補	輔	
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	
	429	抱	捧	放	方	朋						
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	
	431	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	
	434	銚	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴	
	435	牧	睦	穆	釦	勃	沒	殆	堀	幌	奔	
436	本	翻	凡	盆								
ま	436						摩	磨	魔	麻	埋	
	437	昧	枚	每	哩	禎	幕	膜	枕	鮪	秭	
	438		鱒	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	
	439	鱒	磨	万	慢	滿						
	440		漫	蔓								
み	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密	
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠		
む	441										務	
	442	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘		
め	442										冥	
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	
	444	免	棉	綿	緬	面	麵					
も	444							摸	模	茂	妄	
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	
	446	目	奎	勿	餅	尤	戻	粉	貫	問	悶	
	447	紋	門	勾								

必要なときは

分類		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
や	447			也	治	夜	爺	耶	野	弥	
	448	矢	厄	役	約	葉	訊	躍	靖	柳	藪
	449	鍵									
ゆ	449		愉	愈	油	癒					
	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
り	458										利
	459	履	李	梨	理	璃					吏
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	獠	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	隣	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	
る	466	瑠	皇	涙	累	類					
れ	466						令	伶	例	冷	励
	467	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
	468	齡	曆	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470		蓮	連	鍊						
ろ	470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	471	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	榔	浪	漏
	472	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	祿
	473	肋	録	論							
わ	473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	杵	鷺	互	巨	鱒	詫	藁	蕨	椀	湾
	475	碗	腕								

付録 (区点コード一覧表) (つづき)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
480		弋	丐	丕	个	卍	、	井	ノ	义
481	乖	乘	亂	丿	豫	爭	、	井	于	亞
482	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	佛
484	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝
485	侑	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝
486	侑	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝
487	侑	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝
488	偃	假	會	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
489	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
490		僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
491	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
492	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
493	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢	兢
494	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
495	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏
496	几	几	几	几	几	几	几	几	几	几
497	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
498	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
499	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
500		劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊	劊
501	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳	勳
502	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
503	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚	匚
504	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩
505	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩	厩
506	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
507	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩	吩
508	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒	咒
509	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
510		啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
511	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔	唔
512	售	售	售	售	售	售	售	售	售	售
513	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯	咯
514	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻	喻
515	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
516	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴	嘴
517	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
518	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼
519	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹
520		囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹
521	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏
522	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏	坏
523	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔
524	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡
525	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
526	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
527	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻
528	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
529	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢
530		奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸	奸
531	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜	姜

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
532	婀	姪	婉	娠	娶	婢	婪	媚	媼	媼
533	嫵	嫂	媽	媽	嫗	娉	嫩	嫵	媼	媼
534	嬌	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋
535	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
536	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
537	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
538	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
539	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
540	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀	孀
541	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑
542	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑
543	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑
544	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑	岑
545	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
546	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
547	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
548	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
549	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
550	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
551	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
552	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬
553	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
554	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
555	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
556	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
557	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕
558	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協
559	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
560	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
561	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
562	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
563	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
564	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
565	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
566	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
567	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
568	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
569	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁	悁
570	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
571	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
572	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
573	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
574	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
575	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
576	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
577	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
578	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
579	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
580	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
581	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
582	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
583	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞

必要ときは

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
792	璽	鎡	鏘	鏃	鏗	鏘	鏘	鏘	鏘	鏘
793	鐵	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
794	鑿	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
795	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄	鑄
796	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
797	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
798	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關
799	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
800	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
801	險	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
802	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋
803	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
804	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
805	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦	皦
806	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
807	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
808	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶	韶
809	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
810	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏	顏
811	飊	飊	飊	飊	飊	飊	飊	飊	飊	飊
812	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢	錢
813	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅	饅
814	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
815	騶	騶	騶	騶	騶	騶	騶	騶	騶	騶
816	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅
817	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢
818	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
819	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
820		髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
821	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔	閔
822	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
823	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
824	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
825	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
826	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
827	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
828	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
829	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
830	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
831	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
832	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
833	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
834	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
835	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
836	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
837	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
838	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
839	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
840	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓

■ 切り取ってご使用ください。

リモコン早見表

種 類	操作番号
用件再生	#○○○○
リモコン待ち 用件の聞き直し	②
留守番解除	#⑥
全消去	#✳

リモコン早見表

種 類	操作番号
用件再生	#○○○○
リモコン待ち 用件の聞き直し	②
留守番解除	#⑥
全消去	#✳

リモコン早見表

種 類	操作番号
用件再生	#○○○○
リモコン待ち 用件の聞き直し	②
留守番解除	#⑥
全消去	#✳

リモコン早見表

種 類	操作番号
用件再生	#○○○○
リモコン待ち 用件の聞き直し	②
留守番解除	#⑥
全消去	#✳

操作早見表



(親機)

早見表の見かた



受話器を
親機からとる

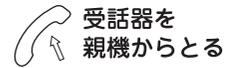
操 作	手 順	参照ページ
電話回線の自動設定	戻る 機能 ▶ “電話回線” を選ぶ ▶ 電話帳 / 決定 2回 押す ▶ “自動選択” を選ぶ ▶ 電話帳 / 決定 押す	P.22
呼出音量切りかえ および 消音の設定／解除	戻る 機能 ▶ “音質・音量” を選ぶ ▶ 電話帳 / 決定 押す ▶ “呼出音量” を選ぶ ▶ 電話帳 / 決定 押す ▶ 音量を選ぶ ▶ 電話帳 / 決定 押す ▶ 停止 再生	P.31
スピーカー音量 切りかえ	ハンズフリー (大きくするとき) 上を 通話中に 押す / (小さくするとき) 下を 押す	P.32
受話音量切りかえ	通話中に (大きくするとき) 上を 押す / (小さくするとき) 下を 押す	P.32
電話をかける	▶ 「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.43
ハンズフリーボタン でかける	ハンズフリー 発信 ▶ 「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.45
リダイヤルで 電話をかけ直す	▶ 「ツー」音が聞こえたら ▶ 発信 ボタンを押す	P.47
保留	通話中に ▶ 保留 / 文字 内線 押す / 通話に戻るには 保留 / 文字 内線 押す	P.52
内線通話	保留 / 文字 内線 押す ▶ 1あ 2か 3さ 4た (いずれか1つを押す) ▶ 子機が 出たら ▶ または そのまま ハンズフリー通話	P.53

必要ときは

操作早見表 (つづき)



早見表の見かた



操 作	手 順	参照ページ
一斉呼出 (子機を2台以上 お使いのとき)	保留/文字 内線 押す ▶ #記号 押す ▶ 子機が でたら または そのまま ハンズフリー通話	P.58
留守セット/解除	(セット/解除) 留守 押す	P.85
用件の全消去	キャッチ 消去 2秒以上押し続ける	P.85
用件再生	(留守番を解除して再生するときは) 留守 押す 停止 (留守番を解除しないで再生するときは) 再生 押す	P.85,86
再生を止める	用件再生中に 停止 再生 押す	P.86
特定番号の登録	迷惑 カード ▶ “特定ガード” を選ぶ ▶ 電話帳 /決定 ▶ 電話帳 /決定 ▶ 市外局番から 電話番号を 入力する ▶ 電話帳 /決定 ▶ 停止 再生	P.120
キャッチ	通話中、キャッチホンの信号 「ブッ・ブッ」音が聞こえたら キャッチ 消去 押す	P.136
ドアホン通話	ドアホンの呼出音が鳴ったら	P.160
発信履歴または、 着信履歴の全消去	発信履歴または、 着信履歴を 表示させる ▶ 戻る 機能 ▶ “消去 (全件)” を選ぶ ▶ 電話帳 /決定 ▶ 電話帳 /決定	P.50 P.114

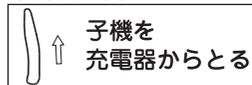
必要なときは





(子機)

早見表の見かた



子機を
充電器からとる

操 作	手 順	参照ページ
呼出音量切りかえ および 消音の設定／解除	録音/戻る 機能 ▶ “音質・音量” を選ぶ ▶ 決定 電話帳 押す ▶ “呼出音量” を選ぶ ▶ 決定 電話帳 押す ▶ “音量” を選ぶ ▶ 決定 電話帳 押す ▶ 切	P.31
スピーカー音量 切りかえ	ハンズフリー 通話中に (大きくするとき) 上を 押す / (小さくするとき) 下を 押す	P.32
受話音量切りかえ	通話中に (大きくするとき) 上を 押す / (小さくするとき) 下を 押す	P.32
電話をかける	↑ または 電話帳 押す ▶ 「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.43
ハンズフリーボタン でかける	ハンズフリー ▶ 「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話番号	P.45
リダイヤルで 電話をかけ直す	↑ または 電話帳 押す ▶ 「ツー」音が聞こえたら ▶ 電話帳	P.47
保留	通話中に ▶ 内線 保留/文字 押す / 通話に戻るには 内線 保留/文字 押す	P.52
内線通話 (子機が1台のとき)	内線 保留/文字 押す ▶ 内線 保留/文字 押す ▶ 親機がでたら話をする	P.54
内線通話 (子機を2台以上 お使いのとき)	内線 保留/文字 押す ▶ 内線 保留/文字 押す ▶ 親機 (または他の子機) がでたら話をする	P.54

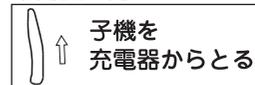
必要なときは

操作早見表 (つづき)



(子機)

早見表の見かた



操 作	手 順	参照ページ
一斉呼出 (子機を2台以上 お使いのとき)	▶ ▶ 親機 (または他の子機) がでたら話をする	P.59
留守セット	▶ ▶ ▶ ▶ ▶	P.92
用件再生	▶	P.92
再生を止める	用件再生中に	P.93
キャッチ	通話中にキャッチホンの信号 「ブツ・ブツ」音が聞こえたら	P.136
通話録音	通話中に 押す / 終わるときは 押す	P.140
ドアホン通話	ドアホンの呼出音が鳴ったら または	P.160



アルファベット

TAの設定 154

五十音

【ア行】

暗証番号
 暗証番号を修正する 95
 暗証番号を消去する 95
 暗証番号を登録する 94
 アンテナ 5、11、18、20
 一斉呼出 58
 居留守モニター 85、93
 液晶画面 16、17
 コントラストを調整する 145
 応答メッセージ 84
 応答専用メッセージ 84
 応答メッセージをつくる 88、89
 固定応答メッセージ 84
 お買い上げ時の状態に戻すには 146
 オプション 164
 親機用電源アダプタ 15、20
 音量
 親機の音量を調節する 31、32
 子機の音量を調節する 31、32
 オープニングツアー 21

【カ行】

回線種別の設定 21、22
 各部のなまえ
 コードレス電話機（子機） 19
 主電話機（親機） 18
 加入電話選択番号設定 36
 壁掛けにする
 壁掛けアダプター 15、158
 壁掛けネジ 15、158、159
 ガードボタン 130
 機能/戻るボタン 18、27、28
 機能/録音/戻るボタン 19、27、28、140
 基本操作について 27
 キャッチホンサービス 136
 キャッチホンを利用する 136
 キャッチホン・ディスプレイ 105
 キャッチホン・ディスプレイを設定/解除する 106
 切ボタン 19、27
 キータッチ音 144
 クイック通話 143
 警告音 11、26、34
 携帯通話設定機能 36～39
 携帯番号帯設定 41
 契約者回線番号 132
 子機
 充電する 25～26
 電池パックの残量 26

増設する 26、27、164
 子機間通話 53、54
 子機充電器用電源アダプタ 15、25
 固定電話から携帯電話への通話サービス 35
 事業者識別番号設定 38、39
 故障かな?と思ったら 148
 こんなときは 154
 コード押さえ 18、20、25

【サ行】

再生/停止ボタン 27、86、140
 三者通話 60
 時刻を登録する 29、30
 充電 25、26
 充電器
 充電器を壁に取り付ける 159
 充電端子 11、19、26
 受話音質補正 156
 受話音量 32
 受話器 15
 受話器コード 15
 受話器コードの差込口 18
 仕様 183
 消音 31
 消音留守セット 87
 消音/キャッチボタン 18、19、65、136
 上下左右ボタン 18、19
 商品の確認 15
 初期化 146
 スピーカー 18、19、45
 スピーカー音量 32
 スプリッタ設定 154

【タ行】

タイムスタンプ 29、140
 ダイヤルボタン 18、19
 短縮ダイヤル 80
 解除する 82、83
 電話をかける 82、83
 登録する 80、81
 短縮ボタン 18、19
 着信履歴
 かけてきた相手にかけ直す 108、109
 着信履歴を消去する 114、115
 電話帳に登録する 112、113
 追加番号 132
 通話時間 16、17
 通話録音 140
 停電 157
 電源アダプタプラグの差込口 18、19、20、25
 電池カバー 24、166
 電池バック 24、166
 電池バックの残量 26
 電波帯切りかえ 155
 電話回線
 回線種別の設定 21、22
 電話機コードの差込口 18、21

索引 (つづき)

電話帳

親機で登録する	62、68、112
親機の電話帳を消去する	74
子機で登録する	63、69、113
子機の電話帳を消去する	75
修正する	72、73
着信履歴から登録する	112、113
電話帳をコピーする	76
電話をかける	70、71
発信履歴から登録する	68、69

電話帳/決定ボタン

電話を受ける	
親機で受ける	43
子機で受ける	43

電話をかける

親機でかける	43
子機でかける	43
最後にかけた相手にかけ直す	47
短縮ダイヤルを使ってかける	82、83
着信履歴でかけ直す	108、109
発信履歴でかけ直す	48、49

ドアホン

ドアホンボックス	164
----------	-----

特定番号

特番ダイヤル	48、49、70、71、82、83、108、109
--------	---------------------------

トールセーバ

トーン信号	136
-------	-----

【ナ行】

内線通話

親機から呼出す	53
子機から呼出す	54
子機を2台以上お使いのとき	53、54

内線/保留/文字ボタン

鳴り分け	116
------	-----

ナンバースタンプ

ナンバー・ディスプレイ	99
-------------	----

かけてきた相手にかけ直す

限定着信	118
------	-----

公衆電話からの電話をガードする

電話がかかってきたときの表示	99、101
----------------	--------

特定番号からの着信をガードする

ナンバー・ディスプレイを設定/解除する	100
---------------------	-----

非通知ガード

表示圏外ガード	128
---------	-----

リターンダイヤル

ネーム・ディスプレイ	103
------------	-----

【ハ行】

廃棄、譲渡、返却

発信ボタン	19
-------	----

発信/ハンズフリーボタン

発信履歴	48、49
------	-------

かけた相手にもう一度かけ直す

電話帳に登録する	68、69
----------	-------

発信履歴を消去する

ハンズフリー通話	45
----------	----

ハンズフリーボタン

日付を登録する	29、30
---------	-------

不在着信表示

付属品	15
-----	----

プッシュホンサービスを利用する

保守サービス	183
--------	-----

保留

保留転送	
------	--

親機からとりつく

子機からとりつく	56
----------	----

ポーズボタン

【マ行】	
------	--

マイナンバー

マイク	18、19、45
-----	----------

名称登録

迷惑ガードボタン	18
----------	----

メニュー概要

文字入力	
------	--

文字を入力する

モデムダイヤルイン	132
-----------	-----

【ヤ行】

夜間呼出音量

夜間時間帯を設定する	137
------------	-----

用件を聞く

親機で用件を聞く	86
----------	----

子機で用件を聞く

呼出音	
-----	--

種類をかえる

鳴り分けの呼出音	116、117
----------	---------

呼出音量

呼出回数	93
------	----

呼びかけ内線

読上げダイヤル	142
---------	-----

【ラ行】

リセット

リセットスイッチ	18
----------	----

リダイヤル

リターンダイヤル	131
----------	-----

リモコン操作

暗証番号を登録する	94
-----------	----

外出先から用件を聞く

外出先から留守セットする	98
--------------	----

留守番機能

暗証番号を登録する	94
-----------	----

応答メッセージをつくる

消音留守セット	87
---------	----

用件を消去する

用件を全消去する	85、86、93
----------	----------

呼出回数をかえる

留守をセット/解除する	85、92
-------------	-------

録音時間

留守ボタン	18
-------	----

レシーバー

録音	
----	--

応答メッセージをつくる

通話を録音する	88、89
---------	-------

録音ボタン

録音ボタン	140
-------	-----

録音ボタン

録音ボタン	18
-------	----

仕様・保守サービスのご案内

■仕様

収容電話回線	1回線：PB回線/DP回線（10 PPS・20 PPS）
商品構成	DCP-5500Iw：親機1台、子機2台、充電器2台 DCP-5500I：親機1台、子機1台、充電器1台 *親機に対して子機最大4台
寸法・質量	親機：幅約179mm×奥行約184mm×高さ約83mm（アンテナおよび突起部含まず）・約685g 子機：幅約46mm×奥行約33mm×高さ約166mm・約130g（電池パック含む） 充電器：幅約67mm×奥行約73mm×高さ約71mm・約57g
使用電源	親機：AC100V・50/60Hz DC11.0V 子機：専用ニッケル水素蓄電池 DC3.6V 充電器：AC100V・50/60Hz DC7.8V
消費電力	親機：動作時最大約5.0W/待機時約2.7W 充電器：子機充電時約1.9W
録音時間	用件録音（約10分）（応答メッセージ、用件、通話録音等を含む）
直流抵抗	277Ω
時計精度	親機、子機：約±60秒/月

*外観・仕様は予告なしに変更することがあります。

*認証番号は、商品に貼ってあるラベルに記載しております。

■保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理しますので、「保証書」は大切に保管してください。（くわしくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。）（故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。）
	● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは
局番なしの113番へご連絡ください。

受付時間 24時間365日

* 17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

* 故障修理などの対応時間：9:00～17:00

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は 03-5667-7100（通話料金がかかります。）

受付時間 9:00～21:00（年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。）

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ 0120-109217

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区：06-6341-5411（通話料金がかかります。）

九州地区：092-720-4862（通話料金がかかります。）

受付時間 9:00～21:00（年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意ください。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

必要なときは

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ  0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は 03-5667-7100（通話料金がかかります。）

受付時間 9：00～21：00（年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。）

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ  0120-109217

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は

東海、北陸、近畿、中国、四国地区

06-6341-5411（通話料金がかかります。）

九州地区

092-720-4862（通話料金がかかります。）

受付時間 9：00～21：00（年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2007 NTTEAST・NTTWEST



本 2883-1（2007.9）

DCP-5500IW/5500I トリセツ FRA1399-A